

はじめに

橋本賢二

近年、文学部の多くが姿を消し、代わりに文化研究や映像研究の学部や学科として名称を改め、生まれ変わり、再スタートを切っているようである。それはひとえに時代の要望にこたえるための変化ではあるが、それならばと、我々も今年は思い切って「映像研究」のみに的を絞り、100パーセント「映画」だけを、真正面から取り上げてみることにした。

研究といっても専門の学生が少数だったために、タイトルも『アメリカ映画研究を始めるまえに』とし、本格的な映画論集ではなく、映画研究に至るまでの「助走」や「準備」段階で必要な事柄に目を向けることとした。さらに、小説研究との違いなどの認識を中心として、「失敗しないための注意事項」と「資料となるデータ」などを示してみた。

幸い、100名を超す学生が一般英語のクラスを受講してくれていたのも、彼らの協力を仰ぎ、「お薦め映画」を集めてみることにした。できれば映画論にしたかったが、なにぶん個人研究費から捻出している予算ではページ数にも限界があったので、1人1～2枚の制限となってしまった。なかには少し長く書いてくれた学生もいたが、この学生たちにはもっと紙数を与えて自由に書かせてあげたかったということが本心であり、悔いの残る点である。

100名を超す学生を対象として論集を作成することはやはり大変なことではあったが、この作業の流れ自体がまた「映画研究を大クラスで行うというときにどのような手順を踏んでゆくべきか」ということのサンプルにもなり得ると思われるので、まず、その過程を示すことからこの本は始まっている。指導者側にとって参考になることがひとつでもあればと願っている。

そのあと、「映画研究の問題点や従来の研究との相違点」、「小説が原作となっている近年のアメリカ映画」などを挙げていき、映画論の実践へと移行する。

第二部には、あまり難しく考えずに、みんなが気に入っている映画を自由に挙げてもらった「マイ・ベスト・ムービー100選」が続いていく。中には日本映画も多くあったが、今の時代、世界は逆にアメリカ映画より日本の作品の方に関心を寄せていることを考えれば、これも付け加えた方がよいと考え、あえて省略はしなかった。ちなみに一昨年出版した『ジャパニーズ・ポップ・カルチャー2006』は海外で好評をいただき、ドイツでは国立図書館等から

依頼があり、寄贈した。

今回、協力してくれた欧米言語文化講座以外の学生は、次のとおりである。教養学科の人間科学、自然研究、スポーツ・健康科学専攻の学生。教員養成課程の小学校：教育科学／総合認識／人文・社会／芸術・体育、さらに中学校：国語／保健体育／技術・家庭／音楽／美術・書道、そして特別支援／幼稚園教諭養成課程の学生たちである。

この学生たちにとっても、よい思い出となってくれればと思う。そしてこの論集も本学大学図書館のリポジトリに登録し、インターネットで公開する予定である。その際に問題となるのはやはり映画の写真などの著作権の問題であるが、これは前年の論集でも示したように、著作権法32条（公表された著作物は、引用して利用することができる。この場合において、その引用は、公正な慣行に合致するものであり、かつ、報道、批評、研究その他の引用の目的上正当な範囲内で行われるものでなければならない）をふまえ、学生に熟知させ対応した。さらに紙数の関係もあり、編集時に写真のほとんどをカットさせてもらった。

いろいろ反省すべき点は多く残されることとなったが、ともあれ、このささやかな論集からこれからの時代に向けたひとつの研究と教育のヒントが生まれ、てくれるならば、協力してくれた学生たちにとっても大きな喜びとなることだろう。

目 次

- ◆はじめに 橋本賢二

第 一 部

映画研究のために

- 準備としてやったこと 橋本賢二 1
- 映画研究の手法と注意点
- スティーブン・ミルザー原作『幻影師アイゼンハイム』を例に— 橋本賢二 7
- 最新アメリカ文学 映画化状況 中井寛貴 14

実 践 篇

- ☆『ロミオとジュリエット』
- ～400年語り継がれる恋愛物語から学ぶこと～ 来嶋夕依 25
- ☆『ショーシャンクの空に』
- 有限の生に向き合うために— 高 良児 29
- ☆『マトリックス』
- ～機械と人間をイメージしてみる～ 村上雄太 32
- ☆『プラス!』—音楽のカー 三井 愛 35
- ☆『ハンコック』が教えてくれたこと 山口 舞 37
- ☆『プラダを着た悪魔』から考える働く女性像 杉山友視 39
- ☆『リトル・マーメイド』の魅力 阿江真由美 41
- ☆『ラスト・サムライ』から学ぶ人間に必要なもの 山下直子 43
- ☆『幸せのちから』から学んだこと 紀野由加里 45

第 二 部

お薦め映画百選 — Our Favorite 100 Movies —

アメリカ映画等篇 47

魔法にかけられて / ピーターパン / 最高の人生の見つけ方 / 幸せの1ページ
きみに読む物語 / 50回目のファーストキス / CUBE / RENT
天使にラブソングを2 / デイ・アフター・トゥモロー / アース / ヘアスプレー
ターミナル / レミーのおいしいレストラン / ロード・オブ・ザ・リング
グリーンマイル / プライベート・ライアン / 硫黄島からの手紙 / イルマーレ
バンテージ・ポイント / ドリーム・ガール / ビッグ・フィッシュ
チャーリーとチョコレート工場 / サウンド・オブ・ミュージック
フォレスト・ガンプ / ファインディング・ニモ / Mr.インクレディブル
モンスターズ・インク / ライオン・キング / ハリー・ポッター 他

日本映画篇 131

紅の豚 / とんりのトトロ / 風の谷のナウシカ / こぎつねヘレン / 海猿
男たちの大和 / リアル鬼ごっこ / ただ君を愛してる / タイヨウのうた / 恋空
パコと魔法の絵本 / バッテリー / そのときは彼によろしく 他

◆ あとがき 橋本賢二

第一部

映画研究のために

準備としてやったこと

橋本 賢二

何をするにも準備は大切だが、相手とする学生の数が多い場合には、その必要性はさらに増してくる。今年度は一般英語のクラスの学生たちにも門戸を開いて、より多くの意見を集めることとした。そのために、短い時間で効率的に正確な指示を与えるには、要点をしっかりとわかりやすく示した文書の配布が最も効果的となる。

映画紹介や映画論は夏休み中に書いてもらうこととして、夏期休暇前の3～4週間の授業前の時間を利用して、次のような書類を順次配布した。

Vol.1 夏休み課題について～映画紹介「私のおすすめ映画はコレ」

- ・ 『マイ・ベスト・ムービー100選』(仮題) 論集出版 (2009年2月)に掲載する映画論(エッセイ・記事程度)・映画の紹介文を書く。「私のおすすめ映画はこれだ!」、「授業で使えるビデオ教材はこれがいい」、「味わい深い作品です」、「～のシーンは涙ものです」、「～なところは感動しました」、「絶対みんなにも観てもらいたいと思います」、「私はこれを見てから考え方が少し変わりました」、「私も～してみようかなと思いました」、などと「心を動かされた」映画、感動作、名作、隠れた佳作・傑作などを紹介するプレゼンテーションを文章で行ってください。
- ・ 著作権や肖像権がある映画や俳優の写真は使えませんが、自分が描いたイラストや著作権フリーの素材(ネットで検索)は使ってもよい。ただし、レイアウトしてデータに完全入力しておくこと。A4サイズに入力して、レイアウトなど工夫して見やすくデザインしてください。分量は個人にまかせますが、A4、1ページ(から2ページぐらいで、場合により3ページ)。すぐれた作品には、追って、3ページまで拡大してもらう可能性もあります。形式の詳細については別紙で指示します。WORD で入力してデータをメール(または CD/フロッピーディスク:返却しない)で送ってもらう予定ですので、保存しておいてください。また、メールで添付する場合は、件名に「授業曜日、時限、シートナンバー、氏名」を入力すること:※必須事項です。
- ・ 提出は後期授業の初回(プリントアウト原稿のみ提出)。全員提出。
(後期の成績のプラス分にします)
- ・ 論集に採用された人には、校正して、修正を求めることがありますので、更新してください。※不採用者に減点はありません。
- ・ データの送付についてはその後連絡します。

Vol.1 続き

▼記入要領

- ・ A4横書き、1(～2,3)枚、フォント・字体は自由。行・列、自由。(イメージとして別紙サンプル参照)
- ・ まずタイトルを書く：作品名を邦題で『 』内に入れ(「 」ではない)、それをどう人に勧めたいかを伝えるような題名をつける。
- ・ 氏名：右寄せ。
- ・ データ：作品と執筆者のデータを枠で囲んで、指示された番号のみを振りながら、書き入れる。

①氏名(アルファベット：見本参照) ②作品英題(ブロック体、大文字と小文字表記) ③日本公開年(西暦一年) ④上映時間(一分) ⑤ジャンル(自由に) ⑥主(出)演男/女優(英語又は日本語、1～2名) ⑦監督(英語又は日本語) ⑧原作者(あれば英語又は日本語)：作品名(英語又は日本語) ⑨作品を表すキーワード(3語程度：英語又は日本語) ⑩SHORT COMMENT(この作品を観て心に鮮やかに残った感動やイメージを、簡潔な英語で1文か2文にまとめる。例：私はこの映画を観て～な世界があることを知った。人に～していくことはいいことだと感じた。～なシーンは実に味わい深く、何度観ても飽きないと思う。)

あらすじ：枠で再び囲み あらすじ と題し(ネタバレなどに配慮も可)、ストーリーを(短く)書く。長さ自由(日本語)。

Vol.1 ではまず全体的な概説を示し、書いてもらいたいもののイメージを伝えた。さらに執筆上の注意事項記入要領をあわせて示した。

つづいて Vol.2 では、各論を具体的にどのように書けばよいのかという最も重要な点について、できるかぎり丁寧にわかりやすく述べた文書を配布した。

Vol.2 『マイ・ベスト・ムービー100選』(仮)映画紹介・内容について

- ・ A4サイズに Vol.1 の要領で必要事項を記入した上で、1枚(～2、3枚)にまとめる。

本論の書き方(例)

- ・ 各章にタイトルをつける。(文字は本文より大きく、又は太くする。センタリングする。)
- ・ 各章にⅠ.Ⅱ.Ⅲ.とつけてそのあと章題をつけていく。(同上。又は左寄せ。)
- ・ 何も章タイトルをつけなくて、段落のみをつけて、書き進める。(読みやすいこと。)

Vol.2 続き

▼記入例

- ・ I.『△△△』との出会い／私と『××××』／『・・・』の思い出 などと題し、作品と出会ったきっかけなどを書きながら、楽しく、読みやすく、スタートする。長くならないこと。
- ・ II.〇〇〇〇することの大切さ／△△△する勇気のお話／××××を忘れない／「・・・」忘れられないその一言など作品の本質、メインポイント、中核、魅力の本質に迫るタイトルをつけて、その作品がどうして素晴らしいと思うのか、自分の心を捉えたのか、自分にとって忘れられない作品と感じられたのかをシンプルに、分かりやすく、無理せずに素直に表現していく。
- ・ III.今見直してみてもう思うとか、その後のこととか、ここは自由に自分が伝えたいことを(タイトルを付して)外へ向かってアピールしていく。次の人々への紹介という思いで書くのもよい。

以上で終わってもよいが、I.II.III.をひとつにして書いてもよい。また、それ以外に作品の詳細に触れて、おもしろかったシーンや失敗しているところ、撮影の様子など、又、スターのエピソード、監督、主人公の立場など自由な論の展開としてもよい。

☆ただし、すべてその作品の魅力を他の人々に伝えたいという思いを忘れないように。その共感を一人でも多くの人に持ってもらいたいという心を基礎として書き進めること。

これがないとまったく初めて書く学生たちにとって、どこから手をつけてよいのかわからなくなってしまう。初歩的でどくらいかの解説から始めてもよいと思われる。

また、学生たちの様式を統一させるために詳細な指示を明記した。これにより、編集して一冊にまとめるときの不統一感は少なくなる。

のちほどみてみたところ、英語のできがすこぶる悪かったのは残念であったが、英語圏の専門の学生が少し添削してくれた。

いくら丁寧に説明してみても、具体的な見本を示す以上に効果的なものはない。架空の学生の架空のレポートを作成し、それをサンプルとして示し、わかりやすさを追求したのが次の Vol.3 である。

Vol.3 映画紹介・映画論サンプル

- ・ 次の見本を参考として必要事項の記入方法などを確認し、間違いのないようにする。
- ・ 英文の作成などには「アルク・ホームページ」などを参考にすると文例が多く書きやすい。
- ・ 段落(アタマ一字下げ)をつけながら書き進める。

『美女と野獣』にみる愛の形と成長

柏原 希望

① Nozomi KASHIWARA ② Beauty and the Beast ③ 1992年 ④ 84分 ⑤ animation, love story ⑧ ポーモン婦人・Janne-Marie Leprince de Baumont(1911-80) ⑨ 文部省特選(当時)、王となる資質、ディズニーの新時代 ⑩ Love is not longing for something from others but giving anything you have to them. Before you come of age, you had better learn to control your temper.

あらすじ：ディズニーが原作を元に作り上げた大人向けアニメの傑作。森の中に住む王子は訪ねてきた魔女を冷たくあしらひ、野獣の姿にさせられる。21歳の誕生日までに、人を愛し、愛されるようにならなければ、再び元の姿にはもどれない。道に迷って城に入り込んだ父親の身代わりで、城に来た娘、ベルに野獣は惹かれ始める。…

I. ストーリーの魅力から

私がこの作品を初めて観たのはニューヨークへ行く飛行機の中だった。小さい頃から漫画などまったく読んだことのない私は、ディズニー映画どころかアニメさえ観たことがなかったので、半ば眠っていたのだが、話が華境に入ってくると、ジワリ、ジワリと身を乗り出していた。…

II. あきさせない展開とミュージカル仕立ての味わい

ディズニー映画は切れ目さえ退屈させないように工夫されている。子供があきるものは大人も退屈しやすい。その点、美しく展開が速くテンポのよい音楽付きの映像は、見るものを惹きつける要素を多分に含んでいる。さらに…

III. 心に残るシーン —ダンス、そして解放—

ベルに会い、人を愛する気持ちを知った野獣が、今度はベルに何か与えたいと思い始める。ベルの好きな本であふれる書齋を与え、さらに、城から出してやることこそ愛だと知る。もう再び人間にはもどれないかもしれない。しかし、その思いこそ成長の瞬間の証となる。…

さらに、それに加え、前年度までに編集出版していた論集の中で、映画を扱っていた論文を直接見本として、模範的に配布した(氏名消去)。それにより、ほぼ求められているものの姿はすべての学生に、ほぼ正確に伝わったようである。

さらに提出に関して、秋の新学期には、次のような表紙をつけたゼロックスコピーを提出させた。

表紙 右上とじる または 中央クリップどめ 各ページ下に番号鉛筆書き	
()曜日 ()時限	シート No()
専攻 ()	
学籍番号()	
ふりがな ()	:
氏名 []	:
論題	
「	」
枚数 : 1 2 3 () 枚	「○」

そしてさらに、データ添付には次の注意書きを配布し、万全を期した。

映画論データ送付について
・プリントアウトした紙の論文を提出した者は、必ず10月中に下にあるメールアドレスに添付資料として送ること。(期限厳守)

映画論データ送付についての続き

※ 注意事項

1.メールのタイトルには

金3 「タイタニック」 山口太郎 2ページ

というふうに授業の曜日、時限、「映画のタイトル(略可)」、氏名、全ページ数を記入しておくこと。

2.メールの本文にはもう一度、曜日、時限、さらに、シート番号、映画論

完全タイトル、専攻、学籍番号、氏名(ふりがな付き)、全ページ数、プリント提出日を記入しておくこと。

3.10月中に必ず送ること。

映画提出先メールアドレス

XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

以上のような手法でなんとか協力を仰ぎ、このような論集の完成に至った。

この提出を後期の成績のプラスとすることを伝えておいたことにより、ほぼ全員の学生が提出してくれた。残念なことは、予算の関係で、ページ数が多くなりすぎないように言ったために、実力があっても1ページでがまんしてくれた学生が多くなり、第一部の論文が少なくなってしまったことである。今後の反省としたい。

映画研究の手法と注意点

——スティーブン・ミルハウザー原作『幻影師アイゼンハイム』を例に——

橋本賢二

小説に対する関心が薄れるなかで、文学や文化の研究を標榜している大学の機関では、映画を研究する流れがますます盛んになりつつある。小説に比べ取りつきやすく、学生たちの関心も高く、本を読むことが少なくなった現代には卒論のテーマ探しにおいてもとりあえず有効な材料となっている。その時に問題となってくるのが、研究途上における「論考の瓦解^{がかい}」である。

特に強く関心を持っている小説もなく、最近話題となった映画からなんとなく興味を持ち原作を読み始めた学生たちが、両者の間にずいぶんとかげはなれた世界が存在することに違和感を覚えながらも、とりあえずひとつのテーマを設けて書き始めるうちに、「自分が書いているのは小説論なのか映画論なのかわからない」とか「原作と映画はまったく違うテーマになっていることに気づき始めた」とか、「今自分は何を調べているのかわからなくなった」とか、果ては「映画ですでに明らかにされているのに、なぜこのテーマを掘り下げて考えてみる必要があるのかわからなくなった」というような根源的悩みまで口にすることが間々ある。なかには卒論提出期限が迫る年末になって、書くことを放棄してしまう例も少なからず見受けられるのではないだろうか。また人々がより一層リアリティのある作品を好む傾向を示し始めていることに呼応して、映画は「実話に基づく」とか「本当にあった事件」とか「実在の人物の努力と感動のストーリー」などと銘打って映画の宣伝をしていることが多くなってきている。その言葉に惹かれて映画を観て、原作を読み始めた学生たちは、そこに描かれている人物や作品の背景となっている社会問題などに対し興味を抱き始め、それらに関する現実のデータや資料などを集め始めることとなる。その流れの中で、ある者たちがまた次のような疑念を持ち始めるのも自然の流れであろう。「あれ、私は今何を研究していたのだろう。映画だったのか小説なのか、それとも本当の出来事や、実在の人物だったのだろうか。」小説研究が映画研究に広がるうちはまだとらえどころがあったが、関心はその作品の中においてとりわけ輝いている「時代」や「社会」「文化」「集団」「現象」「事件」に移るにつれ、手法は文化研究・(英米) 事情的研究へと変質していき、「自分の考えを強く示していく」「芸術批評」から「事実の提示」のみによっても研究が成り立つ「文化研究的、文明事情的リサーチ」へと移行していることがよくある。研究している本人たちもそのことに気づいておらず、それに対するアドバイスもない場合には、学生たちは方向性を失い、まったくスタックした状態に陥ってしまう

危険性をはらんでいるのである。

そこでここではひとつの作品を例に挙げながら、もう少し詳しく、その研究対象の特性と問題点について説明してみよう。ここに挙げる【映画】『幻影師アイゼンハイム』(The Illusionist) は、今日のアメリカの幻想小説作家スティーヴン・ミルハウザー (Steven Millhauser, 1943・) の【短篇】「幻影師、アイゼンハイム」(“Eisenheim the Illusionist”) を読んで感銘を受けた映画監督のニール・バーガー (Neil Burger) が、自ら脚色し、【シナリオ】として書き上げたものを映像化した作品である。その【時代背景】となっているのは、現代のアメリカではなく、19世紀末のオーストリア、ウィーンである。ミルハウザーによる原作は、ハプスブルグ家が治める帝国が衰退し崩壊しようとしている世紀末の退廃的時代風潮の中で生まれてきた、幽霊を操るイリュージョニストの^{わざ}業と人生模様を、妖しくも悲しげな光と影で描き上げた短篇作品である。この原作を読んでインスピレーションを得たニール・バーガーは、作品を基礎としながらも、ストーリーを完全に違うラブストーリーへと変貌させ、登場人物たちの役柄設定を変更し、新たな人物たちを登場させ、殺人事件を引き起こし、犯人捜しのサスペンス・テイストを付け加え、映画にのみ許されるそして求められる改編を行った。現実のヨーロッパ世界としては、当時、娯楽として大がかりな手品が人々に愛されていたが、世紀末に至りそのトリックの種^{たね}はますます複雑化し、やがてステージの上に幽霊を出現させるというようなマジシャンも登場していたらしい。この「時代風潮と幻影師」というものを追い求め分析してみることも、それ自体が文化と人類の営みを知るうえでも興味深いものであり、有益なものであろう。しかしながら映画の設定の中にある皇太子と婚約者は実在の人物ではなく、実際にあった「マイヤー事件」などをヒントとしてニール・バーガーが創作したフィクションである。つまり映画の背景社会には事実が多く用いられているとしても、きらびやかに注目を浴びる登場人物たちはすべて架空の人物たち、あるいは映画用に修正されたキャラクターなのである。文化研究に進むときに意識に留め置きながら、区別しなければならない一線はまさにその部分である。

さらに【原作】はまさに「ゆるく基づいている (loosely based)」だけなので、それをヒントとして作られたこの映画はほとんど別の芸術作品と考えるべきものである。その中心的テーマのひとつである幽霊を出現させるというアイゼンハイムが考案した魔術についても、【原作】の中では映画とは異なる位置づけが与えられている。秩序の崩壊しかけたハプスブルグ家最後の時代にあって、現在の社会を守り通そうとする体制側の警察から見ると、アイゼンハイムのイリュージョンは「幻想世界と現実世界の境界線をあいまいにして侵犯する禁断の黒魔術」ということになる。そして短篇小説

の中ではそれがひとつの中核として機能しているのである。その現実嫌気がさしたか、はたまた世紀のイリュージョニストとしての使命に疲れたか、迫り来る危機を感じたアイゼンハイムは自らの姿を消し去る一世一代の壮大なイリュージョンに挑む。舞台の上で幽霊を出現させたアイゼンハイムを「公共秩序の妨害」罪でウール署長が逮捕しようとした瞬間、その手はアイゼンハイムの肩を通り抜ける。剣を抜き切りつける署長と6名の警官を物憂げな眼で眺めながら、イリュージョニストは存在の糸を解きながら虚空の領域に溶けていく。

変革の波に基盤を洗われた19世紀末の旧秩序は、大観衆の見守るなか、体制側の指の隙間からまさに砂のようにこぼれ落ちていった。ここにはラブストーリーとイリュージョンの関連性はほとんどないが、【映画】では逆にその出来事が、アイゼンハイムと幻なじみの高貴な女性との禁断の愛を成就させる奇跡の魔法という位置づけに変質している。

【映画】『幻影師アイゼンハイム』はアメリカとチェコのコラボにより製作されたアメリカ映画で、全米では2006年8月に当初51館のみで公開されたが、味わい深い作品ということで、じわじわと評判が高まり、上映館はやがて1500館ほどにまで拡大された。最終的には興行収入も4000万ドルに達し、今も根強い人気を示している。日本公開は2008年5月で、すがすがしい感動を呼び、「久しぶりに映画らしい映画を観た」というような日本人の感想もよせられているエンターテインメント性のある文芸作品である。

19世紀末ウィーンを舞台に、天才マジシャン（イリュージョニスト：幻影師）と、幼い日に出会った公爵令嬢との間の決して許されることのない「格差愛」を描く、ロマンス・ミステリー風のラブストーリーであるこの映画は、インディペンデント・スピリット賞最優秀脚本賞、サンディエゴ映画批評家協会特別賞、ニューポートビーチ映画祭女優賞、など数多くの賞を受賞し、第79回アカデミー賞撮影賞にもノミネートされるまでに至った佳作である。

家具職人の家に生まれたエドゥアルド（後のアイゼンハイム）はある日、道を歩いていると、偶然通りかかった大木のそばで、そこに座っていた男から不思議な奇術を見せられる。男は彼にいくつかのマジックを見せると、大木ごと消えてしまう。その日から奇術の虜になってしまったエドゥアルドはマジックをしながら路上を歩いているとき、馬で通りかかった公爵令嬢・ソフィと仲良くなり、彼女に手品を披露してゆくうち恋心が芽生える。しかし、身分の違いから二人は強引に引き裂かれる。そして少年は愛する女性のことを忘れようと、アジア、中国へと旅に出て、以後消息が途絶える。

15年後、アイゼンハイムと名を変えたエドゥアルドは、町中の人々の話題をさらう若き天才幻影術師として再びウィーンに姿を現す。その噂を聞きつけた皇太子レオポルトは、何も知らない婚約者ソフィを連れて劇場を訪れる。実験台を探す幻影師の求めに応じて舞台上上がるように皇太子に促されたソフィは、今はひげをたくわえて変わってしまっていたエドゥアルドの瞳を間近に見た瞬間、そのイリュージョニストの正体を知る。

やがてアイゼンハイムとソフィの間には、十数年前に無理やり引き裂かれた愛が再燃する。少年時代に出会ったときには、窮屈な押し付けられる政略の世界の暮らしから脱したいと願うソフィの「私を消して」という言葉に、魔法を持って果たしきれなかった後悔があったアイゼンハイムは、今度は「本当についてくるか」と尋ね、ついに修行の旅の成果を試す禁断の魔術(イリュージョン)に挑む。ディズニー映画の『アラジン』においてプリンセス・ジャスミンに“Do you trust me?”と尋ねながら主人公のアラジンが魔法のじゅうたんに乗せて、窮屈な城から外の世界へと連れ出すシーンを彷彿とさせる、まさにラブストーリーの大団円の始まりである。

映画の観客に示されていくのは、嫉妬に駆られた皇太子がソフィを殺害し、事件そのものは犯人不詳のまま迷宮入りし、その直後からアイゼンハイムの舞台は一変、ステージには幽霊が現れて、客席の人々と会話をし始め、やがて舞台にはとうとうソフィの幽霊が現れるようになるというもの。

やがて風紀を乱す幻影師を逮捕せよという皇太子の指示が出るようになっていき、そしてついに警官がアイゼンハイムの体をつかもうとした瞬間……。

皇太子に擦り寄り、二人の恋路を邪魔して出世を狙っていたウール警部はやがてレオポルトから離反していき、やがてソフィの死亡事件を追いかけていくうちにその事件の真相を悟っていく。その真相究明の過程が最終的に、エンディングにおけるアイゼンハイムの一世一代の愛に賭けたイリュージョンの謎解きの解説となり、そのシーンの中で披露される幻影ではない「ふたりの愛の真実」が観終わったあとのさわやかな感動を生み出す。

【時代背景】として、実際に19世紀末ウィーン、ハプスブルク帝国末期の芸術文化の都では、大掛かりな奇術(イリュージョン)が一世を風靡していたそうである。ラジオやテレビどころか映画さえない時代に、大掛かりな舞台装置を用いたマジックは絶大な人気を集めていたらしい。アイゼンハイムという名の幻影師は実在の人物ではないが、ヒントとなるような幻影師は数多くいたらしい。この映画に登場するマジックの多くも当時にあったものをイメージして採用してあるという。

監督ニール・バーガーはこういった時代の文献を読み漁り、時代考証を徹底して行った。そして実際にあった出来事などを参考にし、名前にも関係者をイメージさせる

ものを用いたり、当時の面影を残すロケ地を探し回ったりして、作品にリアリティのある臨場感を生み出すことに意を尽くしている。その結果、舞台は当時を彷彿とさせる風物にあふれ、画面は時代背景が生き生きと感じられるものとなり、作品は変わろうとする世紀末ヨーロッパの「時代の息吹」を色濃く反映するものに仕上がっているのである。これはマジックという怪しげな題材ゆえの腐心でもあるが、それが作品の重みとなり映画の質を高めている。そのおかげで、映画は全米コスチュームデザイナー協会賞にノミネートされるなど、細やかなディテールも賞賛されることとなり、「しっとりとした雰囲気のある作品」との評判を勝ち得ている。

【原作】の中にもこのような時代の風物や風潮は同様に色濃く現れている。時代背景的には共通性があるが、中身としてはどうであろうか。この映画の【原作】であるスティーブン・ミルハウザーの短篇集『バーナム博物館』(*The Barnam Museum*, 1990: 柴田元幸訳/白水Uブックス)に収められた短篇「幻影師、アイゼンハイム」を読むと、主人公は映画のアイゼンハイムとはイメージが大きく異なることに気づくはずである。

主人公のアイゼンハイムは、マジックにおいては他を圧倒する力と自信を示すが、それが人間、とくに自分が関心を寄せる相手となると、とたんに消極的になっていく。ミルハウザーの作品にはそのような傾向が強いように思われる。映画の中ではメインテーマとなっている「愛」や「女性」、「結婚」に関して、短篇のなかではどのように描かれているか、アイゼンハイムの心の動きを少し引用してみよう。

「人々を欺きつづけることに疲れたのか、それとも自分は一人なのだ、まったくの独りぼっちなのだという想いに襲われたのか、色あせてゆく世紀の最後の数週間、二度と舞台に立つことはなかった」アイゼンハイムは、自分の人生について考え始める。

彼は40歳か、もしくは41歳になっていた。人間が自分の人生をじっくり見つめ直す時期である。アシスタントとの仲が時おり取り沙汰されたことはあったけれども、彼はこれまで独身で通していた。厳めしいが端正な顔だちであり、財産もあったし、片足で立ったまま屈伸を30回できるほどの強靱な体力の持ち主だと言われていた。ウィーンの森へ移ってまもなく彼は26歳になる、地元の領主の娘ゾフィー・リッターに求愛をはじめた。ゾフィーの父親はアイゼンハイムの職業を是認せず、またルエガー率いる、反ユダヤ主義を奉ずるキリスト教社会党の熱烈な支持者でもあった。ゾフィー本人はアイゼンハイムに恋していたと思われるが、最後になって事態は急変し、娘は唐突に身を引いて、1ヵ月後にグラーツ在住の穀物商人と結婚した。一年にわたって、アイゼンハイムは隠遁した郷土のよ

うにひっそり暮らしていた。

そして「悪魔の工場」と呼ばれるようなイリュージョンの秘密の建物を建てたアイゼンハイムは、そこでやがて幽霊を出現させるトリックを開発する。

この流れのなかのアイゼンハイムは、映画の主人公のように愛にひたむきになれるタイプではなく、むしろ愛が満たされないとわかるとすぐさま器械のなかに再び逃避し、安住できる場所を見つけようとするような、女性を苦手とするタイプとして描かれている。

この作品の最後は、アメリカ文学のスタートを印すワシントン・アーヴィングの短篇「スリーピー・ホローの伝説」の最後と似通ったところが多い。有る事情を抱えて意図的に姿を消す主人公は、一方が首無し幽霊に消されたことを装い、一方は自らが幽霊と化し、混乱をきたし、忘れ去ってしまいたいと思うような世界から忽然と姿を消してしまうのである。そして人々が口々に話す噂話の展開も酷似している。

もちろんそれ以外にも、短篇の伝統は生かされている。幽霊出現シーンにはポーの、人々が徐々にざわめきたつ手法が用いられ、警官の手がアイゼンハイムの体をすり抜けるシーンにはアンブローズ・ビアスの「アウル・クリーク橋の一事件」の有名な手法が利用されている。ともあれ、タイトルや時代設定、主人公の職業などはそのまま共通して応用されているが、[短篇小説と映画とは本質においては似ても似つかないものがテーマとして用いられている] ことに注目しなければならない。

さらに【映画】の場合には、このうえに〔俳優〕というものの存在が作品の成否を左右する要素として付け加えられることとなる。ちょうどこれは演劇において、戯曲は作者の意図のみが完全に表現されたものであるにもかかわらず、それが演じられたときには、役者の演技力や言葉以外からにじみ出る付加的な要素が添加され、違うものとなっているのと同じである。

この映画『幻影師アイゼンハイム』の成功の多くは優れた俳優人の活躍に依存している。アイゼンハイムのエドワード・ノートン(Edward Norton)やソフィ役のジェシカ・ビール(Jessica Biel)はいろいろな意見もあるが、それぞれが特別賞や女優賞を受賞し、その演技を認められた。脇役のポール・ジアマッティ(Paul Giamatti : ウール警部) や皇太子レオポルド役のルーファス・シーウェル(Rufus Sewell)らには存在感があり、その演技は迫力ある卓抜したもので、それらが作品の重厚さを増し、安心してみていられる要素を生み出している。また幼少時代のアイゼンハイムとソフィを演じたアーロン・ジョンソン(Aaron Johnson)とエレナー・トムリンソン(Eleanor

Tomlinson)は主演の俳優たちよりも新鮮で生き生きとし、役柄にぴったりとあった魅力的な演技をして、作品に愛らしさを加えている。そのほかの俳優陣もおしなべてすばらしく、映画のヒットというものが配役のよしあしに大いに依存していることを改めて認識させられる作品である。

このように、【原作】、【脚本】、そして【映画】、さらにそれらを生み出した【時代社会の背景】はすべて、それぞれが別個のオリジナルなものであり、それぞれをどのように扱い研究するかは自由であるが、研究を始める前にはそれぞれのジャンルの特質を知って、その適性を心得ておくべきである。たとえば研究対象がこれらの4要素を兼ね備えている場合は、そのうちどれをメインの対象とするかをまず決めなければいけない。文字を用いず耳と目を頼りに1, 2時間で完結する「映画」自体には、会話文以外ほとんど言葉はなく、詳細な言葉による描写や心理の動きを言葉で確認する方法が自分に適していると思ったならば、原作を中心に利用すべきであろう。また映画を直接研究するのであれば当然シナリオは手に入れるべきであろう。また実話に基づく映画のなかのモデルに関心がわいた場合は、映画をどのような形で、どのレベルまで使用するかも注意深く検討し、前もって利用方法を準備する必要がある。「わたしは映画で…を知り、調べていくと…ということがわかった」などという展開や、「映画では…という人物に描かれていたが、調べてみると…映画とは大きく違っていた」などという使用方法もある。もちろんこれらの要素すべてを応用しながら映画論を進めることも可能であるが、その場合、映画論で何を明らかにしていくのかをはっきりと前もって考えておくことが大切となる。実はこれがいちばん難しい点でもある。映画と原作の比較で浮かび上がる「メディア論」か、「映画の芸術的批評」か、はたまた「娯楽性の研究」か。自分が本当に進めたいのは映画論か小説論か文化論か実際の人物研究なのか、卒論などを希望する学生が申し出てきたときには、教師側として、引き受ける前に後のことを考えてかならず一度は確認しておきたい項目である。学生の側としては、その様な心構えを持ったうえで、論文のポイントがどこにあるのかを常に念頭におきながら、主張したい一点に向けて各論考を有効に積み重ねていく構成を、前もってしっかりと作っておくことがさらに大切となってくる。

最新アメリカ文学映画化状況

—1990年代以降の日本公開作品と原作—

中井 寛貴

近年アメリカ文学が映画化されることも多いが、最近の状況を一瞥できるものが少ないので、ここでは、映画から小説化される／ノベライゼーションも含めて、1990年代から現在までに至る大まかなリストを作成してみた。

① 制作年 (※2000年以降は日本公開年が基準) ② 題名
③ 監督 ④ 原作者 ⑤ 原作名 ⑥ 上映時間

①1990年 ②The Hunt for Red October／レッド・オクトーバーを追え! ③ジョン・マクティアナン ④Tom Clancy／トム・克蘭シー ⑤The Hunt for Red October／レッド・オクトーバーを追え ⑥135分

①1990年 ②The Exorcist III／エクソシスト3 ③ウィリアム・ピーター・ブラッティ
④ウィリアム・ピーター・ブラッティ ⑤The Exorcist／エクソシスト ⑥110分

①1990年 ②Desperate Hours／逃亡者 ③マイケル・チミノ ④ジョセフ・ヘイズ ⑤The Desperate Hours
⑥105分

①1990年 ②Misery／ミザリー ③ロブ・ライナー ④スティーヴン・キング ⑤Misery／ミザリー ⑥108分

①1990年 ②The Grifters／グリフターズ 詐欺師たち ③スティーブン・フリーアーズ ④ジム・トンプソン
⑤The Grifters／グリフターズ ⑥109分

①1990年 ②After Dark, My Sweet／アフター・ダーク ③ジェームズ・フォーリー ④ジム・トンプソン
⑤After Dark, My Sweet／アフター・ダーク ⑥111分

①1990年 ②The Bonfire of the Vanities／虚栄のかがり火 ③ブライアン・デ・パルマ ④トム・ウルフ
⑤The Bonfire of the Vanities／虚栄の篝火 ⑥125分

①1991年 ②White Fang/ホワイト・ファング ③ランダル・クレイザー ④ジャック・ロンドン ⑤White Fang
/白牙 ⑥109分

①1991年 ②Cape Fear/ケープ・フィアー ③マーティン・スコセッシ ④ジョン・D・マクドナルド
⑤Cape Fear/ケープ・フィアー 恐怖の岬 ⑥127分

①1991年 ②Doc Hollywood/ドク・ハリウッド ③マイケル・ケイトン・ジョーンズ ④ニール・シュルマン
⑤What? Dead again?/ドク・ハリウッド ⑥104分

①1992年 ②The Last of the Mohicans/ラスト・オブ・モヒカン ③マイケル・マン ④ジェームズ・フェニ
モア・クーパー ⑤The Last of the Mohicans/モヒカン族の最後 ⑥112分

①1992年 ②A River Runs Through It/リバー・ランズ・スルー・イット ③ロバート・レッドフォード
④ノーマン・マクリーン ⑤A River Runs Through It/マクリーンの川 ⑥124分

①1992年 ②Patriot Games/パトリオット・ゲーム ③フィリップ・ノイス ④トム・克蘭シー
⑤Patriot Games/愛国者のゲーム ⑥117分

①1992年 ②Pet Sematary Two/ペット・セメタリー2 ③メアリー・ランバート ④スティーヴン・キング
⑤Pet Sematary /ペット・セメタリー ⑥101分

①1992年 ②Of Mice and Men/二十日鼠と人間 ③ゲイリー・シニーズ ④ジョン・スタインベック
⑤Of Mice and Men/二十日鼠 (ハツカネヅミ) と人間 ⑥111分

①1993年 ②Jurassic Park/ジュラシック・パーク ③スティーブン・スピルバーグ ④マイケル・クライトン
⑤Jurassic Park/ジュラシック・パーク ⑥127分

①1993年 ②Rising Sun/ライジング・サン ③フィリップ・カウフマン ④マイケル・クライトン
⑤Rising Sun/ライジング・サン ⑥128分

①1993年 ②The Pelican Brief/ペリカン文書 ③アラン・J・パクラ ④ジョン・グリシャム ⑤The Pelican Brief/ペリカン文書 ⑥141分

①1993年 ②The Secret Garden/秘密の花園 ③アニエスカ・ホランド ④フランシス・ホジソン・バーネット ⑤The Secret Garden/秘密の花園 ⑥105分

①1993年 ②The Age of Innocence/エイジ・オブ・イノセンス 汚れなき情事 ③マーティン・スコセッシ ④イーディス・ウォートン ⑤The Age of Innocence/エイジ・オブ・イノセンス 汚れなき情事 ⑥138分

①1993年 ②The Joy Luck Club/ジョイ・ラック・クラブ ③ウェイン・ワン ④エイミー・タン ⑤The Joy Luck Club/ジョイ・ラック・クラブ ⑥138分

①1993年 ②The firm/ザ・ファーム 法律事務所 ③シドニー・ポラック ④ジョン・グリシャム ⑤The firm/法律事務所 ⑥155分

①1993年 ②Needful Things/ニードフル・シングス ③フレイザー・クラーク・ヘストン ④スティーヴン・キング ⑤Needful Things/ニードフル・シングス ⑥120分

①1993年 ②Ethan Frome/哀愁のメモワール ③ジョン・マッデン ④イーディス・ウォートン ⑤Ethan Frome/イーサン・フローム ⑥99分

①1994年 ②Little Women/若草物語 ③ジリアン・アームストロング ④ルイーザ・メイ・オルコット ⑤Little Women/若草物語 ⑥115分

①1994年 ②Clear And Present Danger/今そこにある危機 ③フィリップ・ノイス ④トム・克蘭シー ⑤Clear And Present Danger ⑥141分

①1994年 ②Disclosure/ディスクロージャー ③バリー・レヴィンソン ④マイケル・クライトン ⑤Disclosure/ディスクロージャー ⑥128分

①1994年 ②The Client/依頼人 ③ジョエル・シューマカー ④ジョン・グリシャム ⑤The Client/依頼人 ⑥121分

①1994年 ②Legend of the Fall/レジェンド・オブ・フォール 果てしなき想い ③エドワード・ズウィック
④ジム・ハリソン ⑤Legend of the Fall/レジェンド・オブ・フォール 果てしなき想い ⑥132分

①1994年 ②The Getaway/ゲッタウェイ ③ロジャー・ドナルドソン ④ジム・トンプソン
⑤The Getaway/ゲッタウェイ ⑥116分

①1995分 ②Smoke/スモーク ③ウェイン・ワン ④ポール・オースター
⑤Auggie Wren's Christmas Story/オーギー・レーンのクリスマス・ストーリー ⑥65分

①1995年 ②A Little Princess/リトル・プリンセス ③アルフォンソ・キューロン ④フランシス・ホジソン・
バーネット ⑤A Little Princess/小公女 ⑥97分

①1995年 ②The Grass Harp/グラス・ハーブ 草の豎琴 ③チャールズ・マッソー
④トルーマン・カポーティ ⑤The Grass Harp/草の豎琴 ⑥103分

①1995年 ②Congo/コンゴ ③フランク・マーシャル ④マイケル・クライトン ⑤Congo/失われた黄金都市
⑥109分

①1995年 ②Dolores Claiborne/黙秘 ③テイラー・ハックフォード ④スティーヴン・キング ⑤Dolores
Claiborne/ドロレス・クレイボーン ⑥131分

①1995年 ②Get Shorty/ゲット・ショーティ ③バリー・ソネンフェルド ④エルモア・レナード ⑤Get Shorty
/ゲット・ショーティ ⑥105分

①1995年 ②How to Make an American Quilt/キルトに綴る愛 ③ジョセリン・ムーアハウス ④ホイットニー・
オットー ⑤How to Make an American Quilt/キルトに綴る愛 ⑥117分

①1995年 ②The Bridges of Madison County/マディソン郡の橋 ③クリント・イーストウッド ④ロバート・
ジェームズ・ウォラー ⑤The Bridges of Madison County/マディソン郡の橋 ⑥135分

①1996年 ②THE CALL OF THE WILD/ザ・サバイバル (荒野の呼び声) ③ピーター・スヴァテク ④ジャック・ロンドン ⑤THE CALL OF THE WILD/荒野 (野生) の呼び声 ⑥91分

①1996年 ②Before and After/判決前夜 ③バーベット・シュローダー ④ロゼリン・ブラウン ⑤Before and After/判決前夜 ⑥107分

①1996年 ②The Portrait of a Lady/ある貴婦人の肖像 ③ジェーン・カンピオン ④ヘンリー・ジェームズ ⑤The Portrait of a Lady/ある貴婦人の肖像 ⑥145分

①1997年 ②The Rainmaker/レインメーカー ③フランシス・F・コッポラ ④ジョン・グリシャム ⑤The Rainmaker/レインメーカー ⑥135分

①1997年 ②The Wings of the Dove/鳩の翼 ③イアン・ソフトリー ④ヘンリー・ジェームズ ⑤The Wings of the Dove/鳩の翼 ⑥101分

①1997年 ②The Lost World: Jurassic Park/ロスト・ワールド ジュラシック・パーク ③スティーヴン・スピルバーグ ④マイケル・クライトン ⑤The Lost World/ロスト・ワールド ⑥129分

①1997年 ②L. A. Confidential/L. A. コンフィデンシャル ③カーティス・ハンソン ④ジェームズ・エルロイ ⑤L. A. Confidential/L. A. コンフィデンシャル ⑥138分

①1997年 ②Lorita/ロリータ ③エイドリアン・ライン ④ウラジミール・ナボコフ ⑤Lorita/ロリータ ⑥138分

①1998年 ②Lulu on the Bridge/ルル・オン・ザ・ブリッジ ③ポール・オースター ④ポール・オースター ⑤Lulu on the Bridge/ルル・オン・ザ・ブリッジ ⑥104分

①1998年 ②The Horse Whisperer/モンタナの風に抱かれて ③ロバート・レッドフォード ④Nicholas Evans/ニコラス・エヴァンス ⑤The Horse Whisperer/ホース・ウィスパラー ⑥167分

①1998年 ②Simon Birch/サイモン・バーチ ③マーク・スティーヴン・ジョンソン ④ジョン・アーヴィング
⑤A Prayer for Owen Meany/オウエンのために祈りを ⑥113分

①1998年 ②Psycho/サイコ ③ガス・ヴァン・サント ④ロバート・ブロック ⑤Psycho/サイコ ⑥105分

①1998年 ②Sphere/スフィア ③バリー・レヴィンソン ④マイケル・クライトン ⑤Sphere/スフィア 球
体 ⑥134分

①1998年 ②Apt Pupil/ゴールデンボーイ ③ブライアン・シンガー ④スティーヴン・キング ⑤Apt Pupil
/ゴールデンボーイ ⑥112分

① 1998年 ②Out of Sight/アウト・オブ・サイト ③スティーヴン・ソダーバーグ ④エルモア・レナード
⑤Out of Sight/アウト・オブ・サイト ⑥123分

①1999年 ②The Green Mile/グリーンマイル ③フランク・ダラボン ④スティーブン・キング ⑤The Green
Mile/グリーンマイル ⑥188分

①1999年 ②Fight Club/ファイト・クラブ ③デヴィッド・フィンチャー ④チャック・パラニューク ⑤Fight
Club/ファイト・クラブ ⑥139分

①1999年 ②Girl, Interrupted/17歳のカルテ ③ジェームズ・マンゴールド ④スザンナ・ケイセン
⑤Girl, Interrupted/思春期病棟の少女たち ⑥127分

①1999年 ②Sleepy Hollow/スリーピー・ホロウ ③ティム・バートン ④ワシントン・アーヴィング
⑤The Legend of Sleepy Hollow/スリーピー・ホロウの伝説 ⑥106分

①1999年 ②Pola X/ポーラX ③レオス・カラックス ④ハーマン・メルヴィル ⑤Pierre; or, The Ambiguities
/ピエール ⑥134分

①1999年 ②The Cider House Rules/サイダーハウス・ルール ③ラッセ・ハルストレム ④ジョン・アーヴィ
ング ⑤The Cider House Rules/サイダーハウス・ルール ⑥126分

①2000年 ②The Golden Bowl/金色の嘘(黄金の盃) ③ジェイムズ・アイヴォリー ④ヘンリー・ジェームズ
⑤The Golden Bowl/金色の嘘(黄金の盃) ⑥130分

①2001年 ②Hearts in Atlantis/アトランティスのところ ③スコット・ヒックス ④/スティーブン・キング
⑤Hearts in Atlantis/アトランティスのところ ⑥101分

①2002年 ②THE TIME MACHINE/タイムマシン ③サイモン・ウェルズ ④H・G・ウェルズ ⑤THE TIME MACHINE
/タイムマシン ⑥96分

①2002年 ②Mignority Report/マイノリティ・レポート ③スティーヴン・スピルバーグ ④フィリップ・K・
ディック ⑤Mignority Report/マイノリティ・レポート ⑥145分

①2003年(日本未公開) ②Holes/穴 HOLES ③アンドリュー・デイヴィス ④ルイス・サッカー
⑤Holes/穴 ⑥117分

①2003年 ②The Bourne Identity/ボーン・アイデンティティ ③ダグ・リーマン ④ロバート・ラドラム
⑤The Bourne Identity/暗殺者 ⑥119分

①2004年 ②POLAR EXPRESS/ポーラー・エクスプレス ③ロバート・ゼメキス ④クリス・ヴァン・オールズバ
ーグ ⑤POLAR EXPRESS/急行「北極号」 ⑥100分

①2004年 ②Timeline/タイムライン ③リチャード・ドナー ④マイケル・クライトン ⑤Timeline/タイム
ライン ⑥116分

①2004年 ②Runaway Jury/ニューオーリンズ・トライアル ③ゲイリー・フレダー ④ジョン・グリシャム
⑤The Runaway Jury/陪審評決 ⑥128分

①2005年 ②The Notebook／きみに読む物語 ③ニック・カサヴェテス ④ニコラス・スパークス
⑤The Notebook／きみに読む物語 ⑥123分

①2005年 ②In Her Shoes／イン・ハー・シューズ ③カーティス・ハンソン ④ジェニファー・ウェイナー
⑤In Her Shoes／イン・ハー・シューズ ⑥131分

①2005年 ②Oliver Twist／オリバー・ツイスト ③ロマン・ポランスキー ④チャールズ・ディケンズ
⑤Oliver Twist／オリヴァー・ツイスト ⑥129分

①2006年 ②A SCANNER DARKLY／スキャナー・ダークリー ③リチャード・リンクレイター ④フィリップ・K・
ディック ⑤A Scanner Darkly／暗闇のスキャナー ⑥100分

①2006年 ②A SOUND OF THUNDER／サウンド・オブ・サンダー ③ピーター・ハイアムズ ④レイ・ブラッドベ
リ ⑤A Sound of Thunder／いかずちの音 ⑥102分

①2007年 ②Meet the Robinsons／ルイスと未来泥棒 ③スティーヴン・アンダーソン ④ウィリアム・ジョイ
ス ⑤A Day with Wilbur Robinson ⑥95分

①2007年 ②I Am Legend／アイ・アム・レジェンド ③フランシス・ローレンス ④リチャード・マシスン
⑤I Am Legend／吸血鬼（地球最後の男（人類SOS）／地球最後の男／アイ・アム・レジェンド） ⑥100分

①2007年 ②ROBBER BRIDE／寝盗る女 ③デヴィッド・エヴァンス ④マーガレット・アットウッド
⑤The Robber Bride／寝盗る女 ⑥93分

①2008年 ②The Water Horse : Legend of the Deep／ウォーター・ホース ③ジェイ・ラッセル ④ディック・
キング＝スミス ⑤The Water Horse／おふろのなかからモンスター ⑥112分

①2008年 ②Atonement／つぐない ③ジョー・ライト ④イアン・マキューアン ⑤Atonement／贖罪 ⑥123分

①2008年 ②There Will Be Blood/ゼア・ウィル・ビー・ブラッド ③ポール・トーマス・アンダーソン
④アプトン・シンクレア ⑤Oil!/石油! ⑥158分

①2008年 ②The Illusionist/幻影師アイゼンハイム ③ニール・バーガー ④スティーヴン・ミルハウザー
⑤The Illusionist/幻影師アイゼンハイム ⑥109分

①2008年 ②21/ラスベガスをぶつつぶせ ③ロバート・ルケティック ④ベン・メズリック ⑤Bringing Down
the House/ラス・ヴェガスをブツつぶせ! ⑥122分

①2008年 ②Jumper/ジャンパー ③ダグ・リーマン ④スティーヴン・グールド ⑤Jumper/ジャンパー
⑥88分

①2008年 ②No Country for Old Men/ノーカントリー ③ジョエル・コーエン イーサン・コーエン
④コーマック・マッカーシー ⑤No Country for Old Men/血と暴力の国 ⑥122分

①2008年 ②Fast Food Nation/ファーストフード・ネイション ③リチャード・リンクレイター ④エリック・
シュローサー ⑤Fast Food Nation: The Dark Side of the All-American Meal/ファーストフードが世界を食いつ
くす ⑥108分

①2008年 ②Bridge to Terabithia/テラビシアにかける橋 ③ガボア・クスボ ④キャスリーン・パターソン
⑤Bridge to Terabithia/テラビシアにかける橋 ⑥95分

参考文献

八尋 春海 編著「映画で楽しむアメリカ文学」(2005 金星堂)

曾根田 憲三 著「アメリカ文学と映画 原作から映像へ」(1999 開文社出版)

实 践 篇

ロミオとジュリエット

～400年語り継がれる恋愛物語から学ぶこと～

来嶋 夕依

① Yui KURUSHIMA ②Romeo+Juliet ③1997年 ④120分 ⑤love story
⑥ レオナルド・ディカプリオ/クレア・デーンズ ⑦バズ・ラーマン
⑧William Shakespeare ⑨悲劇の運命、禁断の恋、英文学作品 ⑩All things in our life are not only decided by our destiny, but also are the result of our social behaviors. We must not turn our eyes away from the responsibility of our social acts.

あらすじ：舞台はヴェローナ。この町には対立する2つの名家、モンタギュー家とキャピレット家が存在した。ある日、モンタギュー家の1人息子ロミオは、友達に誘われて宿敵の相手キャピレット家の舞踏会に忍び込んだ。そこで彼は、キャピレット家の1人娘ジュリエットに恋してしまう。許されない恋と知った2人は、密かに婚礼の儀式を執り行う。しかし何も知らない両家は争い、ロミオの親友マキューシオが、ジュリエットの従兄ティボルトに殺される。ロミオは、我を忘れマキューシオの仇を取るためにティボルトを殺してしまう。そしてロミオは、ヴェローナ追放の命を受ける。ロミオが追放されているうちに、ジュリエットに結婚の話が持ち上がる。ジュリエットは、仮死状態になる薬を飲み、死んだふりをして、ロミオの所に逃げる計画をたてた。しかし、その計画を知らないロミオは、ジュリエットの死を嘆き、ジュリエットの横たわる前で、毒薬を飲み命を絶つ。仮死状態から目覚めたジュリエットは、ロミオの死に直面し、後を追うようにロミオの銃で頭を打ち死に絶える。2人の死により結末を迎える悲恋物語である。

I. 原作と映画の比較

シェイクスピアの作品の中には、英語特有の同音異義語を巧みに用いて、言葉遊びをしている場面が多く存在する。しかし大きく原作と異なった点が、この同音異義語の映画遊びが使われていないことである。これは、この映画が世界向けであるため、他の語で訳された時のことも考慮されているのだろう。他の言語で訳された英語のことば遊びは、ただの意味の通らない謎の会話になってしまう。また、物語の設定も少し違いが見られる。ロミオは映画の中でアロハシャツを着ているし、最後のジュリエットがロミオを追って死にゆく場面では、剣で死ぬ設定から銃で自殺という展開に変化している。これは、視聴者がより感情移入できるようにという狙いだろう。原作の対象は、劇を見に来てくれる英語圏の国内の観客である。しかし映画の対象は、全世界の現代の観客である。これが大きな違いである。また、運命に翻弄される1人、マキューシオの役に黒人を起用したところに、人種差別という大きな現代の問題に目を向ける傾向が大きくみられる。

原作と映画の大きな類似点は、登場人物の心的描写がキャラクターたちのセリフによって直接表わされているところである。原作の著者シェイクスピアは、劇作家のため原作も劇の脚本を日本語訳にした形になっている。そのため話の流れや、登場人物の気持ちは、全て登場人物たちのセリフより伝えられていく。この映画も、劇のように心の中で考えている内容が、登場人物の口以外から発せられることがない。ストレートに自分の気持ちをセリフに乗せる。そのため、こちらが恥ずかしくなるくらいの甘いセリフや、普段社会的に考えて口にしないような言葉を彼らは口にする。ただ、ストレートに気持ちを述べる彼らを見ていると、誰もがいろいろなしがらみにより胸奥に深く隠している気持ち、愛情、憎しみ、不安な部分に訴えかけられるものがあるだろう。今までの人生経験にもよるが、誰だって、何かしら共感できる部分、またすべてを犠牲にして自分の信念のため突き進む彼ら、自分の心を周りに揺るがされることなく貫き通す彼らに憧れる部分があるだろう。彼らの純粹で素直な心が、原作であれ映画であれ、この物語の魅力の1つである。時が経ってもなお同じセリフが使われ続けるのは、昔の人も現代の人も、内面の本質は変わっていないということだ。

II. 物語の時間の流れと読み手の中の時間の流れの時差

この物語は、4日間という短い物語なのだが、あまりの内容の濃さに頭の中では何カ月も月日が流れているように感じる。それは現代の時代に、現実的にも経験しないようなことばかりであるため理解に時間がかかるのと、観客の常識的に恋に落ちたり、結婚などの時間をかけるべき行為を1日でやり遂げるといった驚異の話の早さについていけないというのがある。また、先ほど話したように、原作では、もともと英語で描かれる世界なので、英語特有の表現の同音異義語が多く使われる。例えば1番初めの使用人

の場面。「石炭 (coal) かつぎなんて仕事は真平だな。」「俺の言ってるのは癩 (cholar) にさわったら、剣を引っこ抜いてやる、ってことなんだ。」など、似ている発音を駆使してごろ合わせの洒落を使ったり、映画でも登場するクイーン・マブの夢妖精の話やコフテイアモのキューピッドの話などの神話の導入が入る度に頭の中で考え、一度物語の内容から離れるため、物語の時間が止められるというのもある。しかし、そこが味があっておもしろい部分であり、悲しい物語の中にも少しコミカルな要素を含む役割を果たしている大事な場面である。この物語の流れの時差が、観客をこの物語に惹きつける手助けをしているとうに思う。

Ⅲ.この物語の「運命」という言葉の裏に隠される意味

ロミオのセリフ「星の周りを漂う宿命的な事件が、非業の死という無情な刑罰を科し、人生の命脈を断ち切るのではないか」やジュリエットのセリフ「ロミオ様の顔が、墓の横に横たわっている死人の顔に見えるのです」から今後の展開を匂わすようなセリフが多くでてくる。ここから、1つの大きな運命から逃れられない、運命に支配されているような彼らの姿が見受けられるが、私はこの物語を最後まで読んで感じたことは、この物語は本当に運命論の話なのかということだ。この物語の中では、運命を握る神の存在は、悪にも善にもとらえられている。何か悪いことがあれば、神の導き出す運命を呪い、神を罵るが、救って欲しければ神に再び祈りを捧げる。信じる者によって神の姿は変わる。つまり、最後に領主が「すべてのものに罰が下されたのだ」と言っているように、すべての行いには地上で生きる人間が関わっていて、1つ1つの行動はその行動を起こした人間に責任があるのだということ、つまり全ては神が定めた運命ではなく、関わった人間が引き起こしたもののだから、神を呪うのではなく、自分自身を見つめなおすのだということ、運命という言葉と反対に伝えたかったのではないかと思うのだ。どうしても人は責任から逃れたくて、他の者に頼りたくなるが、運命は自分たちで決めていくものだ。ジュリエットは、自分の血縁者が亡くなったことよりも、ロミオと一緒にいけない生活を嘆く。一般的には、考えられないことであっても、彼女には、それ以上に大事なことがあるだけのことで、ロミオは自分の命を落としたが、それは自分の死より大事なものがあっただけのこと。全部彼らは自分の意思で、純粋に自分の大事なものを守るために動いたのだ。彼らは本当に可哀想な人間だろうか。運命に支配されているのだろうか。

このロミオとジュリエットという物語は、ただ悲恋の恋愛ストーリーではなく、読む人の今までの経験で影響されると思うが、根本的に憧れる死よりも大切に出来る人間の純粋な愛と、他人よがりになる人間が向き合わなければいけない責任の重さを、社会的な地位や欲望にがんじがらめになって大事なことを忘れていた私たちに訴えている作品だ。この物語の「運命」という言葉には、逆の意味が込められているのだと思う。ロ

ミオとジュリエットが、自分たちの愛を神に誓わず、自分自身に誓ったように、純粹に何のしがらみも気にせず、愛のために自分の意思で生きる人間になりたいと思わずにはいられない。

“All things in our life are not only decided by our destiny, but also are the result of our social behaviors. We must not turn away our eyes from the responsibility of our social acts.”

It's up to you to obey or face with your destiny.

参考資料 『ロミオとジュリエット』 ウィリアム・シェイクスピア著 (岩波文庫)
『ロミオ+ジュリエット』 DVD 20世紀FOX
『ロミオ+ジュリエット』公式HP : <http://www.romeoandjuliet.com/>

『ショーシャンクの空に』

—有限の生に向き合うために—

高 良児

①Ko Yang A

②The Shawshank Redemption

③1994年

④143分

⑤社会派、ヒューマンドラマ

⑥Tim Robbins、Morgan freeman

⑦Frank Darabont

⑧Stephen King : Rita Hayworth and Shawshank Redemption

⑨希望

⑩銀行の若き副頭取のアンディ・デュフレーンは殺人罪でショーシャンク刑務所に送られた。1ヶ月後、彼は囚人の1人である「調達屋」のレッドにロックハンマーを注文する。また、入所してからというものボグズらに性的暴行を受け、生傷が絶えないうでいたアンディだが、銀行員としてのキャリアを買われ、看守たちの資産運用や税金対策の書類作成をやらされるようになった。暴行、懲罰房への監禁、仲間の死。しかしアンディは19年間、「外」への「希望」を忘れることはなかった。

「生きる」を考える

『ショーシャンクの空に』のキーワードは「希望」だ。「希望」は勇気となり力となり人の命を輝かせる。無実の罪で刑に服したアンディはレッドに頼んだロックハンマーを手にしたその日から地道に穴を、外という無限の世界で生きるという希望を掘り続けた。アンディが性的暴行や拷問や仲間の死を乗り越えてこられたのは、彼が「希望」を持っていたからだと思う。そのおかげで彼は19年にも及ぶつらい「生」に耐え、自分を見失わずにいられた。「生きる」ということは「希望」をすてないこと、諦めないこと、明日を夢見ることなのだと思っ

本来、人は「希望」に満ち溢れた「生」を追い求める。しかしその「生」に何の希望も見出せないとき、生きることに意味を感じないとき、自ら命を絶つ

てしまう人もいる。図書係として何十年も刑務所で暮らしていたブルックスがそうだった。ある意味守られ、規制されてしまった生活に慣れてしまったブルックスにとって、仮釈放により放り出された外の世界は恐怖以外の何ものでもなかった。最終的に彼は支柱に「ブルックス ここにありき」と残して自殺してしまう。ブルックスは「生きる」ということは「生」だけでなく「死」とも向き合うことなのだと知っているかのようにだった。しかしそれは悲しいことだと思う。確かに、外の生活に順応できずにいるブルックスは何とも言えず淋しそうであらうで、思わず彼の死を肯定しそうなほどだった。しかしレッドは、ブルックスと同じ状況に追いやられたレッドは、生きた。アンディとの約束にこれからの人生の「希望」を見出すために生きたのだ。「希望」は生きる目的にも、そして手段にもなりうるのだ。今日にない「希望」を明日現れるのを夢見て生きる。それもまた1つの「生きる」だ。

そして私がとにもかくにも前提にしたいことは、1人に与えられた命は1つだけと自覚すること、自分のものだと自負することだ。それらをふまえ、「生きる」を考えるべきだと思う。

光と闇の効果

『ショーシャンクの空に』では光と闇の世界が対照的に描かれていた。それは実際の視覚的な映像からではない。刑務所という場所そのものの「暗さ」があるからだろうか、灯りのある囚人たちの個室にも太陽のさす刑務所の敷地内の屋外にもなぜか暗い印象がつきまとっていた。光あふれる自由な世界にいたはずのブルックスも同じだ。その「暗さ」に彼らの言いようのない絶望や苦しさが滲みでているようであった。一方、「希望」を形にしたようなものが出てくると場面は明るく、暖かになった。日も沈むころ仕事終わりにビールを飲んだとき、「フィガロの結婚」のレコードが所内に流れたとき、看守たちがアンディに書類作成を頼むとき、アンディが盗人トミーに英語を教えているとき、所内の図書室の設備が充実し囚人たちが本を読みに集まっているとき。思わず穏やかな笑みがこぼれるのは、いつもそういうときだった。アンディが脱獄に成功したとき外は嵐の夜で真っ暗なのに明るくみえたアンディの姿やラストシーンでアンディとの約束だけを生きる「希望」としていたレッドが彼とメキシコ・ジワタネホの海岸で再会したときの空や海の青さは特に強調されていたと思う。彼らの未来は明るいということが容易に想像できた。このように希望が光で、絶望が闇というはっきりとした印象が与えられることで、ますます「生」が引き立てられていた。本来「生きる」ことは魅力的で期待せずにはいられない、そういった気持ちを前に向ける効果をよんでいると思う。

アンディ・デュフレーンの魅力

アンディのルックス、聡明で育ちのよさそうな雰囲気、その「囚人」らしかぬようすがアンディの魅力の1つだろう。もう1つの魅力は、どんなに苦しいときもつらいときも自分を忘れない強さだと思う。それは目に見えるものではなく、彼の内にある静かな強さである。仲間がビールにありつけるようにしたり、勉強を見てやったりするという「人」としての当たり前の情を忘れることなく、また銀行員としての「アンディ・デュフレーン」を生かす場をしっかりとつくれたことで、ボグズらの性的暴行と闘い、懲罰房での監禁に耐える強さを彼は持てた。刑務所という人は廃れていくしかないような場所では、アンディのその強さは特に光っていた。囚人だけでなく、私たちもかれに魅了されるのは当然のことなのかもしれない。

「必死に生きる」

『ショーシャンクの空に』をみて改めて思ったのは、やはり「必死に生きる」ということだ。

最近大切な人を火事で亡くした。優しく何にでも頑張る人だった。彼が死んで多くの人が悲しんだ。しかし彼が死んでも世界は少しも変わることなく動き続けている。そういうのを目の当たりにして「生きる」ということは何て儚いのだろうと思い、誰も世界に参加できないという虚無感が私を襲った。しかし彼のために流された涙や彼が必死に守りぬこうとしたものは、確かに「ここ」にあり、「ここ」にしかないということも知った。悲しい、辛い、苦しい、痛い、「生きる」とはそういうこと。しかし楽しい、うれしい、綺麗、美しい、も「生きる」ということなのだ。「生きる」ことは尊いのだ。「生きる」ことそれ自体を誇りに思っているのだ。

奇跡ともいえるほどの可能性から生まれた「私」には、たった1つの命しかない。同じように生きるなら、必死に生きて「希望」を見つけたい、どんなに小さなことでもいいから「希望」をもって必死に生きたい。

『ショーシャンクの空に』には、「生きる」に背を押してくれるような何かがあった。

『マトリックス』

～機械と人間の未来を考えてみる～

村上 雄太

- ① Yuta MURAKAMI
- ② 英語名 THE MATRIX
- ③ 日本公開 1999年9月11日
- ④ 上映時間 136分
- ⑤ ジャンル アクション
- ⑥ 主演 キアヌ・リーブス ローレンス・フィッシュバーン
- ⑦ 監督 ウォシャウスキー兄弟
- ⑧ 作品を表すキーワード アクションの新しい時代へ
- ⑩ SHORT COMMENT I was enchanted by the action.

あらすじ：大手ソフトウェアの会社に勤めるトーマス・アンダーソン（キアヌ・リーブス）という主人公がいた。彼は、コンピュータ犯罪の天才クラッカー「ネオ」というもうひとつの顔を持っていた。彼は、ある人物を探していた。ある夜その人物からメッセージが届き、探していた人物に会うことになる。しかし、そこでネオに待っていたのは彼がトーマス・アンダーソンとして生活していた世界はコンピュータによって作られた仮想現実だということを知らされる。そして、本当の現実の世界では人間はコンピュータのエネルギーとして培養され、コンピュータにおびえながら暮らしているのが現実なのだということを知らされる。そして、ネオは機械との戦いに巻き込まれていくのである。

I. アクション中心の立場から

「マトリックス」という映画のタイトルを口にすると誰もが想像するポーズがある。膝だけを曲げて、敵の銃による攻撃をよけるシーンだ（結局はあたってしまいが、ネオが人間を超えた存在として目覚めた瞬間のシーン）。この映画の中では、クイック&スローのように映像をゆっくりにしたたり、速くしたりすることで見るものにスピード感を与えている。このスピード感こそがこの映画

の最大の魅力だと言える。特に、銃のシーンや爆発するシーンなどは、スローモーションにすることで新鮮さを覚えるところである。また、ワイヤーやCGの技術を使うことで普通の人間ではできない動きを実現したり、CGで細かい部分（弾丸の空気の動き）などを表現することが可能となっている。このようなアクションの工夫が「マトリックス」を支えているのだ。

II. ストーリー中心の立場から

「マトリックス」と聞くと誰もがアクションに目移りしてしまいがちだが、ストーリーもなかなか奥深いものがある。あらすじにも記載したが、我々が住む現実世界は実は未来のコンピュータによって作られた仮想現実なのである。現実の世界では人間はコンピュータに脅かされている。しかし、勇敢な人間がコンピュータから世界を救おうとする。しかし、普通の人間だけではどうもかなわないが、預言者というものが「救世主」は世界を救うという予言をし、それが「ネオ」ではないのか。「ネオ」は世界を救ってくれる。「ネオ」は本当に救世主であったのか、世界はどうなったのかというのが「マトリックス」の三編に続く話なのである。そのような、視点から見るとアクションを観るだけでは飽きてしまうが、なかなか奥深いストーリーとなっている。

III. 私たちの未来と機械

ここからは、少しネタバレの要素が含まれるので、映画観た人だけ読んでほしい。

なぜ、マトリックスの現実世界は、コンピュータに支配されたのか。それは、ある日コンピュータが暴走し始め、人間と戦うようになったが、コンピュータは太陽の無限のエネルギーを使っているため、止まらない。危機を感じた人間はエネルギー不足にしまえばよいと
考え、地球の空に太陽の光をさえぎる雲を作ったのだ。たしかに、一時的に人間の優位になったのだが、コンピュータは新たなエネルギーとして人間を培養することを考え出した。その、培養された人間が住む世界がマトリックスの仮想現実の世界なのである。つまり、コンピュータが発達しすぎたことにより、人間の世界は人工知能をもったコンピュータに支配されてしまったのである。もし、私たちの世界がマトリックスの映画の世界のように人工知能を開発し、逆に支配されないとは言い切れない。そう考えると人工知能を持つロボットの

開発なかなかの恐怖である。では、今すぐ人工知能の研究をやめさせるべきなのか。そうすれば、コンピュータが人間を脅かす可能性はなくなり、「マトリックス」のような世界は永久に訪れないと言い切ることができる。

はたして、ほんとうにすべての人工知能を持つ機械が人間に危険与えるのだろうか。

ここで、視点を変えて未来の人工知能をもつロボットで有名な「ドラえもん」について考えてみる。ドラえもんはのび太の世話をするために西暦2112年からきた、人工知能を持つ機械である。のび太に襲いかかるあらゆる困難を未来で購入した秘密道具と呼ばれるもので、救っていくのである。「ドラえもん」の中の未来の世界は、ロボットと人間の共存が描かれている。もし、「ドラえもん」の世界のように共存して暮らせるなら、人工知能を持つロボットは大歓迎である。

人工知能を持つロボットの作品としてもう一つの視点が考えられるなら、監督スティーブン・スピルバーグ 主演 ハーレイ・ジョエル・オスメントの「A.I.」がある。愛情を持ったロボットは子供を病気で失いそうになっている母親の家に代わりの息子として送られたのだが、子供は病気から奇跡的に回復し、そのロボットは捨てられてしまう。ここでは、上記の二作とは違い、人間がロボットより立場が上になっている作品である。

このように、私たちの未来に確実に関係してくるロボットとの関係は、多くの作品で取り上げられている。人間が支配したり、されたり。しかし、いま確実にわかっていることは人間とロボットが争うことなく共存できる世界を私たちは望むべきだということだ。たしかに、機械なしでは現代を生きていくのは不可能だ。だから、機械に頼りすぎることなく、人間の良いところ、機械の良いところを私たち人間が自覚していくことが、機械（ロボット）との間に明るい未来をもたらす第一歩だと私は思うのである。

『ブラス！』—音楽の力—

三井 愛

①Mana Mitsui ②Brass ③1997年 ④108分 ⑤Music story ⑥ピート・ポスルスウェイト タラ・フィッツジェラルド ⑦マーク・ハーマン ⑨炭坑の歴史、音楽が生み出す絆、不屈の努力 ⑩I felt music is a vital source in our lives.

あらすじ：炭鉱閉鎖の波に揺れるイギリス・ヨークシャーの炭坑町グリムリー。人々は生きる希望さえ失いかけていた。そこに、グローリアがやってくる。彼女は会社側の人間だが、労働者の味方だった。地元のブラスバンドでフリーゲルを吹くことになる。会社側と労働者側、闘いは結局会社側となる。しかし、ブラスバンドの全英大会の決勝に向け、散っていく人々の心は再び集まり…。

I. 『ブラス！』との出会い

私は中学校から吹奏楽部に入り、ずっとユーフォニアムを吹き続けている。金管楽器なだけあり、ブラスバンドには興味がある。吹奏楽には木管楽器も加わっているが、ブラスバンドには木管楽器はいない。実はこのような違いがあるが、吹奏楽のことも今日では「ブラバン(=ブラスバンド)」というので、木管の友達によく文句を言っていた。

今回この映画に登場するブラスバンドは金管だけで構成された純粋なバンドである。私が中学3年生の時、この作品のビデオを両親が買ってきてくれた。これがこの作品との出会いになるが、当時は炭坑の話がいまいち分からずあまり興味が湧かなかった。しかし高2の時、再びこの作品に興味を持つようになる。修学旅行で北海道夕張市を訪れたからである。かつて炭坑の町として栄え、現在は破綻の街となった夕張市。私たちのために閉鎖されていた炭坑場を見せてくださった。私は見学しているとき、「そういえば『ブラス！』でも炭坑閉鎖で大変やってんなあ」とふと思い出した。そして炭坑の歴史などを勉強していく中でこの作品をもう一度見ることになる。

再び見た時は、中3の時の印象とは明らかに違っていた。音楽が人々を支える。理不尽な世の中で生きる人々に希望を与える。炭坑についてもよくわかる以上に音楽の底力をひしひしと感じた瞬間だった。この瞬間が私とこの作品との本当の出会いだったのかもしれない。

II. 共感できる音楽だから

音楽は人の心を勇気づける。私は常々このことを思っているが、この作品はまさに私の考えを表したものである。私が中学の時、人間関係で悩み精神的にもまいっていた時期があった。そんな時支えになったのは、吹奏楽で吹いていたユーフォニアムにのめり込むことだったし、友人関係が回復したきっかけも音楽と一緒にしようというみんなの気持ちからだった。この話も音楽を通して人々が気持ちを立て直していく。背景こそは違うが、あの頃の自分にぴったりの話だと感じた。

正義感のため逆に敵だと疎外されるグローリアがブラスバンド仲間にもう一度認められる瞬間がまさに自分に重なる。また、単に音楽が素晴らしいのも好きになる点だ。ブラスバンドの定番曲がいくつも流れる。音楽の質にも共感できる。恋愛や仲間の大切さも提示され、まさに見応えがあるかえらこの作品は私の心を捉えた。

III. くじけず前に進もう

この作品を皆さんに見ていただきたい。私はそう願う。なぜなら感動できるからだ。しかし本当は、この作品には感動以上のものが含まれていると思うのだ。これは一度見ただけでは味わえない。何度も見て皆さん自身で感じ取ってほしい。

歴史・音楽・友情・家族、どろどろの状況の中でも愛がいつも人々の胸にある。音楽があるから、みんながいるから、つらい時はこの作品を見て、勇気を出し前進しよう。

『ハンコック』が教えてくれたこと

山口 舞

①Mai YAMAGUCHI ②HANCOCK ③2008年 ④92分 ⑤アクション・ヒーロー⑥
Will Smith Charlize Theron ⑦Peter Berg ⑧不明 ⑨Love Hero
Friendship ⑩Between the hero and the disliked person is only a very fine
line A man with too much power should be wise and have a warm heart.

I. 「彼」が出る映画は間違いない

なぜ私がこの映画を観ようと思ったか。なぜこの映画を選んだのか。その理由はたった一つしかない。それは「彼」が出る映画は間違いないということだ。「彼」とは誰か…それは黒人ハリウッドスターとして今一番人気の「ウィル・スミス」である。

なぜ私が間違いないとそこまで断言できるのか…それは彼が今まで出演してきた映画をあげれば解っていただけるのではなからうか。「BAT BOY」シリーズや「I ROBOT」自らの子供との初共演を果たした「幸せのちから」、そして「I AM LEGEND」などである。出演映画をあげ出せばきりが無いが、ドキュメンタリーであったり、アクションであったり幅広いジャンルを通して出演している。出演映画が多だけでも、人気の高さは言うまでもないが、世界が認める賞に二度もノミネートされている。ノミネートされるだけでもすごい賞…もうお分かりであろうが、「アカデミー賞」である。

そして、彼のすごさは演技だけにとどまらず、10代からラップ・アーティストとして活躍し、89年、91年、98年には音楽界で最も栄誉ある賞である「グラミー賞」を受賞し、音楽でもその凄さを見せている。そして、近年では製作、指揮、脚本と多彩な才能に花を開かせている。

そんな彼が今回演じるのはヒーローである。普通のヒーローではないが…

II. 「ヒーロー」になるための条件

i) 友達の大切さ

「ヒーロー」ときけばみんなに好かれるスーパーマンだと思いがちである。だが今回の映画は違う…みんなに嫌み嫌われ「クズ野郎」とののしられる…そんな奴が今回の主人公ハンコックだ。一応人を助けには行くものの言葉づかいは最悪…やることも最低…彼がいるだけで街が尋常ではない被害を被ってしま

うというどうしようもない奴である。そして彼には友達がいなかった。

たまたま助けたレイと友達になったハンコックはレイのアドバイスに従い、みんなに好かれるヒーローとなる。友達ができるだけでここまで変われるのか…と驚くほどの変わりようではあるが、もしレイが人を疑ったり、嫌ったりできないような性格でなければ、きっとここまでハンコックを変えることはできなかったのではないだろうか。まさに「持つべきものは友」である。

ii) ヒーローであるための悲しい運命

記憶喪失のために自分が誰であるのかわからず不安な日々を送っていたレイとレイの妻メアリーにあかすハンコック。記憶喪失した後も誰も名乗り出てくれなかったためわからなかったのだ。

レイの妻メアリーに次第にひかれていってしまうハンコック。そこで衝撃の事実につづかる。それはもともとハンコックとメアリーが夫婦だったということ。そして互いに異星人だということ…二人ひと組で作られているために、お互いが近くにすぎると互いのパワーがなくなり普通の人間になってしまうということだった。いつも一緒にいると弱みになって、ハンコックを傷つけてしまっていたことが重荷になっていたメアリーは、自分の存在をハンコックの記憶から消し、ハンコックを孤独に突き落した本人だったのだ。

ある事件がきっかけで、ハンコックはメアリーを救うため、離れ離れで生きていくことにする。人の命を守るために、愛する人を守るために…自分の一番そばにいてほしい人を自分からあえて引き離すことなどできるであろうか。そこまで強い意志をもって、正義感がないとヒーローにはなれない。ヒーローの悲しい一面を初めて垣間見た瞬間であった。

III. 人間味あふれたヒーロー

ここまでヒーローの裏と表を見せる映画が今まであったであろうか。私の知る限り、答えはノーである。たいがいの映画は、もともとヒーローで敵をやっつけて終わってしまう。そんなものでは子供は楽しめても大人がみんな楽しめるかという難しい部分も多いだろう。

しかし、この映画ではハンコックの成長とともに場面が変化していくので、大人から子供まで楽しめる。アクションシーンのリアルさ、人間としての在り方、ヒーローだって大変だということ…いろんなことが感じ取れる。

大事なものをを守るためには、あえて遠くに大事なものを置いておかなければならないというヒーローの悲しい一面まで垣間見ることができる映画はこの「ハンコック」だけではないだろうか。

『プラダを着た悪魔』から考える働く女性

杉山 友視

①Tomomi SUGIYAMA②THE DEVIL WEARS PRADA ③2006年 ④110分 ⑤コメディ、ラブストーリー ⑥Anne Hathaway, Meryl Streep ⑦David Frankel ⑧ローレン・ワイズバーガー ⑨ファッション、雑誌、働く女性 ⑩It's difficult to take the work I desired. But it's more difficult to execute every kind of work perfectly.

あらすじ：ジャーナリストを目指しNYへやってきたアンディ。オシャレに興味のない彼女が「家賃稼ぎの仕事」として手に入れてしまったのは、何百人もが憧れる仕事だった。それは一流ファッション誌“RUNWAY”のカリスマ編集長ミランダ・プリーストリーのアシスタント。しかし華やかそうに見えるファッション業界の裏側は壮絶なものだった。ミランダから昼夜を問わずかかってくる電話のせいで携帯は鳴りっぱなし、横暴な命令の数々、その上「センス、ゼロ」と酷評され、アンディはこの世界が努力とやる気だけではどうにもならないことを知った。ミランダを見返すためにオシャレにも気を使うようになり見違えるように成長していくアンディだったが、職場で認められていくのと反対に恋人や友達との関係はギクシャクしてしまう。「私はこれからもこの職場で働いていいのだろうか」、「私がしたいのはこんな仕事じゃなかったはず」と思い悩むアンディ。私生活崩壊の代わりに昇進した時、彼女が取った行動とは。

I. この作品との出会い

私がこの作品を初めて知ったのは何気なく見ていたテレビのCMからでした。まず「プラダを着た悪魔」という題名に興味を惹かれました。CMを通して内容を知っていくうちに「観たい!」と強く思うようになったのですが、なかなか時間がつくれず映画館で上映されている間に観に行くことはできませんでした。それからしばらくして近所の人がこの作品のDVDを買ったと聞き貸してもらい、その日のうちに家で観ました。もちろんずっと観たかった映画なのでとても満足しましたが、それ以上に内容がとても面白く女の子の心をわしづかみにするようなファッション、デザイン、主人公を誘惑するセクシーな男性。夢中になり何回も繰り返し観て、とうとう自分でDVDを買いました。この映画には様々な工夫やセンスがちりばめられており、女の子が大好きになるような映画だと思います。

II. ファッション

タイトルに「プラダ」というブランド名が入っていることから分かるように、この作品はファッションがとても重要な役割を持っています。主人公の成長がファッションから読み取れるようになっているのです。初めはファッションに疎く、センスゼロだったアンディがミランダに認めてもらうため雑誌のコーディネーターに服をコーディネートしてもらいます。最初は言われた服を着るだけでしたが、仕事を覚え昇進した頃になると自分で服を選べるまでになっていました。自分で選んだ服を「完璧」と言ってもらえるまでになっていたのです。つまりそれは仕事も完璧にこなせるようになったということでした。この過程を表すため、数々の有名ブランドがこの映画に全面協力しています。タイトルのプラダはもとより、シャネル、ドルチェ&ガッバーナ、ジョン ガリアーノ、エルメスなど、まばゆいばかりのブランドのアイテムをふんだんに使い、モードの最前線を心ゆくまで楽しませてくれます。パリコレの場面に、デザイナーのヴァレンティノ・ガラヴァーニや、スーパーモデルのハイディ・クラム、ブリジット・ホールが本人の役で出演しているほか、ジゼル・ブンチェンがランウェイの編集者役でカメオ出演するなど、実在のファッション・ピープルの遊び心溢れる登場ぶりも見逃せないポイントとなっています。

III. 仕事

私がこの作品を通して学んだことは、望んだ職業に就くことは難しいが、望んでいない職業でも完璧にこなすことはより難しいということでした。アンディはジャーナリストを目指しNYに出てきたのに就職したのは全く興味のないファッション雑誌の会社。最初は文句や愚痴ばかり言っていたアンディでしたが、それではダメだと気づき仕事と真剣に向き合うようになりました。それでも最初は失敗もし、辞めようとして考えましたが、最後にはミランダからの信頼を得ることができるようになりました。確かに自分が望んだ職に就けることが一番だと思います。しかし、自分が望んだ職場でなくとも一生懸命努力しベストを尽くせばきっとその仕事だって好きになるはずです。要は自分次第なのです。私はこの映画に出会い、努力の大切さを考え直すことができました。

「リトルマーメイド」の魅力

阿江 真由美

①Mayumi AE ②Little mermaid ③1989年 ④animation, love story ⑤ハンス・クリスチャン・アンデルセン ⑥”under the sea”は米アカデミー歌曲賞を受賞 ディズニー映画の作曲家アラン・メンケンがアカデミー作曲賞を受賞

あらすじ:地上に憧れる人魚のアリエルは、陸の世界に強い好奇心を抱いていた。ある日、好奇心を抑えられず海上の船をのぞきこみ、そこで見たエリック王子に一目ぼれをしてしまう。嵐がその船を襲い、溺れそうになっていた王子をアリエルは助け、介抱する。目が覚めた王子もまたアリエルの歌声に心をうばわれるのであった。アリエルは王子の前から姿を消すが、もう一度会いたいと思い魔女と3日間だけ歌声と引き換えに人間になれるよう契約をかわす。そして再び王子に会いに地上へと出ていくが・・・

I. ストーリーの魅力

私がこの映画を初めて見たのは幼稚園児のころだったが、子供の私にでも理解できる単純な内容で、また大人でも楽しめるストーリー展開が魅力であると思う。主人公が人魚の女性だということで、同性の私は特に親しみやすかったのもあるだろう。またラブストーリーということで、誰もが憧れるような恋のお話であることが、世代を問わず人気を獲得している要因ではないだろうかと考えられる。他にも舞台が海の中、ということで様々な海の動物が登場しキャラクター構成が多彩であるため、とても興味をそそられる。中にはセバスチャンというキャラクターのコントのような、ギャグのような面白いシーンもあり笑いをそそられる。ラブストーリーという一面とは裏腹に、父親と考え方で対立するアリエルを周りで慰めるキャラクターや、最後には父親と仲直りしより良い関係を作っていくところには家族愛や、家族の大切さを知る一面も兼ね備えていると私は考える。

以上の点から考えても笑いあり、涙ありといった感動のストーリー展開であり、また最後はだれもが気持ちよく終わりを感ずることができる、ハッピーエンドがまちかまえていることがとても魅力的なのではないだろうか。

II. 本編で登場する数々の音楽

本編ではキャラクターが気持ちを歌に歌うシーンが多数存在する。いわばミュージカル仕立てであり、ときには楽しい、ときには悲しい楽曲を登場人物た

ちが歌い上げる。セリフというかたちでこてこてするのではなく、親しみやすい音楽でテンポの良いストーリー展開をみせる。また歌詞も難しいものではなく、簡単で気持ちが伝わりやすいものとなっているのだ。私が本編で一番気に入っている楽曲は上記でも米アカデミー歌曲賞を受賞したと紹介した、“under the sea”である。登場人物のセバスチャンが陸の世界に憧れるアリエルの気持ちをそらすために、海の世界の素晴らしさを歌い上げた曲。とてもテンポがよく賑やかな曲で、歌詞で“under the sea”と“素晴らしい”の韻を踏んだリズム感も見ている人を虜にするものである。ストーリーだけでなく歌だけでも楽しめる映画になっていると思う。

Ⅲ. 心に残るシーンとアリエルの生き方

心に残るシーンは様々にある。たとえば先ほど紹介した“under the sea”をセバスチャンと海の仲間たちが歌うシーンもそのひとつである。たくさんのキャラクターが一挙に登場し、テンポよく楽しく歌うこのシーンは非常に魅力的である。

しかし、ここで私が挙げたいと思うのは、アリエルが地上に対して強い憧れを歌うシーンである。曲名は“part of your world”。そのシーンとは以下のようなものである。彼女には沈没した船などから地上のもの（たとえばフォークやスプーンなど）を集めてコレクションしている洞窟があった。その洞窟で出会ったエリック王子のことや、地上に対しての憧れを素直に歌にしているシーンである。私はこのシーンが非常に印象的である。どれだけ地上に出ることを父親や仲間から反対されても、自分の地上へ憧れる気持ちを素直に人にぶつけることができたり、歌にして歌っていることが私個人としてもうらやましいと感じたからである。ダメだとどれだけきっぱりと反対されても、自分の意思を持ち続け、信じ続けようとする素直さに感動したのだ。

自分の気持ちを大切にしようとし、周りに流されないアリエルの素直で一途な生き方にとっても心を惹かれ、うらやましいと思った。アリエルのこの姿はストーリー全体を通して描かれており、声と引き換えにしてまでも足を手に入れることや何度も反対する父親や仲間を説得しようとするところは、まさにその生き方故なのではないだろうか。

『ラストサムライ』から学ぶ人間に必要なもの

山下 直子

①Naoko YAMASHITA ②The Last Samurai ③2003年 ④154分 ⑤歴史系 ⑥トム・クルーズ 渡辺謙 ⑦エドワード・ズウィック監督 ⑧ジョン・ローガン脚本 ⑨last、武士道、運命 ⑩When I watched this movie, I thought that we should have the belief and live honestly .

あらすじ：主人公のオールグレン大尉は、かつて南北戦争で国と名誉のやめに命をかけた英雄だった。そんな彼を日本政府が雇い、彼はサムライと戦うために日本にやってくる。明治維新後の日本は、押し寄せる近代化の波の中であった。サムライ一族の長である勝元は、サムライの時代の終わりを察知していたが戦わずに去るつもりはなかった。敵同士であったオールグレンと勝元の2人が出会い、互いにふれあううちにオールグレンは武士道にひかれ、変わってゆく。そして彼らはサムライの最後の戦いへ向かう。

I. 『ラストサムライ』との出会い

私はもともと日本史が好きで、以前放送された幕末をあつかったドラマを見て自分の信念に従って生き、戦う姿に感動したのを覚えている。だから『ラストサムライ』も映画名から興味をもったし、映画の宣伝で主人公役のトム・クルーズが武士の姿をしているのを見て、何で外国人が武士になっているのだろうか？とますます興味がわいた。また、渡辺謙演じる武士とトム・クルーズ演じる武士のどちらが“ラストサムライ”なんだろう？ということにも興味を持った。

II. 相手を思う心の大切さ

この映画で最も印象的だったのは、まず、勝元の妹のたかとオールグレンの心の交流である。

たかの夫は戦いの中オールグレンに殺されてしまったが、たかは勝元の言いつけによって捕虜であるオールグレンの手当てをする。たかはオールグレンに対して嫌悪感を抱いていたが、武士道に魅かれてゆくオールグレンの心の変化とともに2人は心を通わせるようになる。愛する夫を殺されたにもかかわらず、懸命に世話をするたかの姿はひたむきで、切なくて美しいと思った。

また、次のシーンも心に残っている。政府に捕らわれた父、勝元を助けるために息子が重傷を負いながらも一人で敵を食い止めようとする。親子の最後の

別れがとても悲しい。自分が犠牲になってでも、一族にとって長である父の存在は欠かせない、何より父を救いたいという息子の思いを、勝元は苦しく悲しい思いをしながら受け止めたのではないだろうかと思うと、何ともいえない悔しさ・悲しさこみ上げてきた。

この映画のなかの彼らのように自分のことより誰かを思いやり、誰かのために必死になっている人の姿を見ていると、切なくも温かい気持ちになりとても感動した。

III. LAST 2つの意味

last はもちろん終わりという意味である。幕府が倒れ、新政府が日本を動かすようになり、さらに廃刀令が出されたときにサムライの時代は完全に終わったと言えるだろう。映画でもサムライ勝元は官軍と最後の戦いをして敗れ、自分の信念に従い死ぬ。彼は武士道に忠実な“last”最後のサムライであった。

勝元は命をかけて信念を貫く。日本の近代化が進んでいても武士道に徹し、負け戦だと分かっているにもかかわらず敵に立ち向かう。そんな勝元を尊敬している他のサムライたちもまた彼に忠実であり、彼とともに戦う。

現代を生きている私たちはどうだろう。(本当に命をかけて何かを貫けと言うのではないが) 彼らのように強い信念をもち、相手に忠実であり誠実に生きているだろうか。便利で豊かな社会になった反面、私たち人間は、利己的に行動したり他人のことはひとごととしてしか考えたりしていないだろうか。この映画の監督と、主人公を演じたトム・クルーズの対談で、2人は現代社会に名誉・誠実・寛容が必要だと述べている。これらは武士道の一部である。つまり国や時代を問わず武士道は人間に必要なものであると思う。それは勝元らと共に戦い、一人だけ生き残ったオールグレンが象徴するように、武士道は絶やさず、受け継がれてゆくべきものだと思う。ここでlastの“続く”というもうひとつの意味もサムライから私たちへのメッセージとして受けとめ、大切にすべきだと思う。

『幸せのちから』から学んだこと

紀野 由加里

- ① Yukari KINO ② The PURSUIT of HAPPYNESS ③ 2006年 ④ 117分
⑤ アメリカ映画 ⑥ ウィル・スミス Will Smith(1968-) ⑦ ガブリエ・ムッチーノ Gabriele Muccino(1967-) ⑧ クリス・ガードナー Chris Gardner(1954-) ⑨ 全財産 21 ドルから立ち上がった父子の、実話に基づいた感動作 ⑩ This movie told me how important it was not to give up.

あらすじ：81年、サンフランシスコ。5歳の息子クリストファーを何より大切に思うクリス・ガードナーは、新型医療機器を病院に売り込む日々。しかし大量に買い込んだ機器は滅多に売れず、家賃も払えない生活が続いていた。そんなある日、彼は高級車から降りてきた男に成功の秘訣を尋ねたことをきっかけに、証券会社の養成コースに通うことを決意する。受講者に選ばれるように、クリスは人事課長のトゥイッスルへ自己アピールするのだが…。

作品に登場するクリス・ガードナーは、シカゴなどに会社を構える実在の人物。しかし一時は住む家を失い、息子とともにホームレス生活をするほどの極貧にあえいでいた。この『幸せのちから』は、そんなクリス・ガードナーの足跡を基に描かれた真実のドラマ。とはいえ、単に成功を描いたアメリカン・ドリーム物語ではない。むしろ重きを置かれているのは、息子を思う父の愛情。息子を思うその思いこそが、成功への原動力となる。そんな父親をウィル・スミスが真摯な演技で表現。息子クリストファーを演じたウィル・スミスの実子、ジェイデン・スミスとの自然なやりとりが、作品にリアリティを与えている。

I. 実子との共演

私はこの映画で主人公の息子役のジェイデン・スミスの、のびのびとした演技と可愛らしい笑顔に惹きつけられました。主人公クリス役のウィル・スミスの実子であり、ウィル・スミスも実子との共演はいい経験だったと話しています。ウィル・スミスはインタビューで、——たとえばカメラが回っている間に鼻水が出てきたときも、僕は心の中で「しまった！」と叫んでいた。でもジェイデンは、そんな僕の鼻をぬぐいながら、せりふを言い続けたんだ。それで僕は、そうだ、これが正しいんだと気づいたんだよ。人間にとって、そっちのほうが自然な行動じゃない？何度もリハーサルを重ねて完璧なシーンを作るのではなく、自然にその場を生きること。その大切さを僕はあらためて実感したんだ。と振り返っています。こんな経験、収穫は実の息子との共演だったからこそできたのだと思います。

II. HAPPYNESS

この映画の原題“The PURSUIT of HAPPYNESS”の“HAPPYNESS”は、言うまでもなく“HAPPINESS”の綴り間違い。これが映画の中で重要な役割を果たしている。原作では、つまりクリス・ガードナーの実体験では、

こういうところに早く息子を預けられるようになりたいと思いながら、施設を見回すと、壁に“しやわせ”(HAPPYNESS)を提供すると掲げられている。わたしの頭に一瞬、疑問が浮かんだ。正しく“しあわせ”(HAPPINESS)と綴れない託児所が、はたしていい託児所と言えるだろうか。ほかに悩みはたくさんあるのだから、そんなことにまで悩んではいけない。それでも、まあ、息子には、“や”ではなく“あ”が正しい綴りであることをちゃんと教えておいたほうがいいだろう。

と書かれている。映画の中で、父と子ふたりでの暮らしが始まると、まずは託児所探し。けれど、この託児所は料金が高い上にトイレの訓練がすんでいないとあずかってもらえない。クリストファーはまだ1歳半で(映画では5歳という設定だが)、ひとりでトイレには行けなかった。そのときから、いつかこの託児所に入ることが、父と子のひとつの目標になった。“しやわせを求めて”The PURSUIT of HAPPYNESSということなのです。

III. 強い思いを持ち続け、あきらめないこと

私はこの映画でクリス・ガードナーという人物の半生記をみて、強い思いを持ち続け、決してあきらめずに乗り越えようとする力の尊さを学び、今の生活が送れていることに感謝して、強い思いとともに何事にも一生懸命立ち向かいたいと思うことができました。

第二部 お薦め映画百選

— Our Favorite 100 Movies —

アメリカ映画等篇

ここでは主に学生たちに人気のあったお薦めアメリカ映画を簡単に紹介します。なかにはアメリカ映画とは言えないものも含まれていますが、それらにもまた魅力があり、人々をひきつける力があるようです。

教材として、また、研究の対象や資料として使えるかもしれません。参考になれば幸いです。

『最高の人生の見つけ方』に学ぶ、生きることの意義

金原 正美

①Masami KANEHARA ②THE BUCKET LIST ③2008年 ④97分 ⑤drama ⑥Jack Nicholson, Morgan Freeman ⑦Rob Reiner ⑧人生の価値、友情、家族愛 ⑩
When I saw this movie, I was made to think what the most important thing was in the life.

あらすじ：仕事一筋で大富豪のエドワードと、家族想いの修理工であるカーターは、入院先の病室で知り合った。共に余命六か月の二人、闘病生活を送る内に友情が芽生えてゆく。「残りの人生、やりたいことをやりつくそう」と決意した二人は、病院を抜け出し、“棺桶リスト”を手に旅を続けるが・・・。

I. 感動的なストーリー

私がこの映画を観ることになったきっかけは、友達に薦められたからです。「余命六か月」からして重いストーリーなのかと思っていましたが、実際はさわやかに感動的に描かれており、見応えがありました。悔いなく残された人生を生きる二人の、少年のような笑顔が印象に残っています。

II. 心に残る言葉の数々

「人生に喜びを見つけたか」「他の人間に喜びを与えたか」というのが天国の扉を通る時に出される2つの質問だという台詞があったのですが、私はこれらの言葉に深く考えさせられました。他にも「自分を認めてくれる人がいたかどうかで人生の価値が決まる」など、生きる意義を問うてくる言葉が多く、心に残る作品だと思います。

III.

主演二人の意見がどんどん取り入れられたということもあり、非常にテンポ良くユーモアのある台詞と、エドワードの秘書の絶妙な返しもあって、明るく仕上がっています。ラストのシーンは、二人の旅を見届けたような気分になり、最後の最後に最高の友人を見つけた二人がとても羨ましくなりました。私からも、見ることをお勧めします。

『最高の人生の見つけ方』～“人生で喜びを得る”とは～

田中 可南子

①Kanako TANAKA ②THE BUCKET LIST ③2007年 ④97分 ⑤ドラマ⑥ジャック・ニコルソン／モーガン・フリーマン ⑦ロブ・ライナー ⑧幸福とは。人生とは。
⑩The happiness is differs among people . It is difficult to know what the best life is. There is nothing more important than connection with people.

あらすじ：実直な自動車整備工のカーターと病院を経営する大富豪エドワードは癌で入院した病室で出会い、互いに余命半年を宣告される。死ぬまでにやっておきたい“バケツリスト”を作った二人は、苦しいだけの化学治療に死ぬまで耐えるよりも、余生を楽しむ事を選び、全てのリストを実現するために旅に出る。

I. はじめに

作中、「人生で喜びを得たか？」という質問が何度か繰り返される。では『人生で喜びを得る』とはどういう事なのか。この作品が観る者に考えさせる最たる事は、これに尽きると思う。カーターにとっては妻や子どもに囲まれ幸せに暮らすことであったが、エドワードにとってそれは金を儲け成功者になることだった。人の人生を図り知るの難しい。どのような人生が最良であるか定義づけることはできないが、私がこの作品から感じたのは家族や友人と築いた温かな関係こそが『人生をかけて得うるべき喜び』なのではないかということである。

この映画を観ながら、『人生で喜びを得る』事とはどういうことなのか、自分自身の場合についても考えてみて欲しい。

II. 人間同士のつながり

カーターが“バケツリスト”に書いた中に「あかの他人の支えになる」という項目があった。いつも多くの家族に囲まれ愛されていたカーターは、家族関係の希薄なエドワードに家族の大切さを教えた。そしてカーターはエドワードが腹を割って話すことのできる友人となった。一方エドワードは世界旅行にカーターを誘い、貧しさや、人種など境遇の悪さ故に思い通りに人生を運べなかった彼に、嘆くだけでなく行動することの重要性を教えた。

このように、人間というのは与えられたり与えたりしながら繋がっているものであり、他人の支えになった結果得られる物こそが『人生をかけて得うるべき喜び』のうちの1つなのではないかと私は考える。

『幸せのちから』にみる諦めない心と前向きな姿勢

巽 裕介

① Yusuke TATSUMI ② The Pursuit Of Happiness ③ 2006年 ④ 117分
⑤ Drama ⑥ クリス・ガードナー(Will Smith) ⑦ ガブリエレ・ムッチーノ
⑨ 父子の希望に満ちた真実の物語 ⑩ I knew the heart which isn't given up and the family's love.

あらすじ: クリス・ガードナーの実話を基に映画化された感動作。81年、サンフランシスコ。クリス・ガードナー(ウィル・スミス)はサンフランシスコに暮らす有能なセールスマン。しかし一時は住む家を失い、5歳の息子クリストファー(ジェイデン・クリストファー・サイア・スミス)と共にホームレス生活をするほどの極貧にあえいでいた。彼の努力も虚しく、尽きることない家計の悩みに嫌気がさした妻(タンディ・ニュートン)は、クリストファーを残して家を出ていってしまう。クリストファーを何より大切に思うクリスは、新型医療機器を病院に売り込む日々。しかし大量に買い込んだ機器は減多に売れず、家賃も払えない生活が続いていた。そんなある日、彼は高級車から降りた男に成功の秘訣を尋ねたことをきっかけに、証券会社の養成コースに通うことを決意する。受講者に選ばれるように、クリスは人事課長のトゥイッスルへ自己アピールする…。

私がこの作品を観たきっかけはたまたまレンタルショップで見つけたからだった。実話であったということと、ホームレスから億万長者になる、という内容にも強く惹かれた。

この作品のみどころは人生の逆転劇もそうなのだが、父と子の愛情にも重きが置かれている。収入がなくなり、住む家も立ち退かなければならなくなっても、息子が寄せる愛と信頼をバネに、困難を次々と乗り越え、よき父親としての務めを果たし続けるのだった。そしてなにより感動したのが、数多くいるインターンの中からたった一人、クリスが選ばれるシーン。これまでの苦しい中で努力をしてきたことが報われたこのシーンは涙なしでは観られなかった。

この作品を観て、人間は決して諦めない心を持ち、努力をすれば必ず報われるということを強く感じた。また、家族の支えもなくてはならないものであると思った。逆境に立たされても折れない心、愛する人を守りぬく力を教わった映画だった。観て損はないです！！

『幸せの1ページ』

高橋 宏規

①Hiroki TAKAHASHI ②NIM'S ISLAND ③2008年 ④96分 ⑤adventure
⑥ジョディ・フォスター ⑦マーク・レヴィン ⑧ウェンディー・オール
⑩I think this movie is wonderful.

あらすじ：アレクサンドラは、大人気の冒険小説家。なのに、対人恐怖症で引きこもり。そんな彼女が書くヒーローは、空想で作った理想の男性像だった。新しい小説のネタを探していると、孤島で暮らす海洋学者の記事が目にとまった。彼に協力を求めるつもりでいたが、ある日、南の島の少女・ニムから、物語のヒーロー宛に SOS のメールを受け取る。ニムを救うため、アレクサンドラは初めて家の外へ出て、南太平洋へと旅立つが…。

I. ストーリーの魅力から

私がこの作品を観たのは映画館でした。予告を見て、てっきりジョディ・フォスター主演のラブロマンスだと思い込んでいましたが、実際はとても笑える冒険ファンタジーでした。

II. 常にドキドキさせられる展開

映画の中で何度も危険なシーンや動物が活躍するシーンがあり、常にドキドキハラハラさせられ、飽きの来ない作品でした。

III. 人はいつでも変わる

対人恐怖症で外出恐怖症の主人公が、少女が送ったたった一つのメールで南の島まで大冒険をするようになる。この作品を観て人は誰でも変わるんだと感じさせられました。

『きみに読む物語』～運命に引き寄せられて～

里 有華

①Yuka SATO ②The Notebook ③2005年 ④123分 ⑤ラブ・ロマンス ⑥Ryan Gosling Rachel McAdams ⑦Nick Cassavetes ⑧愛・回想・運命 ⑩I felt that love is precious and deep.

あらすじ：とある施設に初老の女性がいた。アルツハイマー病によって過去の思い出を失ってしまった彼女のもとに、デュークと名乗る男性が定期的に通って、とある恋の物語を読み聞かせてやっている。家族とひと夏を過ごすためにこの土地にやってきた良家の子女、17歳のアリー・ハミルトンは、材木工場で働く地元の青年ノアと恋におちる。しかし、アリーの両親は2人の交際を認めず、夏の終わりと共に彼らの中は引き裂かれた。その後、紆余曲折を経て2人は一体どうなったのだろうか。晩年を迎えたとある夫妻の若き日の恋を回想したラブ・ストーリーがここにある。

I. 『きみに読む物語』との出会い

私がこの映画を観たのは、本当に偶然のことだった。結果的には友人の友人の勧めになるのだが、たまたまこれを見ようという話になって、友人と見たのがきっかけだ。映画をほとんど見なかった私にとって、この『きみに読む物語』を見ることで映画の良さを知ったような気がする。

II. 愛することとは何か

キーワードにも挙げているように、この映画には「運命」と「愛」の強さを感じる。ラブ・ストーリーの定番と言えはそのような展開ではあるが、何か胸を撃つものがあったように思う。青年時代の若い恋も、老夫婦の年月が作り上げた深い愛情も、この映画に詰まっている。途中は若さゆえの無謀さも感じながらも、最後まで見ると、運命が引き寄せる愛の強さ、尊さというものを感じることができた。

III. あなたにも

私はこの『きみに読む物語』を見て、映画の面白さを知っただけでなく、「人を愛することとは」ということを考えさせられた映画でもあった。一見ありきたりなラブ・ストーリーに感じるかもしれないが、本当にそう思うかは、一度みればわかるだろう。

『きみに読む物語』にみる人生を通した純愛

北井 翔太郎

①Shotaro KITAI ②The Notebook ③2004年 ④123分 ⑤love story ⑥ライアン・ゴズリング/レイチェル・マクアダムス ⑦ニック・カサヴェデス ⑧ニコラス・スパークス：「きみに読む物語」⑨純愛、身分の差、奇跡 ⑩Him straight passion touched my heart.

あらすじ：材木屋で働く、貧しく教養もないノア。夏祭りで富豪の娘アリーに一目ぼれをし、猛烈なアタックの末、お互いは惹かれあい、愛し合っていたが、アリーの両親は身分違いの恋だと反対し、ふたりの一夏の恋は終わりをつげた……。やがて時は経ち、アリーは戦時中に病院で看護していたロンと婚約の約束をするが、そんな時ノアの姿を新聞の広告で目にし……

I. 『きみに読む物語』との出会い

この作品はふとレンタルショップの棚で目を惹いた題名の作品で、やっこの夏に手にすることができました。僕自身映画が大好きで、一時期は泣ける映画を片っ端から見あさったくらいで、今作もいい噂を聞いていたのですごく楽しみにしていました。

II. 主人公ノアの真っ直ぐな思い

純愛映画というのはこれまでに数多くあったと思いますが、ノアほど一途にたった一人の人を思い、愛し、約束を貫き通した主人公はいなかったように思います。彼女に言う一つ一つの言葉に嘘偽りはなく、そのすべてが彼女への約束となるのです。それを彼は最後の最後まで守っていく……。人を愛することの素晴らしさに溢れた作品です。

III. ストーリーを際立たせる映像、効果

夕暮れが湖をワイン色に染めるシーンに始まり、物語の随所で見られる映像は幻想的で、物語を引き立ててくれます。また、物語の中心になる二人だけでなく、そこに関わってくる人々の心のうちを考えながら見ると、色々な愛の形というものがより深く思い描けるのではないかと思います。是非多くの人に見てもらいたいです。

『50回目のファースト・キス』～恋する事の素晴らしさ～

山本 岳

①Gaku YAMAMOTO ②FIFTY FIRST DATES ③2004年 ④99分 ⑤恋愛 ⑥アダム・サンドラー ドリュー・バリモア ⑦ピーター・シーガル ⑧love, memory ⑩This movie showed me that LOVE is wonderful.

あらすじ：ハワイの水族館で働くヘンリー（アダム・サンドラー）は、ルーシー（ドリュー・バリモア）という女性に出会い、恋に落ちる。しかしルーシーは事故により1日しか記憶を保持できなかったため……

1 この映画との出会い

この映画を見たきっかけは、留学先のニュージーランドでホストファミリーとこの映画を見た姉が、帰国後強く薦めてきたからである。また、映画をあまり批評しない姉がここまで薦めるこの映画に興味を持ったからでもある。

2 恋する事によって生まれる力

私たちは昨日までの記憶を積み重ねて今日を生きている。昨日までの記憶を持ち、また新しい今日を生きる。それは当然の事で、そのことを疑問視する人はいないだろう。だが“前向健忘”と呼ばれる記憶障害を抱えるドリュー・バリモア演じるルーシーは一晩眠ると前日の記憶が消えてしまう障害を持っている。だが記憶が残らないと知りながらも、彼女のハートを掴むために毎日ゼロからのアタックを繰り返すアダム・サンドラー演じるヘンリー。その姿を見て、人に恋する事があらゆる障害に打ち克つ力を与えてくれると感じさせられる作品である。

3 特に見てほしいところ

“記憶が残らない”という本人にとっては深刻な問題を、あくまでもソフトにそして真面目に扱いながらラブ・コメディの手法で見せていくところである。また、純なセリフのキャッチボールで楽しませてくれるところや、エンディングで二人に用意される未来もファンタジーに頼ることなく描かれ、大人が気持ちよく納得できる清々しいものである。そこで注目してほしい

『天使にラブソングを2』が教えてくれたこと

田村 康子

①Yasuko Tamura ②SISTER ACT 2 ③1993年 ④107分 ⑤comedy ⑥Whoopi Goldberg ⑦Bill Duke ⑨やればできる、頑張る喜び、仲間との協力 ⑩I feel enjoy singing a song and I know singing is fun with class mate.

あらすじ：セント・キャスリン修道院の尼僧たちが、クリस्प氏(ジェームズ・コバーン)が理事長を務めるセント・フランシス高校で社会奉仕をする事になった。しかしそこは、構内暴力や非行が横行する問題校だった。シスター・メリー・パトリック(キャシー・ナジミー)やシスター・メアリー・ロバート(ウェンディー・マッケナ)たちはスレた悪ガキたちに手を焼き、修道院長(マギー・スミス)も困り果てる。尼僧たちは今やラスベガスのエンターティナーとなったデロリス(ウーピー・ゴールドバーグ)に助けを求める。フランシス高校は懐かしの母校でもあり、再び尼僧ファッションに身を包んだ彼女は、音楽教師として学校に潜り込んだ。授業そっちのけで騒ぐ生徒たちや石頭の教師たちに驚きながらも、彼女はユニークな授業を続けるが校長たちの反発にあう。そして、荒れた学校に平和が戻らなければ今年中に閉校という計画がある事を耳にする。デロリスはひよんな事から生徒たちに歌の才能がある事に気づき、ゴスペルのコーラス・グループ結成を思い立つ。彼女の熱意に、反抗的な生徒たちもいつしか心を許し、“地獄からのクラス”の23人は、天使のヒップホップ聖歌隊に変身。権威あるカリフォルニア州の合唱コンクールを目指す彼らは、“歌う街頭募金”で参加費用を集める。いよいよ当日、ほかの出場者たちに圧倒された生徒たちは逃げだそうとする。だが、デロリスの激しい叱責に勇気を出して歌い踊り、見事優勝する。彼らは何かをやり遂げる喜びを初めて知った。

I. 『天使にラブソングを2』との出会い

私がこの映画を知ったきっかけは、小学5年生の時の音楽会でした。クラスの音楽会で歌う曲が“O h happy day”でした。小学生で英語の曲を歌うのにみんな苦戦し、あまりやる気がありませんでした。この曲には、クラスで3人がソロを歌う部分がありました。私は当時コーラスをなっていたという理由でソロのうちの1人に入れられました。クラスもまとまらず、一人で歌う勇気もなく、いやいやだった時に、担任の先生が見せてくれた映画が『天使にラブソングを2』でした。

Ⅱ. みんなで楽しむことの大切さ

映画を見て、最初に思ったのは、楽しそう！こんなステージにしたい！という思いでした。やる気のなかったみんなも、映画を見た後感動していました。クラスで話し合った結果、自分たちもお客さんに感動を伝えようと言う事になり、音程とか関係なしにまずは楽しもうという結論になりました。私も人前に立つことが苦手だけど、精一杯頑張ってみようと思い、他の仲間と放課後、先生に練習をみてもらいました。そして音楽会で、みごと学校代表に選ばれた私たちは、市民ホールで発表することができました。

歌を歌う楽しさ、あきらめないこと、仲間と団結する楽しさを改めて感じました。

Ⅲ. 自分をだめだと決め付けない

一番衝撃的だったシーンが、デロリス先生が本番逃げようとした生徒を叱責したシーンでした。まさにその時の自分に言い聞かされているようでした。私はこの映画から勇気をももらったし、何より仲間と楽しむことの大切さを学びました。落ちこぼれと言われても、落ちこぼれではない、みんな何か才能がある。1人では楽しめない、みんなでやるから楽しめる。いまいち勇気が出ない人に、この笑いありの感動コメディを是非みてほしいです！！

『ペネロピ』が伝える幸せへの姿勢

植村 ひな子

① Hinako UEMURA ② PENELOPE ③ 2008年 ④ 103分 ⑤ love story
⑥ Christina Ricci / James McAvoy ⑦ Mark Palansky ⑧ しあわせを、
つかむんだ ⑩ In order to attain happiness, I need to love myself. I
learned that from this movie.

あらすじ：コンプレックスをポジティブなものに変えてくれる、チャーミングなラブストーリー。先祖が魔女に掛けられた呪いにより、ブタの鼻と耳をもって生まれたペネロピ。自身と同じ名家出身の男性が永遠の愛を誓えば呪いは解けるといふ。屋敷に隠されて育ち、名家の子息たちと見合いを繰り返すが、隠していたペネロピの顔を見た瞬間に逃げ出す者ばかり。そんななか、逃げ出さなかったマックスに必死の思いで結婚を願うが、結果は“千回分の失恋”。そしてペネロピはある晩、マフラーで鼻を隠して屋敷を飛び出し、街に出た。自分の思い通りに生きようと決意したペネロピを待っていたものは…

この作品は、母が収集している洋画から紹介されて知ったものだ。ディズニー系列なだけあって、現在のラブストーリーでありながら、幻想的な要素が上手く加えられて魅力たっぷりの作品になっている。

呪いをかけられた人間が、愛を誓うことで魔法を何とかする点は『美女と野獣』に通じるところがあるが、この作品では愛すること以上にもっと別のことを伝えてくれる。

ペネロピがかかっている呪いを解いて、ブタの鼻と耳をもたない本当の自分になるために、見合いを繰り返すというのが物語の序盤にある。それまでずっと、ペネロピは好奇の目から守るためにと家族により屋敷の中で暮らしていた。見合いでは外見より中身を愛してもらいたいと、最初はマジックミラー越しに会話をし、その後に姿を見せては見合いの相手には逃げられてしまっていた。そしてついに、と思った相手にも断られ、とにかく不幸そのもの。

しかし、ペネロピは自分の意思で生きるために街に出た後、鼻を隠して過す中で友人をつくることもできた。自身の鼻が世間に広がっても、逆に明るく過し、どんどん受け入れられていく。ありのままの自分をいかして元気に活動し

ているペネロピは、とても輝いて見え、私もこんな笑顔をふりまきたいと憧れをいだいた。

ペネロピが明るく過すなか、以前に見合いをしたが逃げていった相手の一人から結婚を申し込まれ、二人の結婚式の日となる。これで愛を誓い合えばペネロピの呪いが解けてブタの鼻と耳がなくなり、幸せになれると母親たちは喜ぶが、ペネロピは逃げ出してしまう。母親が戻るように説得する言葉に、「今の自分が好きなの」と反論するペネロピ。今までのペネロピの輝くような暮らしは、ブタの鼻も含めた自分を受け入れてポジティブに生きているからと思うと、私もそのままでいい、と共感した。結局、誰かと愛を誓うのではなく、自分のことが好きと言った瞬間に呪いは解けた。

ラストには、ペネロピがこの話を子供たちに語っているシーンに繋がるのだが、ここである子が「何が言いたいのか？」と質問し、ペネロピは「どう思う？」と問い返している。どのような考えが子供たちから返ってきたのか、是非注目してほしい。

この映画を見て、過去の不幸だった頃を変えることはできないが、今自分が生きていく運命を自ら切り開いていく姿がとても心に残った。そして何より、コンプレックスを感じても、「私は私でいい」と思い、自分を好きになれば、どんな可能性も開いていける。そんなポジティブなメッセージが伝えられてくる映画だと感じた。幸せを掴むために今の自分には何が必要なのか、それは個人で異なると思うが、是非一度この映画を見て考えてもらいたいと思う。

『ディ・アフター・トゥモロー』自然から学ぶこと

内田 加七子

①Kanakano Uchida ②The day after tomorrow ③2004年 ④124分 ⑤nature ⑥デニス・クエイド、ジェイク・ギレンホール ⑦ローランド・エメリッヒ ⑧ローランド・エメリッヒ ⑨自然災害、氷河期、人との絆 ⑩It was impressed by the appearance of father who tried to save his son by the life multiplication.

あらすじ：地球温暖化により氷が溶けたことで海流に異変が起き、その結果超大型低気圧が発生し、地球に氷河期が訪れる。寒波の予想をしていた気象学者のジャックは、緊急に会議を開き少しでも南に逃げるよう指示。しかしジャック自身は、ニューヨークに居る息子サムを救う為、北へ向かうのだった。果たして人々の運命は・・・

誰もが知っており、ニューヨークのシンボルでもある自由の女神が凍結！！大波に人々がのみこまれてしまう様子・・・映画予告でこれらのシーンを観た時とても印象的であり、ぜひ一度観てみたいと思った。どのシーンも迫力があり、2時間という上映時間があっという間に過ぎたように感じられた。

まず始めに、一言でこの作品の感想を述べると、自然の驚異的な破壊力の凄さである。台風や大雨、竜巻など自然の力の前では人間の力がいかに小さいか思い知らされた。それだけに、状況に応じた的確な指示が人々の命を左右されることになる。自然を甘く見ていると映画のように人類に大きなしっぺ返しがかかるだろう。しかし、どんな惨劇の中でも他国同士の助け合い、親子や人と人との強い繋がりにより生き延びていく場面には感動した。特に危険な地に取り残された息子を助けるため、父親が命がけで助けに行くシーンには涙が出た。すごく家族愛が感じられた瞬間でもあった。また、先進国といわれ経済優先だと主張し続けたアメリカが、自然の大災害に遭い困難な状況になった時、発展途上国と呼ばれた国が温かく迎え入れたシーンには人間の本当の姿を見ることができたと思う。

もし、世界が破滅するような災害が起こってしまうなら、どのような行動をするか、助け合えることができるか、現実をきちんと受け止めることができるか・・・そんなことも考えてしまうような作品だった。

最後に環境問題は日々確実に深刻になってきている。経済最優先でいいのか。快適な生活の為、嫌なことから目をそむけていいのか。いま問題から真正面からぶつかっていかなくては必ずその代償は来る、とわたしたちが最も考えなくてはいけないことが詰まっているようにも見えた。だからこそ、ぜひ多くの人にも見て感じ、考えてもらいたいと思う。

『THE DAY AFTER TOMORROW』で見る自然の脅威

黒川 綾香

① Ayaka KUROKAWA ② THE DAY AFTER TOMORROW ③ 2004年 ④ 124分 ⑤ panic ⑥ Jack Hall/Dennis Quaid ⑦ Roland Emmerich ⑧ 地球温暖化、地球崩壊、親子愛 ⑩ When I watched this movie, I feared the rage of the nature. And I was impressed with family love tied strongly together.

あらすじ：気候学者であるジャックが、南極で調査をしている際に、氷棚のひび割れに遭遇する。これは地球温暖化の影響であり、このまま進行すれば、地球は氷河期のようにになってしまうかもしれないと、ジャックは学会で発表するが、ほとんどの人がそのことを信用しようとはしなかった。そんな中、様々な異常気象が世界各地で起こり、ジャックの予想が着実に現実のものになっていく。一方、ジャックの息子であるサムがNYで開かれる高校生クイズ大会に出場する。しかし、NYはやがて絶対零度の世界に変わってしまう運命に置かれていた。そのことをしったジャックは、息子を救うために、危険を省みず、NYに向かうのであった。

I. 衝撃を受けた映像

私がこの作品を初めて知ったのは、テレビの映画予告のCMだった。初めてCMを見た時、自由の女神が雪の中に埋もれてしまっていることに衝撃を受けた。一体、何が起きているのだろう…。正直、最初見た時は意味がわからなかった。そんなことが起こり得る訳がないと考えた。しかし、この映像を見る度に、自然の猛威と映像美に心を奪われていることに気付いた。実際に映画を観てみると、南極の氷棚や大規模の竜巻、ビルを覆いこんでしまうような津波など、本当に自然の脅威と壮大さを感じることができ、圧倒させられるものであった。

II. 自然の脅威と親子愛の大切さ

この作品で大きく取り上げられているものは、地球温暖化によって招かれる自然災害の恐ろしさである。日本に降るゴルフボール大の雹、1日で街を全て破壊してしまうほどの猛威を振るう竜巻、NYを飲み込んでしまうほどの津波など、もし実際に起こってしまえば本当に人類が滅亡してしまうと誰もが考えてしまうような惨劇が描かれている。人間が自然を壊すことはできる。しかし、自然が猛威を振るい始めてしまえば、人間には止めることができな

い。それをこの映画で強く感じさせられた。また、この映画では親子愛が描かれている。息子を助けるために自ら危険な道を選ぶ父。その父が絶対に来てくれると信じて待つ息子。この親子が再会した時、誰もが何か胸に熱いものを感じるであろう。映画の中で、ジャックがNYに向かう前に、ある境界線を境にしてそれより南に住んでいる人間は避難させ、北に住んでいる人間を助けることは諦めるように促すシーンがある。副大統領は最初この申し出を断るが、ジャックが去った後、ジャックの上司が副大統領に「彼の息子はNYです。」と告げると、ジャックの申し出を受け入れることに決めた。ジャックの息子は、その境界線より北側にいたからだ。このような状態に立たされた親の絶望感は、誰もが察することができるものである。親子のつながりが、決して揺るがそうとしなかった心をも動かすことができるということに感動した。

Ⅲ. これから私たちがすべきこと

地球温暖化という今私たちがぶつかっている大きな問題がある。誰もがどこかで私には関係ないと思ってしまっているのではないだろうか。しかし、この映画を観ることによって、地球温暖化という人間が今までしてきたことに対する代償をどうすれば少しでも和らげることができるかをもう一度考え直すことができるであろう。現在、地球温暖化防止のために、様々な取り組みが行われているので、この映画を観ることで少しでもそのことに興味を持つて欲しいと思う。また、今日、自分の親があまり好きではないという子どもが増えている。その子どもたちが親を好きになることは難しいだろうし、無理矢理そうさせようと思ってはいない。しかし、この映画で親子愛を感じて、もう一度親子の関係を見直してみたいと思う。

『earth』 奇跡の星、地球

見山 祥昭

①Yoshiaki MIYAMA ②earth ③2008 年 ④98 分 ⑤ドキュメント ⑦アラステア・フォーギル、マーク・リンフィールド ⑨奇跡の星、壮大な自然 ⑩I think that this movie is teaching on the majestic nature and the mystery of life.

あらすじ：50億年前、巨大な隕石が若かった地球に衝突した。その衝撃で、23.5度も傾いてしまう。しかし、この出来事が生命の住みやすい環境や、季節をつくりだす大きな役割となった。北極点から始まり南極をたどる旅路で、様々な動物やダイナミックな自然が映し出されている。最後はこのまま環境破壊が進むと、この美しい地球は危ないという警告のメッセージも込められている。

I. 1つ1つの映像に圧巻

私がこの作品を知ったのは、ある番組の映画紹介を見たとき、ほんの数十秒の映像だったが映像の美しさが深く印象に残った。様々な視点からの、映像は圧巻である。大空から見た海、深い森林・・・、また宇宙から見た地球。早送りやスローモーションを使い効果的に表現されている。さらに、ベルリン・フィルハーモニー管弦団のフルオーケストラにより映像に深みを与えている。

II. 自然界の‘自然’な姿

自分が地球になったような、その場にいるような錯覚を覚えるほど動物に近いところから映されている。厳しい自然界を生きぬく動物の目の輝きに、生命の力強さを感じずにはられない。

III. 映画からのメッセージ

この映画は私たちが普段の生活では忘れていて、地球の一部だということを思い出させてくれる。映画の最後にある自然破壊への警告のメッセージは、私たちがこの地球を守っていかなければならないと思わせるものである。

『ヘアスプレー』の奥深さ

木澤 成美

① Narumi KIZAWA ② Hairspray ③ 2007年 ④ 117分 ⑤ミュージカル映画 ⑥ John Joseph Travolta, Nikki Blonsky ⑦ Adam Michael Shankman ⑧ John Waters・Hairspray ⑨ 至上最重量級(?)のシンデレラストーリー、歌にダンスに笑いに涙ありのミュージカル映画、人種差別 ⑩ When I watch this movie, I would get so excited that my heart would be pounding. Because of the music of this movie made me feel like dancing and singing.

あらすじ：舞台は60年代のボルティモア。大人気TV番組「コーニー・コリンズ・ショー」出演を夢見る、音楽とお洒落に夢中な16歳のトレーシー。そんな彼女には、ひとつだけ問題が…。それは、彼女のデカすぎるサイズ！でも、そんなことは一向に気にする様子のない前向きなトレーシーは見事レギュラーの座を射止め番組の人気者となってしまう。夢をかなえたように思えたトレーシー、しかし浮き彫りになるテレビ局の人種差別や、美人でスリムなライバル母娘の嫉妬と罠、いくつもの問題が彼女の前に現れる。人種差別反対デモの先頭に立ったトレーシーが警察から追われるハメになってしまう一方、生放送中の番組では“ミス・ヘアスプレー”ダンスコンテストの人気投票が行われていた。ベルマの不正も手伝って、アンバーが首位を独走する中、トレーシーは、警察が包囲するテレビ局に近づくことさえできない。最高のハッピーエンド目指して、トレーシーと仲間たちが立てた極秘計画とは？

I. 受験生に元気を与えた『ヘアスプレー』

私がこの作品に出会った時期は受験生の秋。センター試験に向けてカウントダウンも始まっていた頃である。音楽好きな姉に強引に連れられ少々乗り気でなかった私を、オープニング曲である「Good Morning BALTIMORE」は、いっきに私を『ヘアスプレー』の世界へと引き込んだ。主役のニッキーの前向きな生き方やあの笑顔にたくさん元気をもらい、受験の辛さを一夜にして吹き飛ばしてくれたのだ。

II. 今にも踊りだしたくなるような歌・ダンス

『ヘアスプレー』はオリジナル映画のコメディ要素と、ブロードウェイ・ミュージカルの楽しさを組み込んで練り上げられた作品。全編を通じて繰り広げられる歌とダンスはスケール感にあふれ、思わず一緒に踊り出したくなるような迫力である。実力者ぞろい出演者に引けをとることなくパフォーマンスを繰り広げるニッキーはこの

作品がデビュー作品である。“歌って踊れるぼっちゃりティーン”として募集された1000人の応募者の中から見事17歳にして主演に抜擢されたのだ。ニッキーの歌とダンスには見ている人を自然と幸せにしてくれる力があるように感じられた。

Ⅲ. 楽しいだけで終わらせない

アップテンポな歌とダンスでどんどん展開していく『ヘアスプレー』。しかし、あるシーンで楽しい気分から一変、涙するシーンがある。クイーン・ラティファの演じるメイベルが差別反対デモの行進の中で歌うシーンだ。歌詞と彼女の声が見事にシンクロし、その場の雰囲気ガラッと変えてしまった。楽しく明るいストーリーの中にある、重たく今なお続く、あってはならない差別問題。

また、ビッグサイズのママ、エドナを演じるのは、大物男優ジョン・トラヴォルタ。彼が特殊メイクを施し、“ママ”を演じることに、従来の常識や世間の風潮にとらわれず生きることへの隠れメッセージが潜んでいる。一方、トレーシーを演じるニッキー・ブロンスキーは、オーディションを経て役を勝ち取った大型新人。出演前はアイスクリーム屋さんでアルバイトをしていたという無名のニッキーが、ビッグプロジェクトの主演に抜てきされるのは異例なことである。「男性が女性を演じたっていいじゃないか。新人が主演だっていいじゃないか」と、キャスティングを通しても粋なメッセージが伝えられている。

体系や肌の色、年齢、性別…そんなものは関係無く一人一人が明るく輝ける未来に変えて行こう！リズムの良い歌にパワフルなダンス、色鮮やかな衣装、個性の強いキャラクター…そんな外見の華やかさの裏にしっかりとしたメッセージが隠れている奥深い作品なのだ。

元気になれる映画『ヘアスプレー』

野原 由貴

① Yuki NOHARA ② Hairspray ③ 2007年 ④ 117分 ⑤ musical, love story
⑥ ニッキー・ブロンスキー (トレイシー・ターンブラッド役) ⑦ アダム・シャンクマン ⑧ ジョン・ウォータース:Hairspray (これを原作としたブロードウェイミュージカルもある) ⑨ 史上最重量級のシンデレラストーリー!? ⑩ I love the scene that a heroine fights with discrimination.

あらすじ：ヘアスプレー企業が贈る人気のTV番組「コーニー・コリンズ・ショー」に出演することを夢見る16歳のトレイシー。ダンスだってオシャレだって申し分ない彼女には1つだけ問題が……。それはBIGすぎるサイズ!!ところが、偶然番組のホストの目に留まりショーへの出演が決定!!愛しのアイドル、リンクと共演!?美人でスリムなライバル母娘が仕掛けた罠からトラブルに巻き込まれ、やがては指名手配まで受けることに……。そんな中、アメリカ中が憧れる一大イベント「ミス・ヘアスプレー」を決める大会がやってきた。果たしてその結末は!?

I. 私と『ヘアスプレー』

私のバイト先の映画館でアンコールシネマとして『ヘアスプレー』が上映されることになった。私は『オペラ座の怪人』や『CICAGO』などのミュージカル映画が好きなので、『ヘアスプレー』がミュージカル映画だと聞きとても興味を持った。映画には歌やダンスがたくさん盛り込まれていて、上映中ずっとわくわくしながら楽しく映画を見ることができた。

映画には黒人差別のことがでてくるなど、楽しむだけではなく私に多くのことを考えさせた。

II. 人と違って当たり前

人よりぽっちゃりしている主人公トレイシーとその母親。母親は自分の体系を気にして家に閉じこもろうとするが、トレイシーは人よりぽっちゃりしている自分の体系を個性だと言う。また、肌の色が違うことで差別されている黒人とも仲良くなり黒人差別撤廃を訴えるデモにも参加する。このトレイシーの姿から、私は人と違うからって気にすることは何もないのだと学んだ。私は人と違うことをすることにあまり自信が持てなかったり、すぐに人と同じような行動をとってしまったりするけど、トレイシーを見習って自分の個性を大切にしたいと思った。障害者差別や人種差別、男女差別など今もまだ多くの差別があ

るけど、周りの人との違いで差別を受けたり偏見を持たれたりするのはおかしいとこの映画を見て改めて思った。障害や人種の違い、男女の違いなどが個性の1つだとみんなが思える日が来ればいいなと思う。そして、差別がなくなってほしいと思う。

Ⅲ. 『ヘアスプレー』の魅力

落ち込んだ時、元気がない時、何かに悩んでいる時、是非この映画を見てほしい。主人公トレーシーの前向きな姿や映画に出てくるノリのいい歌やダンスで、きっと元気になれると思う。きっと歌を聞いたり、ダンスを見ているだけで、自然に笑顔になれるだろう。また、主人公の恋や主人公の両親の恋などのラブストーリーも大変楽しめる作品だ。元気になりたい人、勇気が欲しい人、ラブストーリーが見たい人にも私はこの映画を是非お勧めする。そして、トレーシーのように是非自分の夢を叶えて欲しいと思う。

『ターミナル』に見える人の温かさ

栗本 有人

① Yuto KURIMOTO ② THE TERMINAL ③ 2004年 ④ 129分 ⑤コメディ
⑥ トム・ハンクス ⑦ スティーヴン・スピルバーグ ⑧ 愛 友
情 ⑩ This movie is covered with Love and Friendship. If you watch it,
your heart must be warm.

あらすじ；クーデターによって祖国が消滅してしまったヨーロッパのクラコ
ウジア人、ビクター・ナボルスキー（トム・ハンクス）は、アメリカの空港
にて足止めを余儀なくされる。その足止めの期間は数か月にもおよび……。

I. この映画との出会い

僕が初めてこの映画を見たのが高校 2 年生の夏休みで、笑いもあり
そして感動もあり、心あつたまる映画でした。今年の 9 月にもテレビでやって
いて、ついつい見てしまうほどの作品だと思います。

II. 魅力

この映画は主人公が祖国の消滅で空港に取り残されてしまう悲しい物語か
も一見思ふかもしれませんが、主人公が空港で必死に生活しているうちに友達
ができ、好きな女性もできて、その空港では有名人に。普通ではありえない物
語だとおもうけど、主人公の性格や振る舞いが身近に感じてしまうほどです。

III. 愛と友情

最後には少し悲しい出来事が起こりますが、友達のためにどうするべきなの
か、家族のため、愛する人のためにどうするべきか、そういったものが少し教
えてくれるそんなラストになっていると思います。

愛や友情・・・日ごろでは口にしない言葉だけど、誰だってこの二つがなけ
れば生きていけません。そんな身近なものがいっぱい詰まった作品です。

『ターミナル』から学んだこと

橋本 理菜

①Rina HASHIMOTO ②The Terminal ③2004年 ④129分 ⑤human drama ⑥トム・ハンクス
⑦スティーヴン・スピルバーグ ⑧なし ⑨マイノリティ、「待つ」ことの意味⑩Image of waiting
changed a lot after I watched this movie.

あらすじ： アメリカ、ジョン・F・ケネディ国際空港n国際線ロビー、入国手続ゲートでクラ
コージャ人のビクター・ナボルスキーは足止めされていた。母国のクラコージャで、彼が乗った
飛行機が出発した直後クーデターが起こり政権崩壊状態に陥り、事実上無国籍となってしまっ
たのである。彼のパスポートは無効状態となり、入国ビザは取り消されたのだった。入国も帰国も
できない中、彼はある約束を守るために空港で待ち続ける。

I. 『ターミナル』を知ったきっかけ

この作品は、有名なスティーヴン・スピルバーグ監督が手掛けたものとしてCMでも大きく取
り上げられていたが、私にとっては同監督の『キャッチ・ミー・イフ・ユー・キャン』（2002年）
の影響が大きかった。学校で鑑賞したときにとっても印象に残っていて、ぜひ見てみたいと思っ
た。今でも私の1番好きな映画である。

II. “ターミナル”の意味とマイノリティ

この映画では、地図上の山や川ではなく、人が大勢行き来する場所、人間の思惑が渦巻く場所
にこそ国境があるということを実感させられる。その多くの人間が存在するターミナルのなかで、
国籍という最大のアイデンティティをもなくした主人公は明らかなマイノリティである。初めは
彼を敬遠し見向きもしなかったスタッフたちも、しだいにかれの人柄に惹かれ応援するようにな
っていく。この場面では本当に心が暖まる。また、中でも彼のことを家族というようになる3人
の人物も、ここではマイノリティとしてみるができる。法律のまま動く閉塞的・官僚的な組
織と不自由の中でも自由を探す主人公との対比がおもしろい。

III. 待つということ

この作品の中では、“待つ”というテーマを読み取ることができると思う。作品中何度も出て
くる“待つ”という言葉の中には、様々な、特別な意味が含まれていた。普段の私たちの生活の
中で使われる、この待つという意味には、どこか分や秒刻みのニュアンスが含まれている。自由
でありながら、私たちは時間に縛られている。ところがこの作品の主人公の言葉には、前向きな
意味が含まれていたように感じたのである。“待つ”ことに前向きな意味など今まで見出す事な
どできなかった私は、この映画を見て待つことに対する考え方が変わった。何度見ても新たな発
見と感動を見つけることのできるこの話のことを多くの人に見てもらいたいと思う。

『レミーのおいしいレストラン』が教えてくれた友情の大切さ

杉山 美霞

①Mika SUGIYAMA ②Ratatouille ③2007年 ④112分 ⑤animation/comedy ⑦ブラッド・バード/Brad Bird ヤン・ピンカヴァ ⑨信じる気持ち・固い絆・互いに理解し合う気持ち ⑩I feel that best friend is very important. I decide to cherish my friend who is always next to me.

あらすじ：イタリア・パリを舞台とし、料理の才能が全くない若者と格別に嗅覚が優れたネズミとの友情を描くストーリー。ひょんなことからパリにある五つ星レストラン《グストー》で雑用係として働くことになったリングイニ。彼には料理の才能が全くないため、失敗ばかりして厨房のシェフたちに迷惑をかけてしまうこともしばしば。そんな姿を見るに見かねていたネズミのレミーは自分の嗅覚を生かしリングイニとともにおいしい料理をたくさん作っていく。

I. 『レミーのおいしいレストラン』を手にとった理由

大学に入って初めての夏休み。英語の宿題である映画紹介をするために、私は近くのレンタルビデオ店へ向かった。さんざん悩んだあげく、ディズニーアニメが好きな私は、映画館へ観に行くことが出来なかったこの作品を観ることに決めた。

II. 友情～互いに信じあうこと～

この映画を観て一番に感じたことは友達の大切さである。いつもそばにいたとしても、お互いに相手のことを思い合い、信じなければ友情は続かないと思う。この映画でのレミーとリングイニのように、時にはすれ違い、相手を誤解してしまうこともあるけれど、最後には相手のことを信じられるような友情はとても素晴らしいと思った。

III. オススメするワケ

この映画はレストランから憎まれているネズミが主人公である。私自身もネズミがあまり得意ではなく、厨房でネズミが調理しているなんて考えるだけでもゾッとしていた。しかし、実際にこの映画を観てみると、主人公のレミーはとても心優しいネズミで最初から最後まで全く嫌悪感を持つことがなかった。レストランとネズミという普通では考えられないような組み合わせが意外性をよび、とても面白かった。ネズミ嫌いの人たちが観ても十分楽しめる映画だと思う。

また、ディズニー特有のドキドキハラハラ感が今回もたまらなかった。スピード感あふれる映像は、大人も子どもも一緒に興奮できるだろう。

『レミーのおいしいレストラン』

山形 慎平

①Shinpei YAMAGATA ②Ratatouille ③2007年 ④111分 ⑤animation ⑥レミー, リングイニ ⑦ブラッド・バード ⑧ヤン・ピンカヴァ, ジム・カポビアンコ, ブラッド・バード ⑨ピクサー作品, 信じ合う気持ち ⑩I think that believing is very important.

あらすじ：料理が大好きなネズミのレミーは、一流レストランのシェフになることを夢見ていた。一方見習いシェフのリングイニがヘマをして、スープを台無しにしてしまう。その時に家族と離れ離れになったレミーがレストランにたどり着いた。リングイニのヘマを見たレミーは湧き上がる情熱を抑えきれずキッチンに足を踏み入れて夢中になってスープを作り直すが、それをリングイニに目撃されてしまった。料理の才能が無いことを悩んでいたリングイニは、この小さな天才シェフが人間の言葉を理解していると知る。そこで2人は協力をしてパリ1番のシェフを目指していく物語りである。

I. レミーのおいしいレストランとの出会い

以前CMなどでよくこの作品が紹介されている時から見たいと思っていた。忙しくなかなか見る機会がなかったがこの機会に見ることにした。楽しみにしていただけあって、111分食い入るように見ていた。

II. 信じ合い、協力、友情

レミーとリングイニはコンビ良くたくさんの困難を乗り越えていく。しかし、些細なことをきっかけに2人は離ればなれになってしまう。離れてからわかることや回りの人からの助言により2人はお互いの大切さを知る。そこに今までで最大の壁が立ちはだかる。レミー、リングイニさらには周りの人の協力もあり、一致団結した全員がその壁に立ち向かっていく。

III.

やはり周りの協力というのは必要不可欠である。たくさんの人の人間関係がよく描かれている。個性豊かな登場人物にも注目して見てもらいたい。この作品は1回だけではなく、何回見ても良いものだと感じた。

『ラストサムライ』にみる「武士道」

岡本 佳子

①Yoshiko OKAMOTO ②THE LAST SAMURAI ③2003年 ④154分 ⑤A historical drama, Action ⑥Tom Cruise, Ken Watanabe ⑦Edward Zwick ⑧なし ⑨武士道、ハリウッド、武士の時代の終焉 ⑩This movie taught me how to live. You should act on your own.

あらすじ：南北戦争の英雄でありながら、原住民殲滅戦に失望し酒に溺れるオールグレン。西洋式の戦術を取り入れて近代化を図ろうとする明治維新直後の日本に、彼は政府軍の指導役としてやってくる。ある戦いで、政府に反旗を翻す侍である勝元の捕虜となったオールグレンは、彼らと行動を共にするうちにその真っ直ぐで静謐な生き方、「武士道」に共感していく。

I. 『ラストサムライ』との出会い

私はもともと渡辺謙さんが役者として好きである。そのうえ、日本の文化や風習にもとても興味を持っている。だから、日本を舞台にした『ラストサムライ』がハリウッドで撮影され上映されると聞いた時、これはもう行かねばなるまいと映画館まで足を運んだ。これまで見たハリウッド映画は、日本の乱世を舞台にしている、時代考証がめちゃくちゃなことやどこか違和感があることが多かった。今回はどうだろうかと不安も抱えながらの観賞だったが、みるみる打ちにストーリーに引き込まれ、気づけば真剣に泣いたり怒ったりしていた。

II. 製作への熱意

ハリウッドで製作された以上、明治維新後の話なのに忍者が出てくるなど、ところどころにおかしなところは見受けられる。しかし、キャストの一人でもある真田広之が連日監督と協議を行うなどの尽力の甲斐あって、従来の外国映画ほどの違和感はなかった。背景は綺麗で日本描写も美しく、何より韓国人や日系アメリカ人で済ませてしまうことの多いエキストラまで日本人を採用しているという徹底ぶりは素晴らしい。役者の演技技術も高く、台詞のない場面でも観客を惹きこむ工夫が随所に見られる。

III. 「武士道」とは何か

この映画で全編を通じて追い求められているもののひとつが、「武士道」とは何か、である。勝元のように旧式にこだわり、己の道を貫くのもひとつ。政府側についた多くの人々のようにお国のために己を曲げてでも尽くすのもまた、そのひとつの形である。どちらが良いかなんて一概に言えるものではない。けれど、時代はどちらかしか選んではくれない。では、選ばれなかったほうが殉じた「武士道」は間違いだったのだろうか。たとえ負けても、本人たちにとってはそれが真の「武士道」であった。どちらかが間違いだなんてそんなはずはないのだけれど、では、そもそも「武士道」とは何なのだろうか。ひとつに固定されるものではなく、人によって変わってしまうそれは、「武士道」と呼べるものなのだろうか。

IV. 人は何を抱えて生きるのか

人は何を抱えて感じて思っ、そして生きて死ぬのか。対立して敗北していくほうにも、死んでいく人たちにも、心に守った大切なものはあるのである。負けたほうが絶対悪なのではない。彼らには彼らなりに譲れないものがあり、愛したものがあり、そしてそれらを信じて生きてただけであって、それは悪ではないのだろう。この映画を通じて、自分が大事にしているものが何か、もう一度考えてみてほしい。この問いかけには人によって多種多様な答えが存在するだろうけれど、その答えこそがあなたの「武士道」を構成するものなのだから。

『グリーン・マイル』から教わる、人間の生き方

島本 歌穂

① Kaho SHIMAMOTO ② THE GREEN MILE ③ 2000年 ④ 188分
⑤ ヒューマンドラマ ⑥ トム・ハンクス ⑦ フランク・ダラボン
⑧ スティーブン・キング：グリーン・マイル ⑨ 2000年アカデミー賞
（音響・脚本・作品賞）受賞、奇跡の力、生と死 ⑩ When I saw this
movie, I feel very happy to be alive. This movie taught me what
“living” and “death” are.

あらすじ：1999年のアメリカ公開以来、世界中の人々の心に響く名作。主人公のポールが看守主任を務める刑務所にひとりの大男、ジョン・コーフィーが送られてきた。彼は人の傷を癒す不思議な力を持っていた。その力を知ったポールや刑務所の仲間たちと、コーフィーの運命は果たして…。

I. 『グリーン・マイル』との出会い

私は中学生の頃洋画というものに全く興味がなかったが、たまたま母がこの作品をテレビに食い入るように見ていたことがきっかけで、私もこの作品のことを知る事となった。その後も何度かテレビで放送されるたびに、私はこの作品に惹かれていった。

II. 人を思いやることの大切さ

奇跡的な力を持っていながら世の中の悪事は止まず、長く生きれば生きるほどそれを見なければいけないからと死を選んだ主人公のジョン・コーフィー。

「正義は必ず勝つ」という子供のころから言われてきたことを覆され、正しくとも報われない悲しい世の中の現実をつきつけられた。それでもこの映画に心が温まるのは、自分を犠牲にしても人を助けたいという気持ちがたくさんつまった映画だからだと思う。私は、限りある人生の生き方をこの映画から教わったような気がした。

III. ずっと重いシリアスなテーマ

思ってもみなかったストーリー展開に、初めはとまどいを隠せなかった。「なんて残酷な…」と見たことを後悔すらした。しかしこの作品は簡単に答えが出るようなものではなく、作品が終わった後余韻に浸りながら振り返ることで、心の中に何か一言で表すことができないような感情が現れ、生きることとは何か、死ぬこととは何かという人間にとって非常に重要な問題を問いかけてくれる作品である。

『ショーシャンクの空に』での自由への信念

田中 紗耶子

①Sayako TANAKA ②The Shawshank Redemption ③1995年 ④143分 ⑤ human drama ⑥ティム＝ロビンズ
モーガン＝フリーマン ⑦フランク＝ダラボン ⑧スティーブン＝キング ⑨映画ファンの《踏み絵的作品》 本当の
幸せと自由 二面性を秘めた作品 ⑩I recommend that you see this movie. If you do so, you will be able to tell
the value of the movie.

あらすじ：主人公、アンディ＝デュフレーションは冤罪であるにも関わらず終身刑となり、ショーシャンク収容所に連れて
行かれてしまう。理不尽な判決、随った囚人たち、刑務所内での暴行、つらい重労働、蛆虫つきの食事・・・このよ
うな地獄の底に大人しく死を待つはずがなかったアンディは脱獄を企てるのであった。

I. この映画を観るに至った経緯

友人の多くがこの『ショーシャンクの空に』を好きな映画、オススメの映画としていたため、「どんな映
画なのだろう？」と疑問に思い、今回観てみました。

II. 人の持ち合わす残酷さと温かさ - 《絶望と希望》 -

収容所では人としての権利などといったものは一切無視され、囚人は看守に暴力をふるわれ、時には殺
されることも・・・残酷な収容所内でもアンディとその仲間たちは人の道を踏み外すことなく過酷な状況
の中で助け合って生きていく。そこで生じる会話と笑顔は刑務所内の人間がとつくに失ってしまったもの
のように感じられた。

III. 本当の幸せ、本当の自由とは何なのか？

アンディの仲間のうちの1人、ブルックスは罪を償い終え、刑務所の外に出る。これで自由！幸せだ・・・
と思いきや、スーパーでバイトをし、社会に馴染もうとするものの、どこか居心地が良くない。ひどいも
のだったがみんなといた刑務所時代の方が彼には幸せだったのである。病んだあまり、老いた体はとうと
う首を吊ってしまう。そして、仲間の中でも特に仲の良かったレッドが今度は出て行く。別に狂喜するこ
となく、バイトの日々を過ごすレッド。これではブルックスと変わらない。憂鬱な毎日を過ごす中、レ
ッドはふと脱獄したアンディとの約束を思い出し、ブルックスとは違う方向に目を向け始めた・・・。

この作品はとても鮮明に且つ繊細に人の感情を描いているものだと思います。印象に残ったのは、ブ
ルックスの死後に主人公が刑務所の放送室に入り、ブルックスのレコードの「フィガロの結婚」を刑務所
全体に流すシーンでした。ブルックスのレクイエムは荒れた囚人たちを、看守でさえその歌声に耳を傾け
る者がいたほどに、心に染み透るものであった。刑務所の所長とその側近は放送室に駆け込み、中にいる
アンディを罵倒していたが、音楽を長く聴いていなかった者の耳には素晴らしい刺激だったのではないか
と思われた。幸福と不幸の訪れは思いもかけないものである。意図的に起こされた不幸を乗り切る主人公
の自由への信念には驚きました。普通なら絶望のあまり、そんな気力、精神的余裕はおそらく無いだろう
と思われるところであるにも関わらずに。

一度観てみるといい。友人たちが好きな映画のうちにカウントしていた理由がわかったような気がしま
す。観て良かったと思いました。

『プライベートライアン』から学ぶ生きる意味

大越智 博紀

① Hiroki Ogochi ② Saving Private Ryan ③ 1998年 ④ 170分 ⑤ war ⑥ Tom Hanks ⑦ Steven Spielberg ⑧ 第二次世界大戦 アカデミー賞5部門受賞作品 ⑩ I learn meaning of living. This movie teaches us what is important of life.

あらすじ：ノルマンディー上陸作戦においてオマハ・ビーチ上陸作戦を生き残った中隊長であるジョン・ミラー大尉は、ジェームス・ライアン二等兵をノルマンディー戦線から探し出し、無事帰国させるため、敵陣深く進入する危険な任務へ赴く。4人兄弟であるライアン二等兵の3人の兄は既に皆戦死し、軍は母親のため彼の救出を命じた。しかし、作戦を進めるにつれ、次第に1人のために8人もの兵士が命をかけるこの命令に疑問を抱くようになる…

I. 衝撃的な冒頭の30分間

私がこの映画と出会ったのは、小学6年生の2月か3月頃だった。翌日に剣道の試合を控えた中で観た「日曜洋画劇場」という番組である。ここまで詳しく覚えているのは、冒頭の30分間にわたる上陸作戦のあまにリアルな描写のためだろう。番組の始まりでは確かそのことへの注意がなされており、私自身も何度か目をつむった記憶がある。それにもかかわらず最後まで見続けたのは、単に戦争の恐怖だけでなく、何か強烈な魅力を感じ取ったからだろう。

II. 1人のために8人が命をかけるとは

どのような状態であっても、1人のために8人が命をかけるとはたやすいことではない。しかもそれが、他人のため、さらに戦争という全ての人間が死と隣り合わせであるという極限状態であればなおさらのことである。任務を任された際にミラー大尉はチームのリーダーとして、「これは広報活動だ」とし、国が戦争に勝つために必要なことだと理解しようとするが、多くの兵士はこの命令に納得しない。チームの一人を失った際にミラー大尉はこれまで戦場で持っていた、部下を亡くした時の考え方について語り、今回の作戦と照らしあわせる。このあたりから、それぞれが1人のために命をかけることについて真剣に考えるようになり、自分でも何が大事なのかをかんがえさせられた。最後のシーンでミラー大尉がライアンへ送った「無駄にするな、しっかり生きる」の言葉がとても印象的だ。そして現在のライアンの回想へ戻りライアンの6人の子供たちを再び見たとき、8人が1人のために命をかけたことの意味を彼がしっかり受けとっていることを知りうれしかった。

III. それぞれの思い

この映画では主人公のミラー大尉はもちろん登場人物それぞれの感性がよく描かれている。そのなかで特に通訳として1人ほかの隊からこのチームに参加したアバム伍長の存在が大きかった。もともと戦闘は専門でない彼が、他人のために前線へと向かい多くのことを経験し考える姿には私たちのような戦争とは関係のない者に戦争が実にどのようなものなのかを教えてくれる。特に、アバム伍長が仲間を制して助けた敵兵が、再び敵として目の前に現れたシーンは戦争がもたらすものが感じられる。

この映画は戦争賛美や、反戦といった内容がほとんどなく、また敵対関係にある国々を極端に善と悪として捉えていない点にもこの映画のよさがあらわれている。残酷なシーンが多いため授業で用いることは難しいが、戦争というものを実によく表しており、是非とも見てもらいたい作品である。

『硫黄島からの手紙』が伝えるもの

来田 千尋

①Chihiro KIDA ②Letters from Iwo Jima ③2006年 ④141分. ⑤War Movie ⑥渡辺謙 二宮和也 ⑦Clinton Eastwood Jr. ⑧『許されざる者』や『ミリオンダラー・ベイビー』などを手がける。⑨World War II、硫黄島、栗林中将 ⑩I learned the actual conditions about World War II. This movie tells me the fact, not misery.

あらすじ：太平洋戦争最中の1944年6月。日本側の戦況が悪化の一途を辿るなか、本土防衛の最後の砦であった硫黄島へ、陸軍中将、栗林忠道（渡辺謙）が派遣される。指揮官に着任した彼は、アメリカ留学の経験を生かし作戦の近代化に着手する。5日で終わるとされたアメリカ軍との硫黄島での戦いを36日間戦い抜いた、日本軍の姿を陸軍一等兵西郷昇（二宮和也）の視点から淡々と描く。

I. きっかけ

私がこの作品に興味を持ったきっかけは、高等学校3年時のクラス担任の先生のお話である。世界史を専門とされているその先生が、世界史の時間に太平洋戦争について学ぶなかで『硫黄島からの手紙』という映画を紹介してくださった。私は当時この映画については戦争の映画であることしか知らなかったが先生のお話に引き込まれ、その授業が終わるころにはもう観たくて仕方がなくなっていた。周りの友人も同じ感想であった。しかし、その数日後にさっそく観た友人の話では、とにかく生々しい、ということだった。それを聞いた私はためらった。戦闘場面のあまりに生々しいものを見るのは苦手だからである。しかしやはり、先生のおっしゃっていた5日で終わるはずであったにも関わらず36日も持ちこたえたという硫黄島での戦いが、名将栗林中将の戦いぶりが、家族への手紙が観たくて、この映画を観た。

II. 日本人の記憶を忘れない

終戦から年月が流れ、日本は私を含め多くの国民が戦争というものを体験していない国となった。多くの日本人が学校へ通い「平和学習」なるものを受けるが、そのなかで硫黄島での戦闘は語られないことが大半だと思われる。広島、長崎に象徴されることが多い「戦争」だが、そこにあるのは本土の姿だ。硫黄島には戦う姿がある。本土の国民を一日、一秒でも長く守るために命をかける姿が。決して帰ることはできず、それを理解したうえでなお家族のもとへ帰ることを夢見て孤島で戦う日本人の姿がある。この映画は名将栗林忠道陸軍中将を主人公としているわけではない。陸軍一等兵、西郷昇である。西郷はパン屋という少々無理のある設定だが、彼の家族を思う気持ちは全ての日本兵に通じる。彼等日本兵の記憶をこそ忘れてはならないと、この映画を見て強く感じた。

III. まとめ

簡潔に言うと月並みになるが、一人でも多くの人にこの映画を観てもらいたい。私のように生々しい戦闘場面を見るのが苦手な人にもだ。日本人、アメリカ人だけにでもない。戦争を題材とした映画は数多くあるが、この映画が伝えるものはよくあるように戦争の悲惨さではない。硫黄島での戦争そのものをただ淡々と、本当に淡々と伝えてくれるからだ。

『イルマーレ』に学ぶ “愛と時間は無関係”

下山 未来

① Miku SHIMOYAMA ② The Lake House ③ 2006年 ④ 98分 ⑤ love story
⑥ キアヌ・リーブス/サンドラ・ブロック ⑦ アレハンドロ・アグレスティ ⑧
時越愛(韓国映画/2002年) ⑨ ファンタジー・ラブストーリー、時空を越えた
愛、過去と未来をつなぐ手紙 ⑩ This movie was the one that it is made to
think, “It was likely to be able to get it over if there was love by what” .
I want to value various love that overflows in surroundings.

あらすじ：韓国映画のハリウッド・リメイク。建築家のアレックスは、湖上に建
つガラス張りの家に引っ越してきた時、郵便箱に以前この家に住んでいたとい
う女医のケイトからの手紙を発見する。しかし、この家にはもう何年も誰も住
んでいないはずであった。返信した彼は、ケイトが2年先の未来から手紙を投
函していることを知る。彼らの文通はロマンスの兆しを見せ始め、2つの人生
が思いがけない形で交錯するが、2人がコンタクトしようとする時、危機が訪
れる。

この作品との出会いはまったくの偶然であった。高校1年生の秋、友達3人と映
画を見に行く約束をしたところ、洋画好きの1人が『イルマーレ』を見たいと言
い出した。私はそれまで映画館では邦画しか見たことがなく、ストーリーも知らな
かったため、そこまで期待せずに見に行ったのだが、見終わると涙を流している自分
がいた。ここまで感動した映画を観たのは久しぶりで、心に残る作品となった。

様々な障害はつきものの恋愛映画だが、この作品の障害はただものではない。距
離や彼女の父親、価値観の違いなどではなく、“時間の差”なのだ。文通によって
惹かれあうふたりだが、その間には“時差”という言葉ではあわせない2年とい
う時間が横たわる。「あなたと一緒に歩けたら・・・」という未来を生きる彼女・ケ
イトの願いを叶えるべく、「時を超えても、必ず君のそばへ行く」と一途に想いを
募らせ、時を待つアレックスの姿に恋の奇跡を感じることができる。

相手の顔も声も知らないのに恋愛に発展し、さらにメール全盛のこの時代に文通
で惹かれあうという状況が、感情移入しやすいになっているのだと思う。大人のふ
たりは、自分をとりまく状況や2年という時間の差を考え一度は想いに蓋をするの
だが、本当に自分がいるべき“居場所”や一緒にいるべき相手がどこに存在するの
かを見つける。その時の感動は今でも深く心に刻まれており、是非ともたくさんの
人にこの感動を感じてもらいたい。

様々な『バンテージ・ポイント』で見る一つの事実

岸 美津紀

①Mitsuki KISHI ②VANTAGE POINT ③2008年 ④90分 ⑤サスペンス・アクション ⑥デニス・クエイド、フォレスト・ウィットカーなど ⑦ビート・トラヴィス ⑨視点、大統領、時間 ⑩I thought that things differ from different view points.

あらすじ：場面はスペインでの大統領による演説である。その演説中に何者かによって大統領が狙撃されてしまう。その狙撃の瞬間を目撃した数人の人たちの視点により物語は進んでいく。1つの事実を違う視点から見つめ、事件の真実に迫っていくサスペンス映画。

I. この作品との出会い

私はこの映画を映画館で始めて見た。大学受験が一段落ついて、姉に誘われて見に行った。本当は違う映画を見に行くつもりだったが、映画のチケット売り場にあるテレビの予告でとても印象があり、面白そうだったので見ることに決めた。映画の内容は、同じ場面を繰り返すことが多く、「これが8回も続くのかな～」と思っていたが、話が進むにつれ、視点ごとに新たな事実がでてくることにより深く映画に引き込まれた。最後の結末がどうなるのか予想するのが難しく、わくわくする作品だ。

II. 斬新な物語の進み方

この映画様な物語の進み方は初めてだった。同じ場面を何回も違う視点で見て、進んでいく。回数を重ねるごとに新たな事実が生まれ、パズルが完成していくかのように物語がつながっていく。初めは誰が本当のことを言っているのかわからないし、何が真実なのかもわからなく、モヤモヤした気持ちになる。しかし、時間が経つにつれて真偽がわかるようになり、物語が解決することにより爽快感すら覚えるようになる。

III. 様々な視点

この映画は題名どおり、様々な視点で「大統領暗殺」という1つのものを見つめる。私はこの映画と実際の生活で起こることは同じだと思う。私たちは物事を基本的には1つの視点からしか見ないし、いろんな視点から見ることは難しい。しかし、いろんな視点から物事を見ることにより、今まで知る余地もなかったことを知ったり、考えついたりして、物事の違う一面を見ることができのかもしれない。物事は1つの意味だけではないことを気づかせてくれる作品である。

『キューブ』

～窮地に追い込まれた人間の本質～

加藤 翔

①Sho KATO ②CUBE ③1989年 ④91分 ⑤サスペンス ⑥モーリス・デ
イーン・ウイント ⑦ヴィンチェンゾ・ナタリ ⑧なし ⑨箱 ⑩I like the
suspense.

あらすじ：目が覚めると謎の立方体(CUBE)にいた。誰が何の目的で閉じ込めたか
も分からないまま、数人の男女が死のトラップが張り巡らされた謎の立方体(CUBE)か
らの脱出を試みる。

1. 作品との出会い

友人と大学の図書館で何か映画を見ようという話になりこの映画を見ることになりました。正直、最初はタイトルも知らないし内容も複雑そうで乗り気ではありませんでした。けれど、見ているうちに興奮してきました。

2. 人間の本質

この映画はCUBEという建物のなかに閉じ込められた人が、窮地に追い込まれたときにどういった行動をするかが見所です。主人公の一人は、最初こそリーダーシップをとってみんなをまとめていたものの、追い込まれて仲間になり散らすようになり、仲間の一人を事故に見せかけて殺害します。この映画はスリルと同時にいかに人間が醜くなれるかを描いた映画だと思います。

3. 人を裏切らないこと

人間は心のなかでどう思っているかはたから見たらわからない動物です。だから実はこの人はこういう人だったのかと思うことがあるかもしれません。しかし、私はどんなことがあっても仲間を裏切らないことを忘れないようにしたいとこの映画を見て思いました。

『Mr. & Mrs. Smith』の世界

芦田 和佳

①Waka ASHIDA ②Mr. & Mrs. Smith ③2005年 ④118分 ⑤action entertainment ⑥ブラッド・ピット (William Bradley Pitt) / アンジェリーナ・ジョリー (Angelina Jolie Voight) ⑦ダグ・リーマン ⑧なし ⑨殺し屋、夫婦ケンカ、コメディタッチ ⑩I knew the terror of a quarrel between husband and wife when I watched this movie.

あらすじ：一目で恋におち、電撃結婚してしまった殺し屋同士の夫婦。相手が自分と同じ家業だなどとは想像もせず、表面上は平和に暮らしていた。そして、結婚生活も6年目を迎えて少々倦怠ムード。ある日、2人は互いの属する組織から同じ標的を抹殺する指令を受ける。結果は相手に邪魔されて大失敗。二人は邪魔をした殺し屋を探っていくうちにお互いの正体を知ってしまう。そして、世界一怖い夫婦ケンカが始まった……。

I. 二大スターの競演

この映画の目玉のひとつは、なんといってもブラッド・ピットとアンジェリーナ・ジョリーというハリウッドのスターが二人も出演している事だ。これは私がこの映画を見たいと思うようになったきっかけでもある。私は外国の芸能人についてそれほど詳しいわけではない。それでもこの二人のことは知っていたし、何よりも、黒地のポスターにそれぞれ黒のタキシードと黒のドレスを着て写る主演二人の姿が私にはとても魅力的だった。

II. 隠し事が発覚するまでの探りあい

お互いの家業が殺し屋だということはすぐに発覚するわけではなく、「そんなばかな」「もしかして」とお互いを疑うところから始まり、見ている人をととてもやきもきさせる。しかしそこがまたおもしろい。特に、お互いの家業がほぼ発覚した後に初めて二人が顔を合わせるキッチンでのシーンはよくできている。二人はいつもと同じように接しているのにいつもと違うのは互いが殺し屋だとほぼ確信していることで、いつ爆発するかわからないようなそんな殺気がひしひしと感じられる。まさに嵐の前の静けさである。

III. 殺し屋同士のケンカ

一度けんかが始まると、その方面ではプロ同士の二人なので相手を負かすための手段を選ばない。二人とも一撃必殺の本気の殺し合いである。しかし、それらはすべて言ってしまうとただの夫婦ケンカなのである。そう思いながら見ていると、二人の格闘シーンも笑えてしまうのだ。また、そのような中でお互いの存在の大切さに気付いていき、そして二人が殺しあう原因を作った真の黒幕の姿が見えてくるのだ。

『DREAM GIRLS』にみる夢を諦めないことの大切さ

村上 由佳

①Yuka MURAKAMI ②Dream Girls ③2006年 ④130分 ⑤entertainment ⑥ビヨンセ・ノウルズ ジェニファー・ハドソン⑦ビル・コンドン ⑧エンターテイメント映画の至福の傑作、商業主義に埋もれゆく夢、アカデミー賞受賞(当時) ⑩No matter what happens, if you don't abandon your dream, it come true. Also I know that money can't buy dream. Dream is a thing that our effort can get.

あらすじ：1962年のデトロイト。抜群の歌唱力を持ったエフィーをリードボーカルとした、ローレル、ディーナの3人組はオーディションに出場した際に、カーティスという男に目をつけられ、有名なシンガーであるジミー・アーリーのバックコーラスとなる。次第にヒット曲が連発され、やがて3人組はドリームガールズとしてデビューすることになるが、カーティスは商業的意図から、ルックスのいいディーナをリードボーカルにしたほうがいいと考え、エフィーをリードボーカルから降ろしてしまう。愛するカーティスに裏切られたエフィーは意気消沈し、周囲に当り散らす、それがきっかけで反感を買い、グループを脱退させられてしまう。エフィーは愛する人も夢をもすべて失ってしまったが、彼女には歌を愛する強い気持ちが残されていた…。

I. 歌声に魅せられて

わたしがこの作品と出会ったのは、映画のCMを見た際である。短いCMであったが、そこで流れる曲のすばらしさと力強い歌声に魅せられて、この映画をぜひ見てみたいと思った。またキャストを見ると、ビヨンセやエディ・マーフィといった有名な歌手がそろっていたので、彼らがどのような演技をするのかが気になり、この映画に大変興味を持った。

II. 感情を込めた歌と夢を諦めない強い気持ち

この映画では役者それぞれの感情をすべて歌に込めて歌っている。歌詞を見ると、彼らの思っていることがストレートに伝わってきて、心を掴まれる。また、感情の高ぶりを見事に表現した歌声は、本当にすばらしく、感情移入してしまう。そして、金儲けのために夢を奪われたエフィーが、もう一度ステージの上で歌いたいという夢を持って、様々な困難にもくじけず立ち向かっていく姿は、本当に感動し、見る人に勇気を与えるだろう。

III. 当時の黒人が置かれていた状況

この映画をじっくりと見ると、キャストのほとんどが黒人である。そしてストーリーの中でも、黒人である彼らの曲が白人に奪われたり、黒人系ラジオ局でしか扱ってもらえなかったりというシーンが出てくる。このようなシーンからは当時の黒人が弱い立場に置かれていたことがよく分かる。しかし、ドリームガールズのすばらしい曲に白人たちも魅せられて行くというストーリー展開から、人種なんて関係ない！といったメッセージが含まれているように感じた。この映画は、人種差別反対を訴えている映画でもあるように思う。

『クレマー・クレマー』にみる家族の絆

辻井 美奈

①Mina TSUJII ②Kramer vs. Kramer ③1979年 ④105分 ⑤ヒューマンドラマ ⑥ダスティン・ホフマン、メリル・ストリープ ⑦ロバート・ベントン ⑨アカデミー賞主要5部門→受賞、家族の絆、男女の労働観の差 ⑩I felt the families love because I saw this movie. I want to make a happy family in the future.

あらすじ：夫が仕事で決定的な成功を手に入れようとしている時、妻は突然「自分を取り戻す」と言って家を出ていってしまう。残された夫は、7才になる息子と二人で暮らすことになる。今まで家事などやったことのない夫は、失敗の連続。仕事は、息子の存在が邪魔になってだめになってしまう。しかし、やがて息子との間に今まで以上の愛情が生まれるようになる。だが、そこに妻が再び現れ、息子を引き取ると言ってくる…。

この映画を通して、強く感じたことは家族はいつでもひとつであるということである。夫がいやになり、自分を取り戻すために家を出た妻、残された夫と子ども。夫と子どもは最初、フレンチトーストもうまく作れない。しかし、最後には二人で協力して作る。そのシーンには二人での生活、親子の愛、絆、すべてが映し出されているようにみえた。

子どもを愛しているのに家を出て行く決心をした妻は、とても勇気のいる行動をした。この家を出て行くということに関して、男女では見方や考え方が違うのではないだろうか。仕事を一番に考えるのか、家族のことも考えて欲しいと思うのか。いつもだれかの妻であり、母親であり、娘であり、本当の自分がわからなくなるのは、いつの時代でもかわらず永遠の問題である。このテーマを表していることで、この作品が色あせず、どの年代にも受け入れられると感じた。また、観ていてあきない構成になっていて、とても観やすい作品だった。

『シックス・センス』～心の傷からの回復～

小松 真之

①Masayuki KOMATSU②The Sixth Sense③1999年④110分⑤新感覚スリラー⑥ハーレイ・ジョエル・オスメント、ブルース・ウィリス⑦M・ナイト・シャマラン⑧未知の世界、第六感⑩I was made to cry for the first time by the horror movie. Watching only once is not enough to understand this movie.

あらすじ：全米で最古の町並みを残す古都、フィラデルフィア。気鋭の小児精神科医のマルコム・クロウは、卓越した技量と自身によって多くの子どもの心を癒してきた。一人を救うことが出来ずに死なせてしまうまでは、その「事故」があつてからというもの彼はすっかり自信を失い、最愛に妻との会話もなくなり、もはやかつての自分ではなくなっていた。そんな時彼は一人の少年と出逢う。コール・シアー、8才。母親と二人暮らしの少年は、常に何かに怯え、深く心を閉ざしていた。彼はなんとか少年の心を開こうと必死に努力を重ねる。そして、自分の弱さをさらけ出して少年に向き合ったとき、少年は「孤独」の内に秘めた、ある秘密を打ち明ける。

I. 『シックス・センス』との出会い

私がこの作品を初めて見たのは、家でテレビを見ていて適当にチャンネルを変えていたときだった。最初は作品のタイトルすら知らず、あまり見る気も無かった。でもそのときは、ほかに見たい番組も無かったので、暇つぶしぐらいにはなるかなと思ってなんとなく見ていた。しかし、だんだんと話が展開してくると暇つぶしに見ようと思っていたことを忘れ夢中でこの作品を見ていた。

II. 珍しいタイプのホラー

この作品は派手な視覚効果や音響効果で見ているものを圧倒するような「アメリカ」らしいタイプの映画ではない。ホラー映画なのに見終わってみると自分が泣いていることに驚いてしまう。

そして映画の冒頭には、「この映画のストーリーには“ある秘密”があります。これから映画をご覧になる皆様は、その秘密をまだご覧になっていないお友だちやご家族に、決してお話にならないようにお願いします。」というメッセージが流れる。このメッセージが意味するようにこの映画には多くの“謎”が含まれている。おそらくこの映画の中に出てくる“謎”は、映画を一度見ただけではほとんど解決することは無いと思われる。一度見ただけでは、「えっ！」と言ったきり呆然としてしまうことは間違いない。そのために、二度三度とこの映画を見ることをお勧めしたい。

また、この映画はホラー作品という位置づけなのに泣けるのである。だがただ単にこの作品を見ているだけでは泣けない。ハーレイ・ジョエル・オスメント扮するコールの背後にある“謎”のことやコールだけに見えてしまう物の“謎”を感じ取ったときに、初めて泣けるホラー映画となるのである。

III. 心の傷の苦悩とそこからの回復

人は誰でも、心の傷や人には言いたくも言えない秘密をひとつは持っているものである。これらのことは自分ひとりで解決することは、とても難しいものである。しかし、自分にきちんと向き合ってくれる人に、思い切って打ち明けてみることで救われること、誰かにきちんと向き合い救おうとすることで逆に自分が救われること。この映画はそういったことを教えてくれる映画だと思う。

『BIG FISH』の世界

大野 恵実

①Emi ONO ②BIG FISH ③2004年 ④125分 ⑤fantasy ⑥ユアン・マクレガー ⑦ティム・バートン ⑧ダニエル・ウォレス：ビッグ・フィッシュ ⑨父と息子のものがたり ⑩父と息子の関係 愛 幻想的な映像 ⑩The fantastic world made me happy.

あらすじ：自分の人生の思い出話をまるでおとぎ話のように人々に語る父、エドワード。人々を幸せな気分にするその話をおとなになった息子ウィルは好きになれなかった。疎遠になった父と息子の関係であったが、ある日母親からウィルのもとに父親の具合がよくないとの電話がはいる。

I. 見るものを惹きつけるファンタジーの世界

私がこの作品を知ったのはテレビでやっていた予告編だった。まるで不思議の国を連想させる映像の数々。その優しい雰囲気一気に惹きつけられた。

II. 映画の魅力

物語は病気で弱っていく父とその家族との関係を軸に、父自身が語った若き日のエドワードの人生をおりませながら展開していく。父の話すエピソードの一つひとつが印象的である。中でも一番のお気に入り、エドワードがさまざまな手をつくして妻となる女性にプロポーズする場面である。特に一面の水仙は二人を最高に幸せにしてくれる。物語自体は父の死という重くなりがちな内容をふくんでいるが全く暗くはならず、むしろ父の残した温かい思い出により優しい気持ちになれるだろう。

III. 大切なのは…

息子のウィルは父親の本当の姿を知りたいと真実だけを求めようとする。しかし、父親やその周囲と向き合っていくうちに、本当に大切なのは事実を知ることではないと気付いていく。自分の気持ちに正直に生き、妻を一番に愛し、みんなを幸せな気分にする、それが父の姿である。最後の父と息子とのシーンが感動です。

『ティム・バートンのコープス・ブライド』—哀しくも惹かれる—

坂東 琢磨

①Takuma BANDO ②Tim Burton`s Corpse Bride ③2005年 ④76分 ⑤ストップモーション・アニメーション ⑥Johnny Depp Helena Bonham Carter ⑦Tim Burton ⑧ジョン・オーガスト ⑨朽ちた肉体に宿る汚れなき想い ⑩This movie is a tragic but beautiful story. There is no doubt that you will be really taken with this work.

あらすじ：舞台は19世紀のヨーロッパにある小さな村。成金の金持ちだが魚屋で品格のないヴァン・ドート夫妻の息子ヴィクター（声：ジョニー・デップ）は、貧乏だが貴族であるエバーグロット夫妻の娘ヴィクトリア（声：エミリー・ワトソン）との結婚が親同士の政略により勝手に決められていた。お互い、逢ったこともない人と結婚することを不安がってはいたが、結婚式の前日、式のリハーサルのために初めて対面するとまんざらでもない様子 of 二人。しかしドジなヴィクターは緊張の余り、リハーサルで失敗をしてしまう。怒った牧師に「台詞を覚えるまで結婚は延期」と言われ落ちこんでしまうヴィクターだった。彼は一人、夜の森で結婚式の練習をする。すると、すらすらと結婚の誓いの台詞が言えたではないか。調子に乗ったヴィクターはその辺に突き出ている枝を花嫁ヴィクトリアの指に見たて、指輪をそこへはめる。しかしその行動が一大事を引き起こす。枝だと思っていたのは“コープス・ブライド”（死体の花嫁）の指だった。結婚の誓いをされたと勘違いしたコープス・ブライド（声：ヘレナ・ボナム＝カーター）はヴィクターを花婿と信じこみ、彼を地中にある”死者の世界”に連れていってしまう。しかし、死者の世界はヴィクターがいた村とは大違い。にぎやかに歌うガイコツ、24時間営業のパブ。ヴィクターは死者の世界に魅せられてしまう。

I. はじめに

私がこの作品を出会ったのは、観ようと思ったのは、監督であるティム・バートンの作品を以前に観たことがあったからだ。こちらは有名になっているので知る人も多いだろう、そう、『The Nightmare Before Christmas』である。少し恐ろしいながらも、哀しく、人間味溢れるティムの人形たちに私は魅了されていた。そして今作にも…。

Ⅱ. 哀愁漂う魅力的なキャラクター達

今作『Tim Burton's Corpse Bride』に登場するキャラクター達は全てストップモーション・アニメーションという技法で描かれている。これは静止している物体を1コマ毎に少しずつ動かしカメラで撮影し、あたかもそれ自身が連続して動いているかのように見せる映画の撮影技術である。1～2秒を撮影するのに12時間程を要することもあったという話を聞き及んでいる。だがその甲斐あってか、登場人物全てが画面中で躍動している。踊る骸骨に、はしゃぐ芋虫。だがそんな奇怪なキャラクター達にもどこか哀愁を感じさせられる。彼の描くキャラクター達は どうしてこうもおかしくも哀しいのだろうか。ストーリーもさることながら、細かく描かれ続けられるキャラクター達に惹きこまれていく作品である。

Ⅲ. テーマは「愛」

主人公であるヴィクターは親の取り決めた結婚に思い悩んでいた。未だ見知らぬ人と結婚するなんて…。しかし結婚前日出会った二人は次第に惹かれ合っていく。だが、思わぬ事態に引き裂かれる二人。二人の想いは？そして死者の世界で芽生えていく「愛」。三角関係のセオリーを越えて三人とも幸せになってほしいと願わずにはいられない作品。「花嫁はどんな時でも、真実の愛と、永遠の誓いを待っている…。」ぜひご観賞あれ。

『スウィーニー・トッド／フリート街の悪魔の理髪師』その映像美

田川 穂高

①Hodaka TAGAWA ②SweeneyTodd／The Demon Barber of Fleet Street ③2008年 ④117分 ⑤musical, horror ⑥ジョニー・デップ ⑦ティム・バートン ⑧スティーヴン・ソンドハイム ⑨トニー賞受賞(当時), 復讐, 血 ⑩ I feel brightness of blood and horror of vengeance. Screen image is so beautiful. Please see this movie.

あらすじ：19世紀ロンドン。ベンジャミン・バーカーは理髪店を営んでいたが、悪徳判事タービンの陰謀により無実の罪を着せられ投獄されてしまう。15年後脱獄を果たし、スウィーニー・トッドと名前を変えてフリート街に戻ってきたバーカーは、妻と娘の悲惨な運命を耳にする。そして再びフリート街に理髪店を開き、鋭利に研ぎ澄まされた剃刀を手にした恐ろしい復讐を始める。

I. この映画との出会い

ある日、近所のレンタルショップに足を運んだときのことである。特にどの映画を借りようとしていたわけではないが、パッケージの画像の綺麗さに惹かれて思わずこの作品を手にとっていた。そして帰宅後すぐに鑑賞してみた。

II. 見所

この映画の見所としては、常に気を抜くことの出来ない緊張感、見る者をその世界に引き込む独特の映像美、そして登場人物がその高揚した心情を、ミュージカル風に自ら歌で表し、聴覚からも楽しむことができ、常に飽きさせないという点などがある。

スウィーニー・トッドが剃刀を片手に、客の背後に廻るときは大変はらはらとさせられ、又、その剃刀によって殺人が犯されたときに喉元から噴き出す鮮血には、目を覆いたくなる反面、トッドの歌にも表されている様に、赤いルビーのような美しさも伺えた。

凄惨なシーンを際立たせるようにフリート街の空は常に曇り、トッドの表情にも暗雲がたれ込んでいるようである。しかし、暗いシーンばかりではなく明るい色調のシーンもあり、その点でも飽きさせられることはない。が、やはりその明るいシーンにもどこか違和感があるのだ。その点に関しては是非直接この作品を見て確認して頂きたい。

III. 全体を振り返って

どのシーンも刺激的で大変強く印象に残っているのだが、その中でも特に印象深い場面は、やはりいよいよ復讐がなされるという場面である。トッドの憎しみのこもった攻撃とその表情に思わず息を呑んでしまった。

復讐と血の一色では少々最後まで見づらくなっていたであろうが、この作品には、愛も描かれている。船乗りがトッドの娘であるジョアナを救い出そうと奮起するのも愛によるものであるが、私は、トッドの復讐も、愛が恐ろしい魔物に姿を変えたものであると感じている。愛がなければ復讐は起こりえないと思うのだ。

IV. 一口メモ

今作品、主役を演じたジョニー・デップは自分の血を見るのも苦手である。この作品の象徴とも言える血との戦いが、ジョニーには課せられていたのだ。

『チャーリーとチョコレート工場』とお菓子の世界

吉田 知美

①Tomomi YOSHIDA ②Charlie and the Chocolate Factory ③2005 ④115分 ⑤
Comedy, Fantasy, Family ⑥Johnny Depp ⑦Tim Burton ⑧Roald Dahl, Charlie and the
Chocolate Factory ⑨お菓子の世界, ロアルド・ダールの児童書, 現代の子供 ⑩We can see the
world of sweets that we used to dream when we were children. This movie can be enjoyed
by people of all ages.

あらすじ: 貧しいながらも家族と幸せに暮らしている男の子チャーリー。彼の町には世界でも有名なお菓子職人ウィリー・ウォンカの大きなチョコレート工場がある。ある日ウィリー・ウォンカは世界中に「板チョコの中に5枚だけ金色の券が入っていて、当たった人には工場の見学を許可する」と発表した。なんとチャーリーは幸運にも金色の券を手に入れることができた。今、ベールにつつまれていたチョコレート工場の扉が開く。ジョニー・デップ主演、ティム・バートン監督の全世界注目の作品

I. 夢のお菓子工場との出会い

私が「チャーリーとチョコレート工場」の原作を読んだのは小学生の時だった。お気に入りの本の一つで、読むたびに主人公やチョコレート工場を思い浮かべていた。それから何年もたったある日映画化されることを知った。思い描いていたチョコレート工場が映像になったときの感動は大きかった。イメージに思い描いていた以上に楽しく、スクリーンには夢のお菓子工場が広がっていた。チョコレート工場の従業員ウンパルンパ達が歌を歌うシーンや、子供たち、その親たちのキャラクターもおもしろおかしくアレンジされていて私は映画の世界にひきこまれていった。

II. 五人の子供たち

この物語は、お菓子の工場だけではなく五人の子どもたちにもスポットを当てて見るととても面白い。オーガスタスは太っちゃいでいじわるな男の子、毎日チョコレートばかり食べている。母親は過保護。ヴァイオレットはガム好きでひねくれもの、勝つことに執着している似た者親子。ベルーカは何でも欲しがらるわがまま娘、父親は何でも言うことを聞いてやる。マイクは理屈ばかり並べるコンピューター少年、父親はなめられている。そして、チャーリーはとても貧しいが優しい男の子、おじいちゃんとはとても仲良し。そんな現代っ子たちが工場見学を通してどうなっていくのか、というストーリーが興味深い。

III. 家族の愛

原作と違うシーンが最後の章にある。それはウィリー・ウォンカの過去について語られるということである。私はとてもその場面が気に入っている。ウィリー・ウォンカは歯科医である父親のもとを飛び出してお菓子職人になったため、父親とは何年も会わず一人で暮らしてきた。ところが、チャーリーに出会い家族の「愛」を知ることになる。色々なテーマが含まれているこの映画は、ただ面白いだけではなく何だかあたたかい気持ちになれる。

『チャーリーとチョコレート工場』～家族の絆～

小原 響海

①Kyomi KOBARA ②Charlie and the Chocolate Factory ③2005年 ④115分 ⑤ファンタジー・コメディ ⑥フレディ・ハイモア(Freddie Highmore)⑦ティモシー・ウィリアム・バートン(Timothy William Burton) ⑧ロアルド・ダール(Roald Dahl):『チョコレート工場の秘密』⑨family love ⑩I think that they do not get bored even if the song and dance of Oompa Loompa which come out in some scenes are very interesting and it sees them how many times.

あらすじ：ウォンカのお菓子は世界中で大人気。しかしその工場の中は一切が謎。ある日ウォンカは「ウォンカのチョコレートの中に同封された世界に5枚だけある金色のチケットを引き当てた子どもは、家族を一人同伴で工場を見学することができ、そのうちの一人にはすばらしい副賞がつく」という告知を出した。世界中が大騒ぎとなる中、チャーリーと個性の強い4人の子が運良くチケットを引き当てた。彼らはウォンカに案内され、工場の中で不思議な体験をしていく。しかしさまざまなハプニングが起き、子どもたちは次々と消えていく…。

I. 『チャーリーとチョコレート工場』との出会い

『チャーリーとチョコレート工場』はパイレーツ・オブ・カリビアンやシザーハンズなどで主演をしていたジョニー・デップがでていて、また子どもが活躍する映画で、題名やCMからも楽しそうなイメージがあったのでこの映画を見たいと思いました。見てみて、やっぱりおもしろかったし、何回見ても飽きないなと思いました。

II. 求めすぎないことの大切さ

「多くを求めず、正直であること。幸せは近くにある」というのが、この物語が伝えたかったことのようにです。食いしん坊で肥満のオーガスタスはチョコレートの川に飛び込み自分もチョコレートにされ、いつもガムを噛んでいて勝つことにこだわりすぎているバイオレットは新しく開発されたガムを注意も聞かずに噛み続け副作用で自身もガムようになってしまい、お金持ちでわがままなベルーカはくるみ割りのリスを欲しがりそのリスたちによって焼却炉に捨てられ、テレビ好きで反抗的なマイクは自分からテレビの中に入りそのときの小さくなったサイズのままになってしまった、そして家は貧しいが家族思いの心優しいチャーリーは最後まで残り、ウォンカと一緒にチョコレート工場を運営できるという権利を獲得した。チャーリーは多くを求めず、正直で、さらにすぐ近くにある家族の絆という幸せを大切にしていた。だからウォンカにも認められ、さらにウォンカをウォンカの父と仲直りさせることにも成功した。この映画を見て、近くにある幸せに気づき、もっと大切にすることの大事さ、そして家族の大切さを学びました。

III. 聞いたら頭から離れない歌

『チャーリーとチョコレート工場』のなかには聞いたら頭から離れない歌がいくつかありました。ウォンカの登場のシーンにある人情たちが踊っている時に流れる歌、子どもたちがハプニングに巻き込まれたときにウンパ・ルンパたちが子どもたちをバカにして踊りながら歌っている歌、怖いような気もするが、曲調がおもしろく、聞いたら忘れられないし、何度聞いても飽きないような歌です。

『The Nightmare Before Christmas』

辻田 健一

①Kenichi TSUJITA ②The Nightmare Before Christmas ③1994年 ④76分 ⑤musical animation ⑦ヘンリー・セリック ⑧ティム・バートン ⑨ホラー、ラブストーリー、夢 ⑩Important things are beside you. And loving people is beside you.

あらすじ：『ハロウィン・タウン』の住人達は怖いことや、人を驚かせることが大好き。その日は『ハロウィン』当日、住人達は大盛り上がり。だが、『ハロウィン・タウン』の王、ジャック・スケリントンは、毎年毎年同じことの繰り返しでしかない『ハロウィン』に虚しさを感じていた。そんな時、ジャックは森の奥で不思議な扉の付いた木を見つける。その一つを開いてみると、恐怖と悪夢に満ちた『ハロウィン・タウン』とは全く違う、陽気で明るい『クリスマス・タウン』の別世界が広がっていた。初めて見る美しい雪景色の中、色鮮やかな電飾で飾られた街全体が祝う『クリスマス』に心を奪われたジャックは、自分達の力で『クリスマス』を作り出そうと計画を立てる。そんな中、ジャックに密かに想いを寄せるサリーは、何か悪いことが起きるのではないかという予感にとらわれていた。サリーの心配を他所に、『クリスマス』の準備は着々と進んでいく。だが、ジャックも住人達も本当の『クリスマス』というものが理解出来ずに、事態はどんどんおかしな方向へと転がって行く…。

I. これでもディズニーか！

ディズニーといえば、おとぎの国の世界のそのものがイメージされ、夢と希望に満ち子供たちを楽しませる趣向がいたるところに織り交ぜられ、華やかなる作品が連想される。しかし、このナイトメア・ビフォア・クリスマスに登場するキャラクターたちはどうしたことだろう。外見はおぞましく、まさしくホラー。どのような華やかさも持ち合わせていない。だが、作品を見ると「なるほどディズニーの作品である。」と納得させられる。

II. ジャックの魅力

主人公のジャックにこれほどまで魅かれてしまうのはなぜだろう。外見の格好良さ？もちろんそれもあるだろう。ジャックのキャラクターをデザインした人は、抜群のセンスを持ち合わせているにちがいない。しかしそれ以上に、ジャックの内面、悩み、性格まですべてが魅力的なことだろう。そしてそれが見事なまでに表現されている。これがないとこの作品は、単なる骸骨操り人形の喜劇で終わってしまう。

III. ラストシーンが頭から・・・

離れない！！ 月をバックにしたジャックとサリーの手を取り合う姿。不気味なはずなんだ。骸骨とつぎはぎの死体のツーショットなんて・・・それがこんなにも、美しい！！

目と耳で観る映画『サウンド・オブ・ミュージック』

中西 咲子

①Sakiko NAKANISHI ②The Sound of Music ③1965年 ④174分 ⑤ミュージカル映画 ⑥Julie Andrews (マリア) Christopher Plummer (トッラップ大佐) ⑦Robert Wise ⑧マリア・フォン・トラップ：トッラップ・ファミリー合唱団物語 ⑨歌 ナチス 家族愛 ⑩This movie is not just for watching. It's a work that we can also enjoy listening. And 'magnificent' is the very word to express nature of the Alps.

あらすじ：物語は1938年のオーストリア・チロル地方の町ザルツブルグを舞台としている。第二次世界大戦の中、ナチスに抵抗しながら愛と勇気に生きたトッラップ一家の人間愛のドラマ。ノンバーグ修道院にいるマリアは山へ行って歌うのが大好きという自由奔放さで先輩の修道女たちを困らせていた。修道院長の計らいでマリアは裕福で貴族的なトラップ大佐の7人の子供たちの家庭教師となり、すぐに子供たちに溶け込んだマリアは数々の歌を子供たちに教える。トッラップ大佐は貴婦人のエルザと婚約していたのにもかかわらず、やがてマリアを愛し結婚することとなる。ところが彼らの幸せはドイツのオーストリア侵略によって断ち切られる。アマチュア・コンサートで優勝し、最後の曲を歌い上げたトラップ一家はアルプスを越えて安全なスイスに亡命する…

ミュージカルから生まれたということもありこの作品は歌にあふれている。ひとつひとつの歌は登場人物の気持ちや場面を表しており、見ている者に視覚と聴覚の両面から物語を伝えている。ここでその映画中に出てくる歌を紹介したいと思う。

I. The Sound of Music (サウンド・オブ・ミュージック)

マリアが自然の素晴らしさを歌に託して歌う。映画ではアルプスの山々の遠景から、丘の上でこの曲を歌うマリアへズームしていく、名オープニング・シーンとなっている。

II. Maria (マリア)

マリアの性格を修道女たちがからかう。結婚式の場面でもこの曲が使われる。

III. Sixteen Going on Seventeen (もうすぐ17歳)

恋を語る二重唱。はじめはリーズルとロルフ、2回目はリーズルとマリア。

IV. My Favorite Things (私のお気に入り)

映画では雷を怖がる子どもたちを「楽しいことを考えて」とマリアが励ますシーンで使われる。

V. Do-Re-Mi (ドレミの歌)

映画ではマリアが子供たちに歌を教えるときの歌。英語による原詩をそのまま日本語に訳すと長くなりすぎ、曲に入りきらないため原詩から離れオリジナルの日本語詞をペギー葉山が創作した。ちなみに、「シ」は英語で「ティ」と発音されることが一般なので、原詩では tea(紅茶)に掛けている。

VI. Lonely Goatherd (ひとりぼっちの羊飼)

映画では子供たちが人形劇をするときの歌。

VII. So Long, Farewell (さようなら、ごきげんよう)

パーティーで子供たちが大人に就寝のあいさつをする。コンクールの場面でも歌われる。

VIII. Climb Ev'ry mountain (すべての山に登れ)

マリアを修道長が励ます。

IX. Edelweiss (エーデルワイス)

エーデルワイスの小さな白い花がもつ永遠の命を讃え、祖国を見守るようにと願う歌。

とくに(ドレミの歌)や(エーデルワイス)などの歌はたいていの人が一度は歌ったことや聞いたことのある親しみのある歌であるはず。私自身も映画よりも先に歌と出会っていた。自分がもともと知っている歌がこのような気持ちを表わしているのか、こういった意図で使用されていたのかなど、新たな発見がありそしてそのメロディーの美しさに心が躍る。物語の内容においては実際にあったナチス・ドイツのオーストリア併合を舞台として作られており、当時の時代背景を伺い知ると同時に、その中で生きた人々の思い、愛の強さ大切さを見ることができる。

私はこの映画を見てからサウンド・オブ・ミュージックファンになり、ミュージカルも鑑賞しに行ったほどである。どこかで聞いたことのある歌が流れるので一緒に口ずさむことができ、あきることはない。目と耳で楽しめるこの作品を音楽好きな人はもちろん、たくさんの人に一度は見てもらいたい。

『サウンド・オブ・ミュージック』に学ぶ本当の強さ

橋本 真由子

① Mayuko HASHIMOTO ② The Sound of Music ③ 1965年 ④ 174分 ⑤ musical film ⑥ ジュリー・アンドリュース、クリストファー・プラマー ⑦ ロバート・ワイズ ⑧ マリア・フォン・トラップ「トラップ・ファミリー合唱団物語」 ⑨ アカデミー賞受賞、ミュージカル映画の最高傑作 ⑩ I learn you can overcome difficulties as long as you enjoy your life.

あらすじ：同じ題名のミュージカルを原作として制作された映画。映画の中に登場するさまざまな曲が魅力的である。数年前に妻を亡くしたトラップ大佐の7人の子供の家庭教師をすることとなったのが主人公のマリア。おてんばなマリアは快活な子供たちとすぐに打ち解け、トラップ大佐とマリアは互いにそれと気付かず惹かれあっていく。幸せな結婚をした大佐とマリアだったが、ナチスの色が濃くなるザルツブルクに時代の大きな波を感じ取り家族はスイスへと亡命する。

I. 『サウンド オブ ミュージック』との出会い

私がこの映画と出会ったのは小学生の頃であったと思う。かの有名な「ドレミのうた」など劇中に登場する歌はどれも楽しく、かわいらしく、いきいきとしていて、とても爽やかな気分になったような記憶がある。

II. 常に明るく生きようとする主人公のひたむきな姿

この主人公マリアはとにかく明るい！第二次世界大戦の前夜という設定ながらも、物語全体に爽やかな雰囲気漂っているのは、マリアがどんな困難に直面しようとも人生を楽しむことを忘れないからであろう。そんなマリアの生き方に周りの人々も影響され、固く閉ざされた心も歌によって徐々に開かれていく。歌がもつパワーの改めて気付かせてくれる映画である。スイスへと亡命する途中で物語り終わっているのもその後のストーリーを各個人に自由に想像させてくれている。

III. 本当の強さとは・・・

あらためてこの映画を見かえしてみて、登場する子供たちの成長もテーマになっているということを感じることができた。子供が好きな人にもぜひ見てほしいと思う。そして、どんなに苦しいことがあっても自ら歌を歌い、自らを励まして困難を乗り越えていくマリアの姿に、他人に頼るのではなく自分で自分を励ましていけることこそが本当の強さなのではないかということを感じた。

『サウンド・オブ・ミュージック』

～美しき自然と音楽と家族愛～』

松田 祥子

①Shoko MATSUDA ②The Sound of Music ③1965年 ④176分 ⑤ミュージカル ⑥ジュリー・アンドリュース（メリーポピンズでアカデミー賞受賞）/ クリストファー・プラマー（王になろうとした男） ⑦ロバート・ワイズ（ウエスト・サイド物語） ⑧不朽の名作・家族愛・music ⑩A sister brings back love, laugh and music to the family again. This movie reminds you of love.

あらすじ：マリアは修道女見習い。おてんばでいつも他の修道女からたしなめられている。そんな彼女は、ある日院長から軍人を引退したトラップ大佐の7人の子どもの家庭教師をするようすすめられる。最初はやんちゃな子どもたちと厳格なトラップ大佐に手を焼くマリアだが、音楽を通して家庭に笑顔と愛を取り戻す。大佐とマリアの結婚によって幸せに包まれるトラップ一家。しかし幸せもつかの間、ナチスがオーストリアを併合してしまう。反ナチス派の大佐に対し、召集令状を突きつける軍。愛する子ども達のため、そして自分達の幸せを逃さないため、二人は国境越えを決意するのだが・・・。

小学生のわたしと高校生のわたし

私が最初にこの映画を観たのは小学生のときです。たしか、母がレンタルショップで同じくジュリー・アンドリュース主演の「メリーポピンズ」と一緒に借りてきてくれたと思います。そのときに観た感想は、単に「とてもきれいな景色だ！」とか、「素敵な曲が多い映画だな」、「自分と同じ年の子が映画に出てすごいな。」といったものでした。私がふたたびサウンド・オブ・ミュージックを見たのは高校のLLの時間です。この年になると、以前みたときより多くの情報を知っているので、日本ではみることができないようなオーストリアの自然に心底感激し、また、この映画はわたしたちが知っている非常に多くの名曲を生み出したことがわかりました。それだけではなく、この映画がただ楽しいミュージカルではなく、ナチス、戦争、亡命といった深い内容も含んでいることを感じられるようになりました。

サウンド・オブ・ミュージックは非常に多くの名シーンが存在すると考える。そんな中からわたしの印象に残っているシーンを、順を追って紹介します。

1. リーズルとロルフの庭のシーン

幻想的な庭園で、トラップ大差の長女リーズルと郵便配達員のロルフが、幸せな時間を過ごす。このときに二人が歌う「♪Sexteen Going on Seventeen」はCMなどでも

聞いたことがあるでしょう。この曲は実はサウンド・オブ・ミュージックから生まれたものなのです。

2. マリアが子どもたちに音楽の基本、「Do Re Me」教えるシーン。これから親子になるマリアと子どもたちが明るいうたの「♪ドレミのうた」を歌うシーンです。ここでは、主演女優のジュリー・アンドリュースのギター弾き語りをきくことができます。ちなみ終盤のマリアの高音部はジュリーのアドリブです。

3. いろいろある！！

4. 家族が軍の監視をすりぬけて、コンクール会場から亡命する祭、シスターたちが軍の車の部品をこっそりはずし、こっそりとほほえんでいるシーン。

戦争という重い内容も、ユーモアに満ち溢れているからみやすい。シスターがこんなことをするというギャップが非常におもしろかったです。

サウンド・オブ・ミュージックの music

サウンド・オブ・ミュージックは多くの名曲を生み出しています。先ほど上げた、「♪Sexteen Going on Seventeen」、「ドレミの歌」、他にはテーマソングである「♪サウンド・オブ・ミュージック」も有名ですし、スイスの国家である「エーデルワイス」もこの映画で歌われています。

このほかに、それほど有名でなくても、かわいらしい曲が多くあります。たとえば「♪The Lonely Goatherd」。やぎに似せた声で、歌いながら人形劇しているのが活気に溢れていて素敵でした。あとは、「So Long, Farewell」で、末っ子が最後の歌詞を歌う時に、ちゃんとねむそうな演技をしているところがかわいらしいです。

最後に

サウンド・オブ・ミュージックはストーリー・音楽・映像ともに非常にすぐれた作品です。不朽の名作とよべるでしょう。

また、マリアとトラップ大佐の当初の教育の仕方を見て、これから教育をしようというわたしたちが何を大切にすべきかを学べます。

この映画は、わたしを楽しませると同時に、将来の教科書としても生かせると信じています。

『オペラ座の怪人』から学ぶ、愛することの意味

仁井戸 歩

①Ayumi NIIDO ②THE PHANTOM OF THE OPERA ③1925年 ④143分 ⑤Love Story
⑥ジェラルド・バトラー、エミー・ロッサム ⑦ジョエル・シュマッカー ⑧ガストン・ルルー ⑨アンドリュー・ロイド・ウェバー版のミュージカルをベースにした作品 ⑩I learn true love is forever.

あらすじ：19世紀末のパリ、オペラ座の若手女優クリスティーヌは、自分の楽屋の裏から聞こえる『天使の声』の指導で歌唱力を付け頭角を現すが、オペラ座には謎の怪人が住み着いており、月給2万フランと5番ボックス席の常時確保などを支配人に要求していた。クリスティーヌの恋人ラウル子爵は天使の声の主に嫉妬し謎を解こうとするが、その主こそ『怪人』であり、オペラ座の地下に広がる広大な水路の空間に住み着いた男エリックであった。エリックは生来の醜悪な人相に壊死した皮膚を持つ、見るもおぞましい異形の男であったが、投げ縄や奇術の天才であり、クリスティーヌに恋をしていた。エリックは遂にクリスティーヌを誘拐してオペラ座の地下深く消え、残されたラウルは謎のペルシャ人・ダログと共にクリスを追ってオペラ座の地下へ潜入する。

I. 『オペラ座の怪人』の思い出

高校3年生の冬、私は失恋を経験する。今思い出しても精神的に辛い毎日を過ごしていた。そんなとき出会ったのが『オペラ座の怪人』だった。失恋をしたばかりの私は、気付かぬうちにファントムに感情輸入していた。今でも『オペラ座の怪人』を見ると、そのときの気持ちが蘇る。

II. ミュージカルを通して感じる愛の意味

オペラ座の怪人は様々な立場に立って見る事が出来る。愛する側、愛される側、そして愛されぬ側。その様々な立場の気持ちが、ミュージカルにより伝えられる。それぞれの立場で歌われる歌には気持ちがはっきりと表れており、いつの間にか自分が映画の中にいるような気持ちになる。

III. 愛すること

クリスティーヌを愛するファントムと、ラウルを愛するクリスティーヌ。クリスティーヌと一緒にいたいという気持ちを抑え、愛するクリスティーヌの幸せを願うファントム。一緒にいることはできなくても、ファントムはクリスティーヌを一生愛していたことを知ったとき、胸がとても熱くなった。本当に人を愛することとは、相手の幸せを願うことだ、ということはこの映画を通して改めて実感した。

『オペラ座の怪人』を通して ～真実の愛とは何か～

増田 陽子

①Yoko MASUDA ②The Phantom of the Opera ③2004年 ④143分 ⑤ミュージカル ⑥ジェラルド・バトラー エミー・ロッサム ⑦ジョエル・シュマッカー ⑧ガストン・ルルー ⑨音楽と愛 ⑩I thought that nothing is as important as love.

あらすじ：映画の舞台はパリ、1980年代のオペラ座。この劇場に住む謎の怪人=ファントムによって、数々の奇怪な現象が続いていた。リハーサル中の事故により主役：カルロッタの替わりとして、コーラスガールでしかなかったクリスティーヌが代役として歌うことに。彼女は顔も名前も知らずファントムに歌のレッスンを受けていた。初主演のステージで喝采を浴び、またその歌を聞いて一気に虜になってしまうオペラ座のパトロンの若き子爵・ラウル。彼はクリスティーヌの幼馴染であり、この事をきっかけとし、クリスティーヌの心がラウルへと傾いていく。その後クリスティーヌを想う余りにファントムの常軌を逸した行動がエスカレートしついに殺人が起こる。ファントムを「音楽の天使」として歌の師、もしくは父に近い存在として慕うクリスティーヌはラウルを想いつつもファントムを見捨てきれないでいる。そして…。

I 『オペラ座の怪人との出会い』

私が初めてこの映画を観たのは高校三年生のときの音楽の授業の時でした。音楽の先生は「この映画で流れる音楽は素晴らしく、歌っている人の声がとてもきれいだから皆さん楽しんで見てください」とおっしゃった。今までミュージカルなど見たことのない私は、この映画を見て、ミュージカルの豪華さに圧倒されてしまいました。この映画では音楽だけでなく、この時代の貴族の服装など時代背景もわかりやすく描かれていたので、見ながら歴史を体感することができました。

II オペラ座の中で描かれている愛とは・・・

『オペラ座の怪人』の映画の中では3人の人物による愛憎も描かれています。生まれた時から顔が醜いために愛されることを知らないオペラ座の謎の住人ファントム、「天使の声」を持つ正体不明の人からレッスンを受け、美声を持つ美しい女性クリスティーヌ、クリスティーヌの幼馴染のラウル。ファントム、ラウルはクリスティーヌを愛し、クリスティーヌはこの2人の間で揺れ動く。この映画でファントムは自分の醜い顔にコンプレックスを持っているため愛し方を知らず、映画最後ではクリスティーヌをオペラ座の地下へ誘拐し、ラウルを殺そうとする。しかし、最後にこんな自分を選んでくれたクリスティーヌの幸せを願うがゆえに、彼女をラウルとともに地上へ返すのである。このシーンから、自分の気持ちを押し付けるのではなく、愛する人の幸せを願うことが真実の愛ではないかと感じました。

III この作品の見所

この映画はミュージカルの舞台だけでなく、会話の途中にも歌がたくさんでできます。しかも歌は吹き替えではなく本当に役者の人が歌っています。信じられないほどの声の綺麗さにビックリすると思います。この映画の中で一番注目される道具はオペラ座の中にある大きなシャンデリアです。このシャンデリアは1億2千万の費用をかけて作られたもので、シャンデリアが落下するシーンは一発撮りだそうです。またダンスの優雅さなども見どころの1つです！この壮大なスケールで撮影された『オペラ座の怪人』を是非見てください。

『RENT』の中のアメリカ

中尾 慎吾

①Shingo NAKAO ②RENT ③2006年 ④135分 ⑤musical, love story ⑥アンソニー・ラップ、アダム・パスカ ⑦クリス・コロンバス ⑧ジョナサン・ラーツ ⑨みんな生きてる、ミュージカルの中の本当のアメリカ ⑩I watched a true American glimpse by this movie. I knew the importance of living desperately. Even if these several times movies look, I can cry.

あらすじ：1989年のクリスマス映像作家のマークと元ロッカーのロジャーは元ルームメイトでビルのオーナーのベニーから滞納しているレントを払うか立ち退くかを迫られる。そんな彼らを中心に繰り広げられる同性愛、エイズ、麻薬中毒など色々あるが貧しくても楽しい、大好きな人と入れるだけで幸せ、しかし、そんな日々を奪い去る出来事が…

I. 出会い

この映画との出会いは、好きなミュージカルの女優さんがこのミュージカルのファンで、このミュージカルに使われてる曲が大好きで映画も大好きとblogで紹介されていてまず、曲を聴いてみると本当にいい曲で映画も見たくなくてレンタルビデオショップで借りて見たのが出会いだった。

II. ミュージカルゆえの曲の素晴らしさ

ミュージカルが苦手「どうして歌い出すの？」と感じる人も多いだろうしかし、この映画の歌のタイミングや歌詞、心情を考えるとホントに苦手な人でもすぐ頭に入ってくるだろう。そしてこの映画のオープニングで流れる「SEASONS OF LOVE」この歌詞の素晴らしさ、深さ、これから始まる映画への期待度などを高めてくれている。そしてこの映画で使われる曲はロックやジャズなど様々なジャンルが使われている。

III. 見せ場-歌とロマンス-

エイズの魔の手はエンジェルの体力をどんどん奪い去ってゆく、そしてエンジェルの死がきっかけで仲のよかった7人はバラバラになってしまう。ロジャーは一人でメキシコにミミに捧げる曲作りに、そしてロジャーがメキシコから帰ってきたときにはミミが行方不明に…。

『ウエストサイド物語』から見るアメリカの人種問題

大桐 千絵美

①Chiemi OGIRI ②West Side Story ③1961年 ④152分 ⑤Musical & Love Story ⑥Natalie Wood, George Chakiris ⑦Robert Wise, Jerome Robbins ⑧ロミオとジュリエット ⑨1961年アカデミー賞10部門受賞、誰もが知る音楽とダンス、許されざる恋 ⑩This movie describes not only “Love Story” but also the problems of racial discrimination.

あらすじ：映画史上最も有名であると言っても過言ではない作品。アメリカニューヨークの西海岸、アメリカ人のジェット団とプエルトリコ人のシャーク団は対立する存在であった。それぞれのグループに属していたトニーとマリアは決して許されない恋に落ちてしまうのだが……。家族、仲間、社会に対する不満、そして愛する人などをめぐって、若者たちの不安定な心の様子が描かれる。たった2日間で若者たちの人生を大きく変える劇的な出来事が起こる!!!

I. 歌とダンスのすばらしさ

この作品は、もともとは1957年ワシントンD.C初演のミュージカルである。劇中歌の「トゥナイト」や「クール」、また冒頭での指を鳴らしながらのダンスは誰でも一度は見聞きしていると思う。これらの歌やダンスがこれほどまでに有名になったのには、それなりの理由がある。振り付けにはバレエ振付師として有名なジェローム・ロビンズが起用されている。彼はABT(American Ballet Theatre)のソリストでもあり、「牧神の午後」などの斬新な振り付けで脚光を浴びている。また音楽は、20世紀後半の音楽界をリードしてきたレナード・バーンスタインが作っている。ロビンズは音楽をとても重要視する振付師であったため、音楽とダンスとがぴったりとはまっている。ここに、いつまでも有名であり続けている理由があるとわたしは考える。

また、わたしのお気に入りのシーンは冒頭で、限られたリズムの中からシンプルかつ印象的なダンスを繰り広げるところである。脚を高く上げて全員でビシッとそろえるダンスはカッコよく、わたしだけでなく、当時の多くの人々の心をひきつけたに違いない。

II. 『ウエストサイド物語』とアメリカ社会

アメリカは様々な人種が共存しているため、「人種の坩堝」などといわれることが多い。しかし、実際には差別問題も多く存在する。特に「遅れてやってきたもの」に対して、「先着者」たちはきびしい。遅れてやってきたものは、圧倒的に経済的に不利な立場に立たされる。ウエストサイド物語はそういった意味でアメリカ社会に大きなシ

ヨックを与えた。なぜならこの作品は、当時タブーとされていた「人種間の対立」をメインテーマとして取り上げたためである。ロビンスの振り付けをとってみても、それぞれの民族舞踊的なステップが数多く含まれている。

このように社会問題を取り上げたことで、「ロミオとジュリエット」のリメイクとしての価値だけでなく、ウエストサイド物語自身の価値を見出したのではないかと思う。

Ⅲ. 若者たちの揺れるところ

この作品では、たった2日間で2人の若者の出会い、恋、そして死までもが語られている。それだけでも十分に魅力的な展開だが、それにもまして2人の周りを取り囲む若者たちの想いや心情の変化が見所であると思う。当時の若者たちは人種にかかわらず、誰もが社会や自らの将来に対する不安や閉塞感、絶望感をもって生活していた。

「ウエストサイド物語」はそんな彼らの心を代弁するような作品であるとわたしは思う。そのことはさり気ないせりふの一つ一つから感じるができるが、もっとも強く表現されているのは「Gee, Officer Krupky」という歌だと思う。不良グループのメンバーが「俺たちおやじは飲んだくれ、母は……。だから俺たちは人に愛されたことなんかない。そんな俺たちを世間は誤解している。」と大人や社会を痛烈に皮肉っている。

このように、誰にぶつけることもできない心のゆれを、一見まったく逆なことのようにとれる、激しいリズムのダンスと美しいメロディーで包み隠して作品に織り込んだところに、この作品のすばらしさがある。

『フォレスト・ガンプ／一期一会』出会いのぬくもり

土肥 愛実

①Megumi DOHI②Forrest Gump③1995年④142分⑤ヒューマンドラマ⑥トム・ハンクス⑦ロバート・ゼメキス⑧ウィンス
トン・グルーム：Gump and Co. ⑨第67回アカデミー賞作品賞受賞、チョコレートの箱⑩This work is the record of Forrest
Gump's life. His innocent smile made me warm and his tears moved me.

あらすじ：知能指数の低い男、フォレスト・ガンプの半生。ある日お土産を持って出かけたフォレストは、バスを待つ人たちに、自分の過去を語る。ベトナムでの軍隊長ダン中尉、夢を語り合った戦友バツパ、そして心優しい幼馴染のジェニー。たくさんの人との出会いと別れを繰り返した、おとぎ話のような人生。そして最後に語った老婆に道を聞き、長く音信不通だったジェニーに会いに行くが…。

I. 初めて泣いた作品

この映画を初めて観たのは、小学生のころ「金曜ロードショー」で放送されたものだった。当時、ただコミカルな部分だけが印象的だった。それが、高校に入ってからまた放送されたのを改めて観て泣いた。テレビで放送された映画を観て泣いたのはこの作品が初めてだった。

II. 何があるかわからない人生

「人生はチョコレートの箱、開けてみるまでわからない」……映画のキャッチコピーにもなっている名言である。知能指数が低く、足も不自由でいじめられていた少年が、アメリカ代表選手になったり、戦場での勇気を称えられ勲章を授かったり、巨大な会社の社長になったり、素敵な女性と出会ったり……聞く人は「嘘みたいな話だ」と思うような(フィクションだから嘘なわけだが)、まさに波乱万丈な展開に、目が離せなくなる。また、エルヴィス・プレスリーやJ. F. ケネディ大統領などの故人とフォレストとのまさかの共演もおもしろい。まさに、“開けてみるまで何があるかわからない人生”だ。きっと、誰の人生にも、素敵なチョコレートがいっぱい詰まっているのだ。

そしてこの作品に欠かせないのが、主演トム・ハンクスの素晴らしい演技力だ。無邪気な笑顔、突然の涙、純粋さからくる怒り…誰よりも純真な心の持ち主であるフォレストを、見事に演じきった。とくに、墓前でジェニーに語りかけるシーンは何度観ても泣かされる。いやあのシーンで泣かない人はいない。いや泣いてくれ。

III. 142分の薬

高校生で改めてこの映画の素晴らしさを知って以来、私にとってこの映画はえらく特別な、心の薬のようなものになった。泣きたいのに泣けないとき、わけもなく温かい気持ちになったとき、誰かに会いたくなったとき、誰かを憎いと感じてしまったとき…私は突然この映画を観たくなる。何度観ても泣く。夏休み中にどうしても観たくなって実家からDVDをパクってきた。そしてこの映画紹介を書いている。

この作品には原作があり、映画ではカットされた人々との出会いが描かれている。また、映画では温かい感動的なシーンが多いが、原作は全体に明るいコメディのような印象を受ける。もちろん映画だけでも十分楽しめるが、ぜひとも原作も読んでいただきたい。

ミュージカルを越えた『シカゴ』

金谷 麻由

①Mayu KANATANI ② Chicago ③ 2003年 ④ 113分 ⑤ musical ⑥ Renée Zellweger , Catherine Zeta-Jones ⑦ Rob Marshall ⑧ Bob Fosse : CHICAGO (ミュージカル) ⑨ 第75回アカデミー賞受賞 , 夢見る殺人者 , 空想と現実 ⑩ It is much superior to any other musical films. There are many powerful dance scenes through this film.

あらすじ：有名ブロードウェイミュージカルを映像化した作品。スターを夢見るロキシー・ハートは“名前を売ってやる”と男に騙され、怒りのあまりにその男を殺してしまう。収容された刑務所で出会ったのは、憧れのヴェルマ・ケリーであった。無罪と名声を掴み取るため、ロキシーがとった行動とは…？

I. 『シカゴ』との出会い

私がこの作品と出会ったのは、中学3年の時でした。私は小さい頃からバントントワリングというものを習っているのですが、発表会で『シカゴ』の劇中で使われている曲で踊ることになったのです。映画の中ではどのようなダンスをしているのだろうか？と思い、この映画を手にとったのが、私と『シカゴ』の出会いでした。

II. ミュージカルに引けを取らない迫力

もともと、この映画は同名のブロードウェイミュージカルである『シカゴ』を映像化したものでした。この映画を見るまでのミュージカル映画のイメージは、ストーリーと曲の繋がりが不自然であったり、有名な俳優を出演させたいがために、歌やダンスのレベルが原作よりも劣ってしまう。といったものでした。

しかし、この映画を見て、そのイメージは拭われました。作品が始まってすぐにヴェルマ・ケリー役のキャサリン・ゼタ・ジョーンズが【ALL THAT JAZZ】を歌い踊るシーンがあります。彼女は有名な女優で、演技は上手いという印象はありましたが、歌やダンスをするというイメージは全くありませんでした。実際に、彼女は17歳の時に一度ミュージカルに出演しただけで、それ以降はミュージカルと関わりがなかったのです。

しかし、彼女の歌、ダンスの迫力には圧倒されました。しなやかであり、力強

くもある彼女のステージは、この作品の世界に引き込むのに十分な魅力がありました。同出演者のレネー・ゼルヴィガーはミュージカルの出演経験は全くないのにも関わらず、それぞれの曲での表現力の高さは目を見張るものがありました。特に中盤での【Roxie】はとてもミュージカル未経験者だとは思えない程、完成度が高いです。感情を込めて歌うということは、映画を何本もこなしてきたからこそ出来るものなのだと感じました。

Ⅲ. ストーリーの面白さ

この物語の面白さは、スターを夢見ているが、全く売れないロキシーが、男に騙され、その男を殺すことによってスターになるという点だと思います。“殺人者がスターになる”今の時代では考えられないことを、この作品では真剣に語っているということが斬新であるのではないのでしょうか。そして、刑務所の中でロキシーが空想する歌とダンスの数々は、ロキシーの舞台に対する執着心を深く表していると思われます。“人を殺したことによって有名になった”もちろん、普通に考えるとそれはマイナスの意味です。しかし、この作品中ではそれがプラスの意味なのです。

今の時代ではありえない不謹慎なことを、こんなにも明るくストーリーにしている。皮肉にもその点が、この作品での最も面白い部分ではないかと感じました。手段は褒められるものでないとしても、人生を賭けてまで追いかけてたい夢があるということは、とても素敵であり、ロキシーはある意味できっと誰よりも純粋なのではないかと思いました。

『ロード・オブ・ザ・リング』にみる仲間との信頼

山田 勝紀

①Katsunori YAMADA ②The Lord of the Rings The Fellowship of the Ring ③2002年 ④178分 ⑤Fantasy action ⑥ピータージャクソン・Peter Jackson (1961~) ⑦ハリウッド初の3部作を同時に撮影する試み。その第一作目 ⑩Can the main characters safely destroy a ring bringing an evil in the world ?

あらすじ：ハリウッド初の試みとなる3部作を一気に撮りきるという試みをした、ファンタジー映画の傑作。中つ国（ミドル・アース）に住むホビット族の少年フロドは、世界を滅ぼす力を持つ闇の指輪を手に入れる。その指輪を破壊しなければ、また世界に災いがもたらされてしまう。指輪を破壊するには、遠く滅びの山の罅裂に指輪を投げ入れなければならない。指輪を狙う冥王サウロンの魔の手から指輪を守りつつ、フロドは仲間とともに指輪を破壊する旅へと出発する。

I. 作品との出会い

私がこの作品に出合ったのは、友達に連れられて映画館にこの映画を見に行っただけだった。それまであまり洋画を見ることもなかったが、友達が絶対に面白いからというので、一緒に見に行くことにした。映画を見ていると、演出やストーリーに魅せられて食い入るように映画を見ていた。映画が終わった後に、友達に原作の小説を貸してもらって、それを短期間に何回も読み返すぐらいこの作品の魅力に取りつかれた。

II. 作品の魅力

この作品の魅力は、ひとつは戦闘シーンのリアルさがある。この作品では、戦闘シーンなどで、実際にエキストラを2000~3000人動員し、その全員に特殊メイクを施し、実際に人を動かして撮影しているので戦闘シーンがとてもしリアルで見ていると飽きないどころかどんどんひきつけられてしまう。もう一つは、ストーリーのである。原作の評価が高いが、その原作を忠実に再現し、原作を読んでない人でもストーリーが分かりやすいように作られているため、読んだ人も、読んでない人も楽しめるようになっている。私は、読む前を見たのだが、ストーリーの壮大さに引き込まれてしまった。その後、原作を読んでからまた見たのだが、原作の世界を可能な限り再現しているとわかって、そういった細部にまで気を使っていることでさらにひきつけられてしまった。

III. 印象深いシーン

この作品で印象深いシーンのひとつは、指輪を破壊するためにホビットやエルフや人間といった種族を超えた、9人の仲間が集まり指輪を破壊する旅に出るシーンである。指輪の力を狙って巨大な敵と戦うために種族を超え結束する仲間。一緒に旅を続けるうちに危機を何度も乗り越え、そのたびにお互いに対する信頼を強くして先に進んでいく。そういった種族など関係ない、世界を守るために戦うという9人の絆というのは、とても印象深い。もうひとつは仲間の一人が、全員を守るために怪物とともに自分も崖に落ちていくシーンである。グループのまとめ役を欠くことを乗り越えて、さらに団結し成長していく主人公たちのすがたと、仲間同士のきずながとても印象に残っている。

『ロード・オブ・ザ・リング』にみる仲間意識

田川 政嵩

①Msataka TAGAWA ②the Lord of the Rings ③2001年 ④278本 ⑤fantasy
⑥イライジャ・ウッド ⑦ピーター・ジャクソン ⑧J・R・Rトルーキン ⑨
壮絶な旅 ⑩I think that friendship is wonderful

あらすじ：ホビット族の青年フロドは、世界を滅ぼす力を秘めた悪の指輪を手にする。フロドを中心とした9人の仲間は、指輪をねらう悪の冥王の追っ手から逃れて指輪を抹消するための旅にでる。

I. 『ロード・オブ・ザ・リング』との出会い

私がこの作品を初めて見たのは、中学校1年生のときだった。私は友達に誘われてこの作品に出会った。最初、私は三部作であるこの作品の二作目から見てしまった。内容がよく分からないながらも映画の世界にどっぷりとつかっていった。そして、一作目・三作目を見ることになる。毎作主人公達が敵と戦うシーンがあり、すごく胸を揺さぶられた。それに加えて壮大なスケールの映像がさらに見ている人の心をつかむ。

II. 忘れられないラストシーン

ラストシーンは、指輪を抹消したフロドが仲間達と分かれて一人で別の世界に旅にでるというシーンである。フロドの旅にずっと同伴していたサムとの別れは涙を流してしまうシーンである。この旅はフロド一人の力ではなく、数々の仲間に支えられ成し遂げることができたのである。この別れのシーンで仲間の大切さを改めて感じるができる。

III. この物語を通して

一番注目して欲しいところは、「仲間」という存在である。先程も述べたように、フロドには数々の仲間がいた。その中でもサムが最も重要な役割を果たしていた。途中ゴラムに騙されてフロドとサムは別々の道を歩むことになる。しかしサムはフロドを見捨てることができずにいた。その気持ちが結局フロドを救うこととなった。この仲間を思う気持ちが物語では重要になっていると思う。この作品を見て仲間の大切さを感じてほしい。

『ハリーポッターと賢者の石』から学ぶ信頼と勇気

芝田 真希

① Maki SHIBATA ② Harry Potter And THE PHILOSOPHER' S STONE ③ 2001年 ④ 152分 ⑤ fantasy ⑥ダニエル・ラドクリフ エマ・ワトソン ⑦ クリス・コロンバス ⑧ J・K・ローリング ⑨ 友情、信頼、魔法 ⑩I think it is important for us to trust our friends. When we face with the difficult problems, we must solve them with brave.

あらすじ：額に稲妻形の傷を持つハリーポッターは幼い頃に両親を亡くし、親戚の家で暮らしていた。友達もおらず、親戚一家には嫌われ、こき使われるという毎日を送っていた。そんなハリーのもとに、11歳の誕生日が近づいたある日、1通の手紙が届く。それは魔法魔術学校の入学許可証で、壊れた眼鏡をかけた少年ハリーは実は魔法使いだったのだ！手紙を届けてくれたハグリッドとから両親の死の真実を聞き、かつて両親も学んだというホグワーツ魔法魔術学校への入学を決意する。ホグワーツに入学したハリーはハーマイオニーやロンとすぐに仲良くなり、数々のイベントや厳しい勉強の日々を送るが、不気味な事件が次々に発生し……。

I. 私と『ハリーポッター』

私が『ハリーポッター』を初めて見たのは、小学6年生のとき。当時の私にとって、初めての実写映画であり、初めての洋画だったが、途中からはストーリーの面白さにどんどん引き込まれ、ハラハラドキドキしたのを覚えている。

II. 『ハリーポッター』から学ぶ信頼と勇気

物語の前半は少しコメディタッチな部分があるのだが、物語の中盤から終盤にかけてはスリル満点に描かれている。中でも、賢者の石を探しに秘密の部屋に入ってからが非常におもしろい。冷静な判断で困難に立ち向かうハーマイオニー、ハリーポッターを信じて自分を犠牲にするロン、勇気を持って悪の魔法使いに立ち向かうハリーポッター。スリル満点でハラハラドキドキする展開の中にも友情・信頼・勇気が描かれている。

III. 映像の魅力

今では音楽だけで何の映画かわかるほどにまでヒットした『ハリーポッターシリーズ』ではあるが、改めて見直してみると映像にもたくさんの魅力が隠されていた。ホグワーツ魔法学校のセットはライトではなく、松明と蝋燭の明かりで照らされることにより、非常に不思議な世界が生み出されている。『ハリーポッター』の魅力はストーリーの巧妙さだけでなく、映像・音楽にもあるのだ。

『スパイダーマン』を見て感じたこと

濱口 恭平

①Kyohei HAMAGUCHI ②Spiderman ③2002年 ④121分 ⑤ヒーロー ⑥トビー・マグワイア キルステン・ダンスト ⑦サム・ライミ ⑧スタン・リー スティーブ・ディッコ ⑨愛、正義 ⑩This movie is fantastic.

あらすじ：幼くして両親を亡くし、伯父夫婦のもとで育てられたピーター。高校3年生になったピーターは、6歳の頃から思い続けている隣家のメリー・ジェーンに未だに打ち明けることができない冴えない高校生。ある日ピーターは親友のハリーから彼の父親ノーマン・オズボーンを紹介される。ノーマンは巨大軍需企業の経営者にして、天才科学者。ノーマンはピーターの才能を高く評価。彼に目をかけるようになる。そんなピーターは大学の研究所を見学した際、遺伝子組み換えでスーパースパイダーとなったクモに刺されてしまう。その瞬間、ピーターの身体に異変が起こり始める。

I. 『スパイダーマン』との出会い

私がこの作品と出会ったのは映画館であった。もともと違う作品を見に行っており、その映画が始まる前の新作映画の紹介でこの映画の予告編が放映されていた。この予告編を見ただけでこの作品が大好きになったのだ。

II. 平和を守る正義の物語

この作品はアメリカンコミックを映画化したものであるため、とても勧善懲悪がしっかり描かれており、見ていて、とてもスッキリするのである。また、しっかりと愛についても繊細に描かれていて自分も共感できる部分もたくさんある。

III. まとめ

この映画を見ることで本当の正義とは何か、ということを知ることができると思う。また、真実の愛についても考えることができるのではないだろうか。私はこのような理由からこの映画を勧めたい。

『ジュラシック・パーク』が語る生命の力

西村 晃一

① Koichi NISHIMURA ② Jurassic Park ③ 1993年 ④ 127分 ⑤ SFパニック
⑥ サム・ニール/ローラ・ダーン ⑦ スティーブン・スピルバーグ ⑧ マイケル・クライトン：ジュラシック・パーク ⑨ 恐竜/進化と進歩/生命の力 ⑩ An encounter with a real dinosaur to you.

あらすじ： 大富豪ジョン・ハモンドの招待で、古生物学者グラントとサトラー、数学者マルコムが南米コスタリカの沖合に浮かぶ島を訪れた。そこは太古の琥珀に閉じ込められたDNAから遺伝子工学によって蘇った恐竜たちが生息する究極のアミューズメント・パークだったのだ。だがオープンを抑えた“ジュラシック・パーク”に次々とトラブルが襲いかかる。嵐の迫る中、ついに檻から解き放たれた恐竜たちは一斉に人間に牙を剥き始めた。

I. 恐竜の姿

「ジュラシック・パーク」は恐竜好きな少年だった僕に、初めてホンモノの恐竜を見せてくれた映画でした。完成度の高い恐竜の姿は溜息が出るほどの美しく、動きや表情もすごくリアルで、まるでその場に恐竜がいるようでした。

本作を私が初めて見たのは、小学生の低学年の頃。私は本当に小さい頃から恐竜が大好きだったのもあり、興奮の連続でした。・・・

II. 魅力

この映画の魅力である迫力や興奮は、設定のリアルさにある。

まず、琥珀の中に閉じ込められていた恐竜時代の蚊から恐竜の血液…つまりDNAを採取し現在に恐竜を蘇らせるという、明日にもありえそうな設定。

また、パーク内での恐竜の自然な繁殖を防ぐためにメスのみ展示するという、ありがちなパターン・・・しかし、それは恐竜の進化の速さと対応力により打ち破られる。それが、恐怖のアミューズメント・パーク、「ジュラシック・パーク」の幕開けとなる。

III. 生命の力

主役の古生物学者のグラント博士は、かなりの子供嫌いである。ジュラシック・パークに出かける前のシーンでは、恐竜を馬鹿にする少年に対して大人気なく恐竜の爪の化石で脅かし怖がらせたりしていた。しかし、ジュラシック・パークでハモンドの孫の姉弟と共に困難や恐怖を乗り越えるうちに愛情が芽生えていく。

このグラントの成長は、恐竜たちの進化の速さ・対応力など「生命の神秘」ともいえる莫大なテーマをグッと私たちの身近なものにしているように思える。

『saw～生の価値～』

玉木 壽成

①Hisanari TAMAKI ②Saw～value of the life～ ③2004年 ④103分 ⑤ソリッドシチュエーションスリラー ⑥ケイリー・エルウィス、リー・ワネル ⑦ジェームズ・ワン ⑧リー・ワネル ⑨The criminal likes looking in the front row. ⑩I learned importance of the life to see this movie.

あらすじ：目が覚めると、部屋の中央には自殺死体。対角線上には足を鎖で繋がれた二人の男、ゴードンとアダム。犯人から突如として始められたゲーム。「君たちは死につつある」「6時までに相手を殺すか、自分が死ぬか」。与えられたのは、テープレコーダー、一発の弾、タバコ2本、着信用携帯電話、そして2本のノコギリ。二人は犯人が部屋に残したヒントを手掛かりに脱出しようとする。一方、謎の猟奇殺人鬼「ジグソウ」を追っていたタップ刑事とその相棒・シン。異様な殺人現場に残された手がかりをもとに、二人はジグソウを追い詰めるが犯人は意外な人物…。回想と謎解きを交えながら驚愕の結末を迎える作品。

タイトルの「ソウ」(Saw)は「(名)のこぎり」「(動)seeの過去形」そして劇中謎を投げかける犯人の名前ジグソウ(jigsaw)、と三つの掛詞になっている。さらに主人公の職業である外科医を意味する語(sawbones)や立場逆転のこと(seesaw)も示しているのではないかと、という説もある。監督が当時は無名であったため、低予算でわずか18日間という短期間で作り上げられた。

私はこの作品を観て、グロテスクな映像のある恐ろしいサスペンス映画なのですが、なぜか他の映画とは少し違うなと感じました。この映画は、殺人鬼であるジグソウが次々と自らが作った命がけのゲームを被害者にさせるといっても残忍なものです。しかし、その被害者たちには共通点があり、そのいずれもが「生を大切にしない者」「生きる喜びを知らない者」なのです。どのゲームにも生き残った者がいない中、たった一人だけ生還者がいました。それは麻薬中毒から抜け出せずに苦しむ女・アマンダでした。ゲームから生還して数日が経ち、取調べを受ける彼女から出た言葉が、「あの恐ろしいゲームをして以来、クスリを絶てた…。ジグソウは恩人」と言ったのです。殺人のゲームをさせられたのに、なぜ彼女がそう感じれたのか。このような部分が、他の映画にはない本当にこの映画の特徴的なところであると思います。「生きているのがどんなに素晴らしいことか」と教えられ、誤った道を歩んできた者が正しい道へと更生していく作品は他にもたくさんあると思います。

しかし、それを殺人鬼に教わる映画は、これ以外にないと思います。私は、この映画を観て衝撃を受けました。そして新たに自分の人生を見直し、「生に感謝する」という気持ちを持たなければいけないと痛感しました。私だけでなく命の大切さや生の価値の分からない者が多い世の中にとって、とても衝撃的な作品だと思います。

『ターミネーター2』に描かれているもの

吉田 雅

①Miyabi YOSHIDA ② Terminator 2: Judgment Day ③ 1993年 ④ 137分 ⑤ Science Fiction ⑥ T-800/Arnold Alois Schwarzenegger ⑦ James Francis Cameron ⑧ James Francis Cameron ⑨ 信頼の形 人類の方向性 父性の在り方 ⑩ It was impressive for me that the homicide machine learned human feelings.

あらすじ：1994年、未来から二体の殺人機械「ターミネーター」がやって来た。うち一体は新型の「T-1000」と言って、未来に於ける人類対機械の戦争で人類側の「指導者」となる運命を背負った少年、ジョン・コナーを抹殺する為に、もう一体は旧型で「T-800」と言い、ジョンの命を守るべく未来のジョン自身から送り込まれて来た。T-800はジョンと彼の母親サラを守りながらT-1000と戦闘を繰り返す。死闘の末、T-800はT-1000を溶鉱炉に落とし、将来ターミネーターの開発の核となるチップも処分した。しかし、T-800は自分もチップを保有していると言って、自らも溶鉱炉に沈む。そうして世界に平和が訪れた。

本作品は、SF やアクションとしては最高峰の迫力を備えた映画である。特にT-1000 がジョン一行をトラックに乗って追跡する場面ははらはらして常に緊張を禁じ得なかった。正に「手に汗握る」逃走劇であったと言えよう。

しかし、本作品の魅力はそれだけにはとどまらない。私が前述の逃走劇以上に素敵であると感じたのは、殺人機械ターミネーターであるT-800が、人間のジョンやサラとの触れ合いと通じて少しずつ人間の感情を学んでいく事だった。感情の無いターミネーターが、人間の笑ったり泣いたりする姿を見ると同時にそれらを学んでいたのだ。T-800は最後に自ら溶鉱炉に沈む直前、泣いてしまうジョンに向かって静かに、「泣く理由が分かった。泣くことは出来ないがね。」と言って彼の涙を拭う。

その出来事を、ターミネーターである彼が人間の行動を「観察」し「学習」した結果であると言ってしまえばそれまでだが、私はそうではなくて、彼がジョンの気持ちを「理解」したからそうしたのだと思いたい。

敢えて機械を登場させる事で人間の素晴らしさを浮き彫りにしたこの映画を、私は心から賞賛する。

『アルマゲドン』

家族・仲間との愛、絆、信頼

伊関 祐希

①Yuki ISEKI ②Armageddon ③1998年 ④150分 ⑤moving ⑥Bruce Willis、Liv Tyler ⑦Michael Bay ⑧個性的な仲間 父子の愛 地球を救えるのか ⑩I am impressed by the spirit of heroic self-sacrifice. I shed the tears seeing the last scene that a Grace was talking with her fathers.

あらすじ：何の前触れもなく小隕石群がアメリカに落下した。しかしそれは悪夢の序章にしか過ぎない。同じころ、NASAにテキサス州の大きさもあるほどの小惑星が地球に衝突するとの報告が入った。地球の滅亡を防ぐためには爆弾を惑星内に設置し、内側から破壊するしかない。その任務に選ばれたのは仕事の中で失敗をしたことがないという石油掘削員のハリー・S・スタンパーであった。彼とその仲間たち14人に地球の運命は託された。宇宙になんて縁のなかった彼らに果たして地球は救えるのか…

最初この映画を見たきっかけはただ話題になっていたからと父がレンタルビデオ屋から借りてきたからだった。私は以前からブルースウィルスが好きだったためなんとなく見ることに。最初の感動というのはあまり覚えていないが、今になっても何か映画を見ようと思うとこの作品に手が伸びる。

キャラクターの魅力

この作品になんといっても欠かせないのがハリーの個性的な仲間たちだ。それは宇宙に行くための特訓のシーンでよくわかる。熱血でガラが悪く問題児ばかり。でも仲間想いのいいやつ等ばかりである。このさまざまな面白い仲間が広い世代に受ける要因なのだと思う。

親子の絆

最初のシーンでハリーの娘グレースとハリーの部下であるA.Jが恋仲であることがわかる。ハリーは猛反対、グレースはハリーに父親らしくしたことがなかったくせにと反発。こんな風に言い合っていた二人だが最後、ハリーが一人で惑星を破壊しに行く前にグレースと会話するシーンは涙が止まらない。ハリ

一が娘のグレースのことをどんなに愛しく思っていたかがわかる。父娘の絆が強く感じられた。

正義感・仲間

惑星を破壊しに行くシーンではさまざまなハプニングが起こる。全員のキャラクターが立っているためこのシーンになっていると全員が好きになっているのでハラハラ感がたまらない。また、破壊シーンではNASA側の無理な提案に反抗して信念を貫くハリーと仲間がかっこいい。

そして宇宙に出発するシーンでは14人並んでいた仲間も、無事帰ってくるときには数人が減っている。だが同じように並んで歩いているシーンを見てそこでも仲間がいなくなってしまったことを感じさせ、胸が痛くなる。全員好きになれるのでぐいぐいと映画に入っていけるのがいいところだ。

アルマゲドンはどこがどう際立っている、という部分は少ない。設定はありきたりであるし、映像が飛びぬけているわけでもない。だが基本である『愛』の描写が伝わりやすく、感動できる。また仲間たちのやりとりが面白いのでシリアスもコメディも両方楽しめる。

何か映画を見ようとなったときアルマゲドンに手を伸ばす理由はこのスタンダードな感じがあるからなのかもしれない。98年の映画だが10年経った今も楽しめる映画である。観るのにしんどくなくて、感動できる。幅広い世代に感動させられる映画だと思うので時間があって暇なときには是非見てほしい。

『ロッキー・ザ・ファイナル』と“挑戦”

山田 祥子

①Sachiko YAMADA ②Rocky Balboa ③2007年 ④102分 ⑤スポーツ ⑥シルヴェスター・スタローン ⑦シルヴェスター・スタローン ⑧人生・情熱・勇気・NEVER GIVE UP ⑩I leaned a challenge is very important in own life from this movie. My life can be changed only for myself.

あらすじ：有名映画、ロッキーシリーズの最終章。現役を引退してから“過去の人”として地元の小さなイタリアン・レストランを経営して日々をおくっていたロッキー。現在の暮らしに物足りなさを感じているなか、現役時代に関わったことのある人々に出会う。そのうちに自分の中のボクシングへの情熱に気づき、再びボクサーとして復活しようとするが…。

I. 有名映画ゆえの話題性

“あの名作、ロッキーシリーズの最終章が日本に上陸”——ロッキーのB.G.M.は知っていたが、映画そのものは全く知らなかった。しかし、「有名なロッキーシリーズの最終章」と言うことで、世間で話題になっていたのも、そんなに良いものなのか、と一度見てみることにした。

II. 言葉で語りすぎない魅力

映画『ロッキー・ザ・ファイナル (Rocky Balboa)』では、全体を通して通常の映画よりもセリフが少ない。しかし、セリフが少ない分、映像とそれを引き立てるB.G.M.で語る場面が多い。特にはじめのエイドリアンの墓参りのシーン、後半のロッキーが試合に向けて体をつくっていくシーンでは、効果的に映像と音楽が使われていた。それにより、そのシーンの重みが引き立てられ、物語に厚みが与えられていた。

III. セリフで観る『ロッキー・ザ・ファイナル』

前項目で、この映画にはセリフが少ないと述べた。しかし、その少ないセリフから気付かされることは多い。「情熱を持っていてもそれを燃やせる人はいない。」「世の中はバラ色じゃない。厳しくてつらいところだ。」「人生ほど重いパンチはない。」「自分を信じなきゃ人生じゃない。」これらのロッキーが息子に言った言葉は、スタローン自身が世の中に訴えたかったことのようにも感じる。これらのセリフを聞いて私は、自分の人生をしっかりと歩みたいと本当に思うなら、ロッキーのように自分を決してあきらめず、挑戦し続ける勇気を持つことが大事なのだと思った。

夢と希望を与える『ピーター・パン』

大原 優美

① Yumi OHARA ② Peter Pan ③ 1955年 ④ 77分 ⑤ animation ⑧ ジェイムス・Mバリー：「ピーター・パンとウエンディ」 ⑨ 大人と子供、夢の世界、冒険 ⑩ I saw this movie and learned the importance of having a dream. I want to have a dream forever.

あらすじ：いつも弟ジョンとマイケルにピーター・パンの話聞かせている姉ウエンディは、お父さんに子ども部屋をでるようにといわれてしまいます。その夜、ピーター・パンと妖精のティンカー・ベルが、なくした影を探しにやってきました。目を覚ました子供たちは、ピーター・パンの住む・永遠に子どものままでいられる夢と冒険の国・ネバーランドへと旅立っていきました。しかし、ピーター・パンを目の敵にしているフック船長の悪だくみに巻き込まれ・・・

I. 私と『ピーター・パン』

私は幼い頃からディズニー映画が大好きで、家には何本かディズニー映画のビデオがあり、子供の頃はよく母や姉と見ていた。中でも私のお気に入り『ピーター・パン』で、見ていると楽しい気分になり、見終わった後は映画の中に出てくる歌を口ずさんだりしていたものだ。

II. 夢を持つことの大切さ

夢と冒険の国、ネバーランドの描写がすばらしい。海賊、インディアン、人魚の入り江・・・まさに未知の国。一度は行ってみたいと思える。また、ピーター・パンは『楽しいことを考える』ことで、空が飛べると言う。毎日仕事に追われ、楽しいことを考えるのが難しくなりがちな大人たちに、夢を持つことの大切さを教えてくれる。

III. 大人と子供

『ピーター・パン』は子供でも大人でも楽しめる作品。子供にはいつかは大人にならなければならないことを教えてくれ、大人には夢を持つことの大切さを教えてくれるので、子供の時に一度見て大人になった時にもう一度見てみると、違った見方で見るができると思う。

『ピーター・パン』にみる子供の心

祖川 拓也

①Takuya Sogawa ② Peter Pan ③ 1955年 ④ 77分 ⑤ animation, fantasy ⑧ ジェームス・マシュー・バリー・Sir James Matthew Barrie(1860-1937) : 『ピーター・パンとウェンディ』 ⑨ 夢、冒険、子供の心 ⑩Let's go to "Neverland". Let's go to dream world.

あらすじ：ロンドンの街外れに、ウェンディという優しい女の子が住んでいました。そのウェンディが子ども部屋で過ごす最後の晩のことでした。いつまでも12歳のままの不思議な少年ピーター・パンと、焼きもちやきのティンカー・ベルがやって来たのです。そしてウェンディと弟たちを“ネバーランド”へ招待します。ティンカー・ベルの粉をちょっとふりかけて、右から二番目の星を目指してまっすぐに飛んでいけば、そこは大人にならなくてもいい島“ネバーランド”！ところが、ピーター・パンを目の敵にしている海賊、フック船長の悪だくみに巻きこまれて…。

I. ピーター・パンへの憧れ

私が『ピーター・パン』を初めて見たのは、小学校に入る前のことである。小さい子がテレビのヒーローに憧れを抱くように、私もその頃はヒーローに憧れていた。そんなときに初めて見たディズニー映画が『ピーター・パン』だった。夢の世界で海賊たちと戦い、空を飛び回り、子供たちを助けるピーター・パンの姿はその頃の私にとって一番の憧れであり、『ピーター・パン』の世界の中に私を連れて行ってくれた。

II. ここでしか楽しむことのできない世界観

この作品はディズニー映画の中でもとくに独特の世界観を持っている。子供だけが住む世界ネバーランドとそこに住むインディアンや人魚など、音楽とともに登場人物たちが歌って踊る姿は、日常とは全くかけ離れた世界に見た人を運んでいってくれる。そして、子供しかいない世界で唯一の大人である海賊フック船長たちと繰り広げる戦いは、見る人を時にはドキドキ、時には笑顔にしてくれることは間違いない。

III. 子供の心

ピーター・パンと子供たちのネバーランドでの冒険は、誰もが持っていた純粋な子供の頃の気持ちと呼び起こしてくれる。大人になると忘れてしまう子供の頃を『ピーター・パン』を見ることで思い出してみるのもいいかもしれない。また、親になったときに子供と同じ気持ちで一緒に見るのもいいかもしれない。『ピーター・パン』を通してもう一度自分の子供の心を思い出してみてはいかがでしょうか。

『魔法にかけられて』～真実の愛はどこに？～

安藤 理沙

①Risa Ando ②Enchanted ③2008年 ④108分 ⑤love comedy, fantasy ⑥エイミー・アダムス
⑦ケヴィン・リマ ⑧ジャスミン・ジョーンズ ⑨アニメと実写の共有、新しいタイプのディズニー
映画、真実の愛のキス ⑩We cannot know where and when true love starts. It comes up when and
where anyone does not expect to come.

あらすじ：おとぎの国“アンダレーシア”に暮らす心優しい姫、ジゼルは、夢にまで見た王子様との
結婚式の当日、悪の魔女に騙されてはるか彼方の世界へと追放されてしまう。そこは“おとぎの国”
とは正反対の刺激的な“現代のニューヨーク”であった。ジゼルはパニックに陥ってしまう。王子様
はそんなジゼルを迎えに行くが…。

I. ディズニー映画の魅力に引き付けられて

私は今までディズニー映画にあまり興味がなかったが、先日、あるディズニー映画を見て、その
虜になってしまった。そこで、最近話題になったディズニー映画「魔法にかけられて」を見てみよう
と思ったのがこの映画との出会いである。

II. つい夢中になってしまう作品

この映画は、アニメと実写の両方で構成されているが、映像がアニメから実写に変わる時、又は
実写からアニメに変わる時に違和感なく見る事が出来るように作られている。そして美しい映像、
リズムカルな音楽は見る者を惹きつける。

III. 印象的な場面、そして見所

ジゼルが現代のニューヨークで出会った、離婚弁護士で、超現実的な人間のロバートは、初め、
ジゼルを全く理解出来ず、受け入れられなかったが、一緒に過ごすうちに段々と距離が縮まっていく
場面が印象的であった。まったく違う人間でも理解し合えるのだということをこの映画から学んだ。

そしてこの映画の見所は、アニメと実写で構成されている所は勿論のことだが、一番の見所は“ス
トーリーの結末”ではないかと思う。是非結末に注目して見て頂きたい。

ディズニーに『魔法にかけられて』

小堀 槇子

①Makiko KOBORI ②Enchanted ③2008年 ④108分 ⑤animation, fantasy ⑥エイミー・アダムス, パトリック・デンプシー ⑦ケヴィン・リマ ⑧ディズニーの自己パロディ、魅力的な音楽、セルアニメの手法の復活 ⑩I want to tell you that this movie is magnum opus of Disney pictures before everything else. It describes world of Disney by animation and documentary.

あらすじ：幸福なアニメの世界に住むジゼル姫は、残酷な女王ナリッサによって現代都市のニューヨークに追放されてしまう。おとぎ話のような姿のまま路頭に迷うジゼルを助けたのは弁護士ロバートとその娘モーガン。アニメの世界でジゼルと婚約したエドワード王子とリスのヒップは、ジゼルを救い出すために自らニューヨークへ。しかし、ジゼルはこの現実世界でロバートに惹かれ始めていた。

I. この映画の魅力

まず、この映画がディズニーファンにとって素晴らしく興味深く、わくわくするものであることは間違いない。監督であるケヴィン・リマが、自身も大好きな「ディズニー映画の名場面を集めて作った」と言っているように、アニメ・実写・ミュージカルの要素の中に、シンデレラの、白雪姫の、「あの場面」がちりばめられているからである。絵本が開き、物語が始まると、私たちはすぐにディズニーの世界に入りこんでしまうのだ。

II. 誰もが憧れる「プリンセス」

女性なら一度は、シンデレラやオーロラ姫、白雪姫やベルに憧れたことがあると思う。この映画は、そんな幼いときの願望を叶えてくれるプリンセス映画だと言える。そのような映画は、いつか運命の王子さまに出会える…というのが一般的であるが、この映画では、一度婚約した王子様と一生幸せに暮らす予定だったジゼルが、現代に生きる王子様以外の男性に惹かれてしまい、思い悩む姿も描かれている。実に斬新で新しい。おとぎ話のロマンティックな展開と、現実世界のリアルな恋愛を対比しているようだ。

III. 魔法にかけられる

ジゼル姫はのんびり屋でマイペースだが、その純粹さを通して、現代に生きる人々が忘れかけていた「楽しむこと」を思い出させてくれる。これはディズニー映画に共通して言えることであると思うが、映画を見た私たちがジゼルと共に嬉しくなり、胸を締め付けられ、ときめくことを通して、「魔法にかけられて」いるのではないだろうか。

『魔法にかけられて』に魔法にかけられて

佐渡 千佳子

①Chikako SAWATARI ②Enchanted ③2008年 ④107分 ⑤animation, musical, love story ⑥エイミー・アダムス (主演女優) ⑦ケヴィン・リマ ⑧ディズニー史上最も“アリエナイ”物語、永遠の愛、セルアニメ&実写 ⑩A lot of songs remain in my head. Everyone is a yearned fairy tale once.

あらすじ：魔法の王国“アンダーレーシア”に暮らす、心優しいジゼル。夢にまで見たエドワード王子との結婚式の日、彼女は魔女にダマされ、世にも恐ろしい世界へと追放される。たどり着いたのは“現代のニューヨークだった！途方にくれる彼女が出会ったのは、バツイチで子持ちの離婚弁護士ロバート。超ゲンジツ的な彼は小さい娘モーガンに対しても、“夢”や“魔法”などアリエナイものだを教えてきた。さらに、“恋愛”にすらクールな態度を取るロバートに、ジゼルは、“永遠の愛”を伝えようとするのだが…。やがて、彼女を追ってやってきたエドワード王子や、魔法使いの女王と家来、そして火を吐くドラゴンも現れて、ニューヨークは大パニックに！はたしてジゼルは魔女の呪いを解き、元の世界へ戻れるのだろうか？

I. 私と『魔法にかけられて』

この作品は、私が初めて映画館に見に行ったディズニー作品だった。今までディズニー作品はあまり見たことがなかった私が、ディズニー作品にはまるようになった転機となった作品だった。アニメと実写が違和感なく組み合わせられた映像、見終わった後まで口ずさんでしまう挿入歌、ニューヨークという現実の世界でくり広げられる女の子なら誰も憧れるおとぎ話の世界、そんな魅力にあふれた作品だった。

II. 見るものを『魔法にかけ』るジゼル

「永遠の愛」。それは誰もが憧れるもの、しかし手に入れるのが難しいものではないだろうか。現実の世界で暮らすロバートはバツイチ。永遠の愛などはないという考えを持っている。そんなロバートにジゼルは“永遠の愛”を夢見ることの大切さを教える。永遠の愛を誓おうとしているエドワード王子が助けに来てくれると信じる、そんなジゼルの気持ちが、次第にロバートにも伝わっていく…。

ジゼルを見ていると、「永遠の愛」を夢見ていた幼い頃に引き戻される。永遠なんてものはないのだと諦め、夢見ること忘れてしまっている現実。それを「仕方のないこと」と思うのは、実はとても寂しいことなのではないだろうか、「永遠の愛」はあるのではないだろうか、そう思える『魔法にかけられ』るのである。

III. 作品中に数多くしかけられた『魔法』

王子様とお姫様、トロール、意地悪な継母、毒のりんご、真実の鏡、魔女の魔力、12時までの魔法、ドラゴン、片方だけの靴、真実の愛のキスで目覚めるお姫様

上記の他に過去のディズニー作品にあったキーワードがこの作品には多く見られる。「このシーンどこかで見たことある…」そう思ったのは私だけではないはずだ。ありきたりで、どこかで見たことのある展開だからこそ、おとぎ話を夢中で読んだ幼い頃に帰り、楽しめるのだ。しかし、さすがここは現代のニューヨークが舞台というべきか、この作品は期待通りの展開で終わらない。もちろん、ディズニー作品お約束のハッピーエンドではあるのだけれども。あなたも『魔法にかけられて』みませんか？

『魔法にかけられて』における愛のかたち

楠田 円香

①Madoka KUSUDA ②ENCHANTED ③2007年 ④107分 ⑤Love Story ⑥Giselle: Amy Adams Robert:Patrick Dempsey ⑦Kevin Lima ⑧『リトル・マーメイド』や『美女と野獣』『アラジン』などを手がける ⑨True Love ⑩The fairy tale the princess and the prince lived happily forever is in this movie. But anything is not always done well in reality. Love of each world is shown.

あらすじ：魔法の王国“アンダレーシア”で動物達と仲良く暮らす心優しいジゼル。夢にまで見たエドワード王子との結婚式の日、彼女は実は魔女であるエドワードの母に騙され、ファンタジックな“おとぎの国”とは正反対の街、“現代のニューヨーク”へ追放される。見た目はリアルな姿に変わったものの、ジゼルの優雅でマイペースな“お姫様キャラ”は、大都会で浮きまくり…。途方に暮れる彼女が出会ったのは、バツイチで子持ちの離婚弁護士ロバート。超現実的な彼は小さい娘に対しても、“夢”や“魔法”などあり得ないものだを教えてきた。さらに、“恋愛”にすらクールな態度を取るロバートに、ジゼルは“永遠の愛”があるということを伝えようとする。やがて、彼女を追ってやって来たハイテンションな王子や、魔法使いの女王とドジな家来のせいでニューヨークは大パニックに。はたして、ジゼルは魔女の呪いを解き、元の世界へ戻れるのだろうか。

I. きっかけ

私がこの作品に興味を持ったきっかけは、ただ単に映像がきれいだからということだけだった。ディズニーの作品はおとぎ話を映画化したものが多いので、この作品も子ども向けの作品だと思っていた。しかし、実際に見てみると今までのディズニーの作品とは異なる部分が多く、大変驚かされた。この作品は子どもだけでなく、大人も楽しめ、考えさせられる作品であると思う。

II. この作品で考えさせられたこと

おとぎ話は、たいてい「王子様とお姫様はいつまでも幸せに暮らしました。」とハッピーエンドで終わる。しかし、現実の世界においてそんなにうまく行くことはほとんどない。この作品はアニメーションと実写の融合によって、おとぎ話の世界と現実の世界の愛の形、それぞれに疑問を投げかける。

今までの『美女と野獣』や『アラジン』などのディズニー作品は“永遠の愛”を誓う形で幸せな結末を迎えるが、この作品ではそうではない。私たちの生きる現実世界は、幸せに結婚したはずの夫婦が離婚の危機に直面するような悲し

い世界である。そんな現実世界に、おとぎの国からやってきたジゼルは愛の理想の形を語りかける。そして、そんな純粋なジゼルの愛の形は現実世界を少しずつ変えていく。逆に、ロバートも出会ってすぐに結婚してしまおうとしているジゼルにデートをしてお互いをもっと知ることの大切さを教え、ジゼルも自分が信じてきた愛も形に疑問を持つ。そうしてお互いの愛の形がすべて正しい訳ではないということに気づく。愛について違う価値観を持っていた二人はやがてお互いを理解し、魅かれていく。しかし、二人はその気持ちを心の奥底にしまい込み、それぞれのパートナーと共に舞踏会に参加する。そこで起きたある事件により、お互いが本当に愛し合っているということに気付く。

Ⅲ. まとめ

このように、この作品は今までのディズニーの作品とは異なり、現実の愛について考えさせられる。おとぎ話の愛の形の危うさ、現実世界の愛の軽さをアニメーションと実写の融合という新しい表現方法で表されたこの作品は、私たちに愛について考えさせるきっかけとなる作品であると思う。

『ファインディング・ニモ』から学んだこと

山村 祐香

①Yuka YAMAMURA ②Finding Nemo ③2003 ④100分 ⑤animation, Fantasy
⑥ マーリン ニモ ⑦アンドリュー・スタントン リー・アンクリッチ ⑧アンドリ
ュー・スタントン ⑨2003 年のアカデミー賞【長編アニメ賞】 海の中の世界 親子
の絆 ⑩It is important to help each other. And a bond of father and child is very
deep.

あらすじ:カクレマノミのマーリンは妻のコーラルとたくさんの卵を守って暮らして
いたが、ある日突然凶暴な魚に襲われ、マーリンとたった一つの卵が残された。マー
リンは生き残った魚にニモと名づけ大切に育てた。しかし、ニモははじめて学校に登校し
た日に人間のダイバーにさらわれてしまう。マーリンはボートを見たというドリーとど
もにニモを探す旅に出る。

I. この作品との出会い

私がこの作品を見ようと思ったのは、CM で見たニモがかわいかったからだ。
背景の海も美しくて幻想的だった。また、ピクサーの作品であったのも魅かれ
た理由の一つだ。トイ・ストーリーやモンスターズインクなどピクサーの作品
は楽しいものであったから、きっとこの作品もいいものに違いないと思ってい
た。実際素晴らしい作品だった。映像ももちろん息をのむほど美しいものだっ
た。しかし、それだけではなくおもしろくて感動的なストーリーだった。

II. この作品の魅力

私がこの作品で魅力に感じたのは、壮大な海の世界だ。ニモやマーリンたち
カクレマノミが住むサンゴ礁をはじめ美しい映像がたくさんあった。また、
親切だけれども物忘れのひどいドリーは物語を盛り上げてくれる大事なキャラ
クターであり、人間に捕まってしまったニモが入れられた人間の世界の魚たち
も個性的だった。サメ、アンコウなどのリアルで恐ろしい顔の魚やシルエット
を作り出す魚の群れ、海流に乗るウミガメの群れなど様々な生き物が登場して
きた。実際の魚にはまぶたはついていないが、この映画に登場する魚たちには
まぶたが付いている。これによって、魚たちの表情は豊かになった。また、こ
の映画は水の世界を美しく再現するために海、水槽、岩礁など6つのグループ

に分かれて映像が作り出されたそうだ。このような様々な工夫のおかげで、この映画は出来上がったのだ。

『ファインディング・ニモ』は見ていて全く飽きないし、常に次はどんな生き物が出てくるのかという楽しみがあった。大人も子供も楽しめる作品だと思う。

Ⅲ. 助け合うことの大切さ

たくさんの周りの助けがあったおかげで、マーリンとニモは再会することができた。マーリン一匹では広い海ではどうすることもできなかつただろう。ドリーをはじめ、いろいろな海の生き物や鳥などがマーリンやニモのために手を貸してくれたおかげだ。たくさんの生き物と助け合うことでマーリンやニモは成長していった。マーリンは多くの生き物との出会いで、関わりあうことが上手くなっていった。そして、これは人間でも同じことだと思う。人は一人では生きていけない。助け合って、お互いに感謝して生きていくべきなのだ。

また、マーリンとニモの親子の絆は計り知れないものだった。海が怖いマーリンであったが、息子を探すために大海原に飛び出して行った。マーリンの行動は海中に知れ渡り、結果二人は出会うことができた。ニモとマーリンが再会するシーンは本当に感動的であった。

監督のスタントン氏も実際、息子を公園に連れて行った時に恐怖心が邪魔をして思うようにいい父親になれなかつたらしい。また、“海”では何が起こるか分からないというところを“人生”にかけてみたいと思ったのが、この映画をつくるきっかけとなったそうだ。

この映画はかわいいだけでなく、大切なことも学べる映画だと思う。

『Mr. インクレディブル』にみる家族愛

酒井 里枝

① Rie SAKAI ② Mr. Incredible ③ 2004年 ④ 115分 ⑤ スーパーヒーローアニメ, フルCG ⑥ Craig T. Nelson(声優) ⑦ Brad Bird ⑧ こだわったCG映像, 家族全員ヒーロー, 愛 ⑩ Super speed is my favorite. It would be nice if we all had super power. I want Dash's speed.

あらすじ: かつて世界の平和を守っていたスーパーヒーロー達。しかしあることが発端となり世間のスーパーヒーローに対する風当たりが強まり、政府の政策により今から15年前に全てのスーパーヒーローが引退し、世間には正体を隠して生活を始めた。Mr. インクレディブルこと、ボブ・パーもその一人だった。彼は保険会社に勤務し家族を養っていた。そんな彼の家族もまた、全員がスーパーパワーの持ち主だ。会社をクビになったボブは、家族に内緒でヒーロー活動を再開する…。

I. ストーリーの魅力から

私がこの作品を初めて観たのは、高校3年生の英語の授業でした。高校3年生にもなっています。アニメ…。と思いましたが、話が進むうちに、だんだんこの作品に惹かれていきました。最初の方は、太くてかっこ悪いように見えた主人公も、話の半ばに入ってくるとすごくかっこ良く見えてくるほど、面白い映画でした。

II. それぞれのスーパーパワー

この映画は主人公のボブだけじゃなく、奥さんのヘレン、姉のヴァイオレット、弟のダッシュル、赤ん坊のジャックまでもがスーパーパワーの持ち主です。その一人一人の能力が個性的でこの作品の見どころだと思います。

III. 戦いの中で見る家族愛

私がこの映画で、製作側が視聴者に1番伝えたかったことは家族愛だと思います。ボブとヘレンは、初めはいがみ合っていたヒーロー同士でしたが、お互いを好きになり結婚しました。しかし、ボブが家族に内緒でヒーロー業を再開してからは、だんだんボブと家族の間に溝ができて始まります。ですが、戦いを通して家族愛を取り戻していきます。その過程を観ていると、本当に心があつたかくなります。この映画は私に、幼かった頃に見たヒーローアニメの興奮と、家族の大切さを思い出させてくれました。

『Mr. インクレディブル』に学ぶ家族愛

内丸 恵

① Megumi Uchimaru ② Mr. Incredibles ③ 2004年 ④115分 ⑤ animation ⑦ Brad・Bird (1957年9月11日-) ⑧ The Incredibles ⑨ アカデミー賞受賞、スーパー・ヒーロー、ファミリー・エンターテインメント ⑩ It is felt that the bond of family is really great. I think that it is a movie that can make us gentle to the others.

あらすじ：かつて世の中の平和を乱す悪と闘い、人々を危機から救い出す大活躍をしていたスーパーヒーロー、Mr. インクレディブルことボブ・パーとその妻、イラスティガールことヘレン。ところが、15年前のスーパーヒーロー制度廃止を機に、夫妻は一般市民として暮らすことを余儀なくされ、3人の子どもたち、ヴァイオレット、ダッシュ、ジャックジャックと共に“普通”の家族生活を送ろうと努力していた。そんなある日、ボブのもとへ謎の女性ミラージュから「Mr. インクレディブル、あなたのスーパーヒーローとしての力が必要です。」と極秘任務の依頼がやってくる……………。

I. 『Mr. インクレディブル』との出会い

私が『Mr. インクレディブル』を初めて観たのは、高校2年生のとき父がDVDを買ってきたときである。数年前に映画館で上映されていたことは知っていたが、そんなに興味もなく観たことはなかった。しかし、これまでもディズニー映画は何作品も観たことがあり、どの映画も面白く好きだったため、さっそく観ることにした。

II. 家族愛と個性豊かなキャラクター

過去の栄光が忘れられず、家族に内緒でミラージュからの誘いにのったボブ。不信任を抱くヘレンだが、家族の愛はそんなにもろいものではなかった。家族で一致団結して困難に立ち向かう姿がとても感動的である。誰一人欠けてはいけない存在であることが強く感じられる。それぞれのキャラクターも個性豊かで魅力的。次々に起こるピンチも、それぞれが持つスーパーパワーで乗り越えていく。頑丈な肉体と驚異的な怪力を持つボブ。伸縮自在な肢体の持ち主ヘレン。自らを透明にするほかバリアを張ることが出来るヴァイオレット。超スピードで走ることが出来るダッシュ。しかし、ジャックジャックの能力だけがはっきりとは明かされていない。その点も気になるところだが、とにかく最初から最後までハラハラドキドキ。コミカルでスピーディな展開、笑える場面も多々あり、先が想像できないため、飽きることなく、物語の中へはいりこんでいってしまう。

III. おすすめポイント

『Mr. インクレディブル』を観ると、家族の大切さを改めて実感できるに違いない。小さな子どもから大人まで幅広く楽しむことが出来る作品だと思う。そして、観た人誰もが少なからず家族の絆について何かを感じることが出来るだろう。私は、この作品から「家族を信じること」を学んだ。家族はやっぱりどんなときも一緒に居るべきだと強く感じた。また、ヒーロー一家の活躍はとても素晴らしいが、私が特に注目してほしいのは、イラスティガールの母親としての姿である。旦那、3人の子どもにかける愛情が一際強く感じられた。

映像も美しい。ピクサー作品で人間社会を舞台とした作品は初めてだったが、髪の毛一本一本も忠実に表現されており、もう感心するしかない。

映像、ストーリー、キャラクター、どれをとっても素晴らしい作品だと思う。少しでも多くの人には是非観てほしい。

『モンスターズインク』にみた愛情と友情

柳沢 里沙

①Risa YANAGISAWA ② MONSTERS, INC. ③ 2002年 ④ 92分 ⑤ animation ⑦ PETE DOCTER ⑨ ディズニーとピクサー制作、CGアニメーション映画、アカデミー賞主題歌賞、⑩ When I finished watching this movie, my heart filled with warmth. Friendship is great!!

あらすじ：舞台は子供部屋のクローゼットのドアの向こう側ある、モンスターの住む世界、モンスターシティ。モンスターズ株式会社（モンスターズインク）は子供の悲鳴を集め、それをモンスター界にエネルギーとして供給している大企業で、人間の子供部屋に通じるドアをたくさん持っている。しかしモンスター達は人間の子供を害があるものとして恐れているのだった。悲鳴獲得ポイント社内No.1の怖がらせ屋のサリーとアシスタントのマイクはいつも一緒に親友であった。ある日、サリーが人間の子供のブーがドアの向こうから入ってくる場面にいあわせてしまう。2人でなんとかばれないようにブーを人間界に送り返そうとするが、さまざまな妨害にあってしまう。

I. 『モンスターズインク』との出会い

私はこの映画を中学1年生の春休みにお母さんと弟と見に行きました。自分から見たいと思って見に行ったわけではなかったので、コメディっぽい映画かなとそんなに期待もせずに見ていました。しかし、この映画は笑いあり、驚きあり、感動ありの映画でたった1時間30分でさまざまな感情が溢れ出しました。

II. サリーのブーに対する感情の変化とサリーとマイクの友情

モンスター界では人間の子供は害があると言われてるので、当然サリーとマイクも最初はブーを警戒します。しかしブーと接していく中で、サリーはこの子が自分たちに害を与えるとは思えないと思い、親心に似た愛情がブーに対して出てくるのです。ブーの言葉や行動は素直ですごくかわいい。サリーが愛着湧くのもわかります。また怖がらせ屋の仕事をしている場面をブーに見られ、ブーがサリーを怖がって近づかなくなった時のサリーのショックを受けるシーンも、サリーがどれだけブーに愛着が湧いてるのかをあらわしています。

そんな中マイクは最後までブーを警戒し続けます。ブーのことで一時、2人の友情関係にひびが入ります。それでもやっぱり親友同士。サリーがブーを1人で助けに行ったシーンに現れたマイクはすごくカッコいいです。

III. 最後まで楽しませる面白さ

この映画のエンディングにはモンスター達のNG集とマイクとサリーが本編でふざけてしていたミュージカルの完成品が流れます。アニメでNG集があるなんて初めてですごく衝撃的だったので、その発想はすごいなと思いました。最後の最後まで私たちを楽しませ、細かいところまで面白さを追求したこの映画は本当に素晴らしい作品だと思います。

『ライオンキング』に見る自分との闘い

山本 洋葵

①Hiroki YAMAMOTO ②THE LION KING ③1994年 ④87分 ⑤animation ⑨ディズニー ⑩I was moved by the content where a chief character was opposite to the past and overcame.

あらすじ：動物たちの王国であるプライド・ランドに、王として慕われていたライオンのムサファ。その息子シンバに、王として必要な考えや自然について教える。そんな中、シンバが王になることを望んでいないムサファの弟スカーは…。

I. ストーリーの魅力から

私がこの作品を初めて観たのは、今からおよそ10年前で、子供会のお楽しみ会というイベントの中で鑑賞しました。そのときはあまりこの作品について、そこまでの感動は覚えていませんでした。しかし、大人になって改めて観てみると、もっと深い意味が見えてきました。

II. 評価

ディズニーらしい映画であり、主人公のライオンもとても可愛くされている。また、物語のなかで出てくる動物たちの踊りもリズムが良くて、頭の中にメロディーが残るほどである。

III. 物語から

過去から自分を遠ざけていくのではなく、「自分」に立ち向かう姿勢がとても大切である。人は、過去の失敗からどうしても逃げたくなるのだが、過去からにげるのではなく、過去に立ち向かっていく勇気を持って、そうすることによって、また一歩、大人になって行くのではないかと思った。

『アメリ』に学ぶ、人の生き方

元泉 宗子

①Shuko MOTOIZUMI ②Amelie ③2001年 ④121分 ⑤ヒューマンドラマ ⑥オドレイ・トトゥ ⑦ジャン＝ピエール・ジェネ ⑧ー ⑨恋心、周囲の人の幸せ、アカデミー賞外国語映画賞等ノミネート ⑩I wanted to be in love and felt difficult to convey own feelings well.

あらすじ：子どもの頃から妄想好きだった主人公のアメリは大人になった今も妄想することが好きだ。彼女は自分の周りにいる人の幸せを思っちょつとしたアクションを起こす。それは恋の手伝いや内気な青年に自信を与えることなど様々だ。そんなアメリもひょんなことで出会ったある男性に恋心を抱くようになる。人の恋を応援することは得意な彼女だが、自分の恋となると話は別だ。自分の恋愛に不器用なアメリの恋の行方は・・・？

この作品の魅力はまず主人公のアメリの人柄にあると私は考える。少々いたずら好きだがそれは決して人を傷つけるものではなく、相手を思っちょつしていることなのだ。そして、人の恋のキューピッドにはなれるけど自分の恋には不器用で、素直に気持ちを伝えることをためらっているところがとても可愛く、共感できる部分がたくさんある。好きな人に彼女がいるかどうかを気にしたり、女の人と話していたと聞いてショックを受けたりと切ない恋心を抱くアメリが、彼女を応援する周りの人々のおかげで勇気を持てるようになる所も、自分が作品に登場する人物の中の一人のような気餅になって映画を観ながらアメリを応援することができる。

アメリが起こすいたずらの面白さと彼女の恋の行方の両方にドキドキしながら、どんどん作品の世界に引き込まれていった私だが、それはストーリーだけではなく、作品を一層引き立てている音楽や、舞台となっているフランスの町並み、登場人物のファッションによる効果がとても大きいと感じた。特にアメリの部屋は彼女のちょっぴり変わった性格を上手く表現しているとともに、女の子が真似したいと思うような可愛らしくオシャレな部屋のセットだった。この作品に出会って、私は自分が恋をしたいと思うだけではなく、自分の周りの人の幸せを願うことのできるアメリに憧れ、自分もそんな素敵な人間でありたいと考えるようになった。そして、作品を観終わった後の優しく穏やかな気持ちを忘れることができない。もう一度観たいと思える作品とはなかなか出会えるものではないと思うが、私にとって『アメリ』は何度でも観たいと思える作品である。自分に自信がなくて恋に悩む女性の方や、女性の気持ちが分からなくて苦しんでいる男性の方、どちらでもないけれど日常生活に何か刺激が欲しいと思っている方など、少しでも多くの人々がこの作品に触れて幸せを感じ、やさしい気持ちになってもらいたい。

映画『ルートヴィヒ』に学ぶ理想を追い続けるということ

太田 有紀

①Yuki OTA ②Ludwig ③2006年 ④237分 ⑤ドイツ映画 ⑥ヘルムート・バーガー、ロミー・シュナイダー ⑦ルキノ・ヴィスコンティ ⑧なし ⑨バイエルン王国・エリーザベト・ワグナー ⑩I think this film is very beautiful and moving. This movie represents the sense of the director.

あらすじ：『ルートヴィヒ』は、バイエルン王国の国王ルートヴィヒ2世の生涯を追った物語である。1862年にルートヴィヒ2世の父であるマクシミリアン2世が急死したことで、18歳という若さで王位に就くこととなり、ルートヴィヒ2世の戴冠式の様子からはじまる。若きルートヴィヒ2世は戴冠式を前にして、神父に賢人や芸術家たちを呼び寄せて王国の名を不朽にするという理想に燃えているという心のうちを告げる。この後王は作曲者ワグナーの音楽と衝撃的な対面をはたし、借金だらけのワグナーのパトロンとなり、「トリスタンとイゾルデ」の上演を国庫の負担で成功させる。しかし、あまりに多額なワグナーへの投資により財政難の避難を浴び、また戦争を好まないために別荘にこもりきりになったり、城の建築だけに熱中することで自らの芸術世界にのめりこむことで、国務を放棄するようになる。これに対して、様々な政治家や専門家たちが半ば不正まがいな王の精神鑑定書を提出し王に退位をせまり、王は自らの城に軟禁状態におかれる。その翌日雨の中1人の主治医とともに散歩に出かける。1時間ほどで戻るという条件のもと散歩に出た王は夜になっても帰らず、外で謎の銃声がとどろく。この後、家来たちが総出で城のそばの湖を搜索し、亡き2人の遺体を発見したところで物語は幕を閉じる。

I. 『ルートヴィヒ』との出会い

今年の夏に1か月ほど両親のいるミュンヘンに滞在した際に、観光した城のいくつかはルートヴィヒ2世が築城したものであり、またミュンヘン自体がルートヴィヒ2世と深い関わりがある街であることからルートヴィヒ2世に興味をもったため、この映画と出会うこととなった。

II. 信念を曲げず、理想を持ち続けるということ

ルートヴィヒ2世が建設した数々の城を訪ね歩いている間にも気づいたことであるが、彼の城にはその信念や理想が貫き通されていることに驚きを感じた。これは、劇中でも「国民への偉大な贈り物で心を豊かにするのです。」というセリフにも窺うことができた。しかし、それはルートヴィヒ2世が持っていた少年の心が現実と相容れなかつ

たことをも示唆しているように思える。そして、現実と折り合いをつけることができなくなったルートヴィヒ 2 世は狂気の沙汰とも言われた築城を手掛けることしかできなくなったのであろう。

しかし、この映画ではルートヴィヒ 2 世の城内は彼の精神世界ともいえるかのように、薄く青い霧がかかったように幻想的に描かれていたことが非常に印象的であった。

III. 全編を振り返って

私は、この映画を鑑賞した後、ルートヴィヒ 2 世個人について非常に興味をもったため、他の文献や彼の身近な人物（従姉でありオーストリア王妃であったエリーザベト）について、調べてみた。なぜなら、ルートヴィヒ 2 世の謎の死についてもっと知る手がかりがつかめないかと思ったからだ。しかし、どこにもそれ以上の手がかりはなく、その事実もまたこの映画の意味合いをより深くしていると感じた。ルートヴィヒ 2 世の遺体が安置してある教会へ行き、棺と対面したときは逆に、真実を知る必要はないようにも思えた。そういった面においても、この映画は幻想さを忘れないままでもあり、非常にリアルに描かれていたようにも感じられた。

IV. 監督ヴィスコンティについて

ヴィスコンティは 20 世紀初頭に貴族に生まれた人物であり、この時代にしっかりと馴染めないような人物であった。それはルートヴィヒ 2 世が自らの幻想的世界によって 19 世紀という時代に相容れることができなかつたこととなんらかの共通点を見ることができるよう思う。したがって監督が、この人物うい描くことに異様な執念を燃やしていたことを考えてみても、やはり気持ちの上で通じるものがあつたのではないかと思わずにはいられない。

『ドラゴンキングダム』アクション映画の傑作

篠原 優太

①Yuta SHINOHARA ②Dragon Kingdom ③2008年 ④105分 ⑤action ⑥Jackie Chan/Jet Li
⑦Rob Minkoff ⑧中国二大スターの初共演、壮絶アクション ⑩ Cast, Powerful action
scene, and story, everything are great. You can see something you have never seen!

あらすじ:カンフーマニアで、孫悟空を夢見る17歳のジェイソン(マイケル・アンガラノ)。ある日チャイナタウンでギャングに追われた彼は、次の瞬間古代中国のとある村で目を覚ます。大酒飲みの男ルー・ヤン(ジャッキー・チェン)に危機を救われたジェイソンは、やがて白馬に乗ったサイレント・モンク(ジェット・リー)に出会い……

I. 『ドラゴンキングダム』との出会い

私は、正直なところ武術映画があまり好きではなかった。なぜなら、最近の武術映画はCGを多く取り入れ、現実味が極端に少ないと感じていたからである。それゆえ、最初はこの『ドラゴンキングダム』にもあまり期待していなかった。しかし、実際、映画館でこの映画を見たときの感想は、素晴らしい一言であった。確かに、この映画でも多くのCGが使われているが、そんなことに関係ないほど、主演の二人(ジャッキーチェン・ジェットリー)のアクションが私をこの映画にのめり込ませたのだった。

II. 挑戦することの大切さ

この映画では一人の青年が登場する。彼は最初とてもか弱い青年で、よくいじめられていた。しかし、ひよんなことから”伝説の封印されし孫悟空”を救う命がけの旅になる。その旅の途中で、武術の達人である二人に出会う。彼は旅をしていくうちに武術を習得していき、孫悟空を助け出すことに成功する。そして旅が終わり強くなった彼は、今までいじめられてばかりいた自分から脱却し、新たな強い心をもった男として生まれかわる。そんな彼の成長を細かに映し出すストーリー展開をぜひ見ていただきたい。

III. 壮絶なアクションシーン

ジャッキーチェン、ジェットリーといえば中国、いや、世界を代表するアクションスターである。その彼らが共演するのであるから、アクションシーンが面白くないわけがない。

彼らは幼いころから、本格的に武術を学んできた。映画の各所に見られる本格的な武術(主に中国拳法)は誰が見ても迫力満点なシーンであろう。そんな彼らの格闘シーンをあますことなく見られるこの映画をぜひ一度見ていただきたい。

日本映画篇

『アメリカ映画研究を始めるまえに』と題しながら、日本映画を紹介するのも変な話ですが、大学間の交流がますます国際化し、留学生の数が増してきた現在にあっては、むしろ日本映画のほうが、海外からはより関心を持って眺められているのかもしれない。

そこであえて、日本の映画についてコメントしてくれた学生たちのレポートも掲載することにしました。

『紅の豚』 ～ 2人の女性～

谷口 雅哉

①Masaya TANIGUCHI ②*Porco Rosso* ③1992年 ④93分 ⑤anime film Studio Ghibli
⑥voice actor : Shuichiro Moriyama Tokiko Kato Akemi Okamura ⑦Hayao Miyazaki ⑧
Hayao Miyazaki "Hikotei Jidai" ⑨飛行艇乗り 賞金稼ぎ 空賊 ⑩Summing up this
movie, the cool man is like Porco Rosso.

あらすじ：この映画は、飛行艇時代の地中海を舞台に、誇りと女と金をかけて空中海賊と戦い、紅の豚とよばれた一匹の豚の物語である。(本編冒頭より引用) 宮崎駿の短編漫画『飛行艇時代』を映画化した作品で、第一次世界大戦後のイタリア、アドリア海を舞台にした物語。主人公ポルコ・ロツソは賞金稼ぎの飛行艇乗りで空賊相手に荒稼ぎしていた。空賊たちは用心棒を雇いポルコと戦わせる。エンジンの不調で敗れたポルコは、愛機を馴染みの店へ修理に出すが……

I. 男の生き様

私がこの作品を初めて見たのは小学生の頃だった。その頃の私には、飛行艇による空中戦にばかり興味を惹かれ、それ以外はそんなに面白いと思うものではなかった。それが年を重ねるごとに、主人公ポルコ・ロツソの台詞や行動から彼の考え方、生き様を見るようになった。「カッコイイとはこういうことさ」というキャッチコピーにあるように、私も憧れに近いものを持つようになった。

II. 女の生き様

今まで飛行艇の戦闘シーンやポルコや空賊たちなど、男臭いに世界にばかり目がいていたが、改めてこの作品を見ると、違った目線で見ることができる。それは、物語に登場する2人の女性に対するものである。1人はポルコの旧友であるマダム・ジーナ。もう1人は飛行艇製造会社を経営する昔馴染みの孫娘、フィオ・ピッコロ。この2人とポルコとの描写はとても対照的である。フィオは共に行動する少女。ジーナは待つ続ける女性。この物語において登場する主立った女性はこの2人だけである。そして、2人しかいないからこそ、その対照的な描写がはっきりしている。そんなジーナも物語の終盤ではポルコを助けるために行動に出る。3人の結末ははっきりとは描かれていない。しかしそのことで、見る者それぞれにその結末を想像させるものになっている。

スタジオジブリの作品は子どもから大人まで楽しめるものが多いと思う。しかし、この作品はある程度年を重ねているからこそ理解し読み取れるものが多い。時が経つと、ふと見返したくなる作品である。

『となりのトトロ』～大人も楽しむアニメ～

高野 由梨

①Yuri Takano ②Totoro Next Door ③1988年 ④86分 ⑤アニメ ⑥宮崎駿 ⑦宮崎駿 ⑧このへんな生き物はまだ日本にいます。たぶん。⑩
This movie of animation is also good for adults to enjoy.

あらすじ：大学で考古学を研究している学者のお父さん、小学校4年生のサツキ、4歳のメイの3人が引っ越してきたのは、豊かな自然と美しい四季があふれる田舎のおんぼろ屋敷。お化け屋敷のような家にサツキとメイは大喜びします。ある日、メイが一人で庭で遊んでいると真っ白とみず色のふわふわのウサギのような生き物を発見します。メイは、その生き物を見つけ大興奮。その生き物についていってしまいます。そしてたどり着いたところが、森の奥の楠木の中。そこにいたのが、とっても大きい灰色の生き物。トトロです。トトロは森の奥に昔から住んでいる森の主で、子どもにしか見えません。サツキとメイはトトロのことが大好きになり、無邪気に遊びまわります。こんな楽しい日々が続いていたある日、町の病院に入院しているお母さんの具合が悪くなった、との電報が届きます。大学のお父さんに連絡するため電話を借りていった帰りにメイとサツキはけんかをしてしまいます。もうすぐ一時帰宅する予定だったお母さんの具合が悪くなってしまい、一時帰宅することができなくなってしまったのでメイがわがままを言い出したからです。悲しみにくれる中、メイはあることを思い出します。それは、隣に住むおばあちゃんが言っていた「おばあちゃんが作ったとうもろこしを食べればお母さんの病氣なんてすぐ治ってしまうよ」という言葉です。メイは、お母さんにとうもろこしを持って行ってあげようと1人で遠く離れた病院をめざします。突然いなくなってしまったメイをサツキは必死に探します。村では、池に落ちたのではないかと捜索隊をだすほどの大騒ぎになってしまいました。サツキは、森の中に走っていきトトロにメイが迷子になってしまい見つからないから助けてほしいと願います。トトロは、空とぶネコバスを呼び出して、サツキをのせます。ネコバスは颯爽と山をひとつとび。歩きつかれて座り込んでいるメイを発見します。そしてお母さんのいる病院まで2人を運んでくれるのです。

この映画を見て感じたこと

この作品を見て1番感じたことは、大人が見ても楽しめる映画だということです。トトロの様な架空の生物を想像することは、子どものころ誰もが経験したことがあることです。この映画を見れば子どものころのことを思い出して、懐かしい気持ちにさせてくれるに違いありません。

また、宮崎駿氏の作品は絵がとても綺麗ですし、音楽もすばらしいです。見
ていて癒されるような作品です。

見るだけで子どもころの懐かしい気持ちにさせてくれ、癒されるこの作品
をぜひ子どもだけでなく大人にも見てほしいです。

現在のアニメブームを通して感じること

今、アニメにはまる大人たちが増えています。いわゆるアニメおたくという
やつです。世間では、そういう大人たちを恥じるように冷たい目でみますが、
アニメを見ることは悪いことではないと思います。アニメを見ることで子ども
ころの純粋な気持ちや懐かしい気持ちを思い出すことができるのならば、む
しろ大人もアニメを見るべきであると思います。

また日本のアニメは海外でも非常に人気になってきています。スタジオジブ
リの代表作品ともいえる、このとなりのトトロは、ぜひ海外の人たちにも見て
もらいたい作品です。

『となりのトトロ』にみる空想の世界

辻内 智巳

①Satomi TSUJIUCHI ② My Neighbor Totoro ③ 1988 年 ④ 88 分 ⑤ animation, fantasy story ⑦ 宮崎駿 ⑨ 冒険、未知との遭遇、家族愛 ⑩I remember my young days on watching this movie. I wished I could meet Totoro.

あらすじ：小学3年生のサツキと5歳になるメイは、お父さんと一緒に都会から田舎の一軒屋にと引っ越してきた。近くの農家の少年カントに「オバケ屋敷!」と脅かされたが、事実、その家で最初に二人を迎えたのは、“ススワタリ”というオバケだった。ある日、メイは庭で2匹の不思議な生き物に出会った。それはトトロというオバケで、メイが後をつけると森の奥では、さらに大きなトトロが眠っていた。一家が新しい家に馴染んだころ、サツキもトトロに遭遇した。雨の日の夕方、サツキが傘を持ってバス亭までお父さんを迎えに行くと、いつの間にか隣でトトロもバスを待っていた。しばらくするとオバケたちを乗せて飛び回る大きな猫バスがやって来て、トトロはそれに乗って去って行った。サツキとメイはトトロにもらったドングリの美を庭に蒔いた。その実はなかなか芽を出さなかったが、ある風の強い晩にトトロたちがやって来て一瞬のうちに大木に成長させてしまった。ある日、一人家で留守番していたメイは淋しくなると一人でお母さんが入院する山の向こうの病院を訪ねようとするが、途中で道に迷ってしまった。サツキは村の人たちとメイを探すが見つからないので、お父さんに病院に行ってもらい、トトロにも助けを求めた。トトロはすぐに猫バスを呼び、不思議な力でたちどころにメイのいる場所へ連れていってくれた。そして、さらに猫バスは二人を、山の向こうの病院までひとつ飛びで運んでくれた。窓から病室をのぞくと明るく笑うお父さんとお母さんの顔があった。二人はお土産のとうもろこしを窓際に置き、一足先に家に帰るのだった。

I. 『となりのトトロ』との出会い

私が生まれて初めて見たアニメーション映画がこの『トトロ』だ。テレビで放送されたのを母親がビデオに撮っており、暇があれば繰り返し何度も見た。この映画は見過ぎてても、見飽きることはない。それほどに私の心を驚掴みにした。トトロや猫バスという、実際には存在しない生き物が登場し、物語を展開していく。なんでも受けとめてくれそうな大きな体、大きな口とする豪快なあ

くび、つぶらな瞳、挙げ出すときりがないが、トトロの風貌に私は一瞬で心を奪われた。その他の登場人物も皆個性豊かで、終始、視聴者を飽きさせることがない。

II. 純粋な心の大切さ

メイもサツキも、純粋な心を持っていたからトトロに出会うことができ、トトロという生き物の存在を信じたからこそ、トトロは何度も二人の前に現れ、メイが迷子になった時も手助けをしたのだろう。トトロのおかげで全てがうまくいく。トトロが画面に登場すると、一気に雰囲気が変わり、どこか異世界に飛び込んだような錯覚に陥る。トトロとともにある世界は、全てが驚きと喜びと楽しさで満ちあふれている。現実では考えられないようなことが次々に起こる。それらを純粋な心で受けとめ、素直に楽しむことができれば、退屈なんてする暇がない。次はどんな不思議なことが起こるのか、そればかり考えてしまうのだ。

III. 心に残るシーン —猫バス—

話が進む中で私に更なる衝撃を与えたもの。それが猫バスだ。ネコバスとは、メイが迷子になりサツキがトトロに助けを求めた時に呼んでくれた乗り物だ。サツキは突如現れた猫バスに躊躇いながらも乗り込み、ゆっくりと見るからに座り心地の良さそうなふかふかのシートに座る。おそらく猫の毛でできたシートがふわっとへこみ、シートが元に戻ろうとする力でサツキの体が数回上下に揺れる。その描写が、シートの柔らかさを存分に表しており、「私も猫バスに乗って、そのふかふかのシートに座りたい！」という衝動にかられた。この思いは今も変わることがない。それほどに私は猫バスに乗ることを夢見た。乗ることは出来ないと分かっているものの、この思いを捨てることはできなかった。このシーンは一生忘れられないだろう。

『となりのトトロ』を見たことがない人はほとんどいないと思うが、万が一、見たことのない人がいるのなら、死ぬまでに1度は見て欲しい。そして純粋に楽しんで欲しい。童心に戻ることができ、幼かった頃の思い出に浸ることができる。幼少の頃に見た人は、大人になってからも是非見直して欲しい。また違った見方ができ、新しい発見などもあるかもしれない。私は何歳になっても、見直したい。将来、年をとった私が見直した時に、どのように感じるのか、今は全く想像がつかないが、非常に楽しみだ。

『風の谷のナウシカ』から学ぶ理想の人間像

杉岡 美穂

①Miho SUGIOKA ②Nausica in the Valley of the Wind ③1984年 ④116分
⑤animation, Science Fiction ⑦⑧Miyazaki Hayao・宮崎 駿(1941-) ⑨観客
動員数 91 万人、WWF 世界野生生物保護基金(現・世界自然保護基金)推薦作品、環
境問題・戦争批判 ⑩I never fail to watch this movie when it is broadcasted. We
can learn the importance of the ecology and the cruelty of wars from this movie.

あらすじ:環境問題や戦争批判を取り上げた SF 的要素の強い宮崎作品。「火の7日間」と呼ばれる最終戦争により、極限まで発達した高度な文明は滅ぶ。それから 1000 年がたち、わずかに残った人類は、巨大な蟲たちの棲む、有毒なガスを発する「腐海」と呼ばれる菌類の森に脅かされて生活していた。「風の谷」と呼ばれる小国に住む、族長ジルの娘ナウシカは、大国トルメキアとの戦乱に巻き込まれながらも、自然との共生を願い、過酷な運命に立ち向かっていく。

I. はじめに

私がこの映画と出会ったのは、小学生ぐらいであった。当時は、映画の内容がはっきりと理解できず、ただたくさん巨大な虫の出る映画だとしか思わなかった。しかし、中学生ぐらいになり、物語がはっきりと分かるようになり、この映画にすっかり魅了されてしまった。それからはこの映画がテレビで放送されると、すでに何度も見て、結末を知っているにもかかわらず、何度も繰り返し見てしまう。

過酷な環境の中でも、協力し合い、逞しく生きる「風の谷」の人々の姿に感動し、悲惨な現実と立ち向かう少女ナウシカの生きざまに勇気をもらうことができる。また、アニメを通して、環境破壊や戦争など現在世界中で危惧されている多くの問題について考えさせられる。この映画を通して、普段我々が忘れていたたくさんのかげがえのない物に気付かされる。

II. ナウシカから学ぶ人間の在り方

この映画の主人公、ナウシカは私の目標とする女性である。彼女は、強さと勇敢さ、優しさと素直さを併せ持つ器の大きな人間である。ナウシカから学ぶことは沢山あるが、それを大きく3つに分けて説明したい。

第一に、ナウシカは嘘をつくことなく、感情表現の豊かな素直で純粋な女性である。メーベに乗り、風を切って飛ぶ爽快な表情、腐海の底にきれいな空気が存在することを知った時の泣きながら喜ぶ表情、誰も殺したくないのに怒りで意思に反して殺してしまった自分を悔やみ嘆き悲しむ表情、トルメキア兵士に撃たれ、怒り狂った王蟲をなだめ誘導するときの愛に溢れた表情・・・彼女は思いを包み隠すことなく、素

直にイキイキと生きている。彼女のその姿に、周りも心を動かされ、何かを感じるに違いない。私も、誰にでも心を開き、自分の気持ちに正直に生きたい。

次に、彼女は正義感が強く、何があろうと信念を曲げない女性である。争うことを嫌い、人間中心でなく、自然を尊敬した生き方を通そうとしている。その考えを最後まで貫き通し、自分の身の危険も顧みず、蟲の大群や、トルメキアの兵の元へ向かっていく彼女の姿は、我々と同世代の女性とは思えないほど立派である。死への恐怖や自分の弱さに打ち勝ち、真実を追求し続け、信念を決して曲げない、ナウシカは真の強さを持っている。

最後に、彼女は誰に対しても思いやりの心を忘れず、公平な心の広い女性である。老若男女問わず、谷の人々皆から慕われ、他国の人々や、蟲たちにさえ、信頼され愛されている。人々は蟲を恐れているが、彼女は蟲を友達のように思っている。見かけや評判に惑わされず、内面を見極め、受け入れる広い心の持ち主であると思う。ナウシカは姫であるのにもかかわらず、谷の人々とともに働き、奢り高ぶることなく、誰に対しても公平な態度をとっている。ナウシカが皆から、慕われ、愛され、多くの協力を得られるのは、彼女がそれだけのことを人々にしてきたからである。

ナウシカは、私たちが普段忘れがちなことをなげなくこなす魅力的な女性である。いきいきと輝きを放ち、優しさに充ち溢れ、どんな困難にも立ち向かう強さを持つ、穏やかな女性、彼女が皆から愛されるのにはたくさんの理由がある。彼女は、私にとって、憧れであり、尊敬の対象であり、模範にしたい女性である。

『こぎつねへレン』～生きる素晴らしさ～

殿谷 時

①Tokinao TONOYA ②KOGITUNEHEREN ③2006年 ④108分 ⑤命、動物 ⑥大沢たかお 松雪泰子、深澤嵐 ⑦河野 圭太 ⑧今井雅子 ⑨life is ….. ⑩It is hard to live. Life is strong. This movie showed me what life is.

あらすじ：北海道を舞台に、目と耳が不自由なキタキツネを育てる少年と家族の絆を描く感動の物語。ある日少年は、ひとりぼっちの子ぎつねに出会った。待ち望んだ春の陽射しを浴びて緑に輝く北海道の大地で…。母ぎつねの姿はどこにもなく、子ぎつねは道端にうずくまったまま動こうとしない。少年は、そんな子ぎつねを思わず抱き上げる。3人の“家族”に、突然太一が連れ帰った子ぎつねが加わった…。一匹の子ぎつねが日本中に愛とやさしさを届けます。

1 この映画との出会い

この映画をみるきっかけは主人公が犬や猫といった定番の動物はなく、きつねであることに興味をもちました。

2 生きる難しさ

切ない運命を背負いながらも与えられた命を生きぬく子ぎつね、視覚、聴覚、嗅覚を失い、“へレン”と名づけられた子ぎつねと人間の触れ合いを綴る。我々は普段当たり前前に生きているが、それ自体素晴らしいことであるということを実感してもらいたい。

3 特に見てほしい点

私たちは動物の一種である。そして体は自然そのものである。自然環境を守る、動物を保護するという事は、私たち自身を守るための作業です。全ての生き物には、個々の生き方に物語であり、へレンのそれもそのひとつ。私には、紹介する義務があると思った。映画になると聞いて、半分うれしく、半分怖いなあ、と思いました。私たちの当たり前の作業が、美談に終わらず、普通のこととして理解されることを願っています。

『LIMIT OF LOVE 海猿』で味わう友情と愛の絆の強さ

吉井 計太

①Kazuhiro YOSHII ②Limit Of Love Umizaru ③2006年 ④119分 ⑤love story ⑥伊藤英明 加藤あい ⑦Eiichirou Hasumi ⑧Yasushi Fukuda ⑨海軍、命、愛 ⑩Saving lives and believing in friendship and love are splendid.

あらすじ：映画第一作『海猿』（2004年6月12日東宝系公開）が再びスクリーンという名の海に帰ってきた。機動救難隊へと異動し機動救難士となった仙崎と吉岡。仙崎は遠距離恋愛ながらも、環菜とは順調であった。ある日、機動救難隊に出勤が命じられる。任務内容は、座礁したフェリーでの救命活動。要救助者は2名。二人を助けるために、浸水し傾いてゆくフェリーの中で仙崎と吉岡は絶体絶命の危機に迫られる…。

I. この作品との出会い

僕は、この作品をスクリーンで見たわけではありません。夏休みの暇ある日、家族の誰かがテレビで放送されたこの作品を録画していたのを暇つぶしのために見始めました。しかし、気づけば僕はこの作品のとりこでした。

II. 感銘したポイント

この作品の素晴らしさは、なんといっても友情と愛の絆の強さです。絶体絶命の危機にたたされても、仙崎は自分の命を顧みずに仲間との約束を果たすため、命を救うために立ち向かっていきます。そして、愛する人のために絶対に生きて陸に戻るという強い意志のもと、無事に任務を終えることができました。仲間を救うために…愛する人のために…そんな思いがこれほどにまで人間を動かす原動力になるんだなと思いました。

III. 感動のシーン

ぼくが一番感動したシーンは、どんどんと沈んでいく船の中で自分に死が迫っているなかで仙崎は、環菜と電話をつなぐことができ、その電話での会話の中で仙崎はプロポーズをするというシーンです。自分が死の危機にたたされているなかでこのようなことをする仙崎は、すごく男らしい人間だと思いました。僕もこんな男になりたいと思いました。

『海猿』から学ぶ命の大切さ

増田 寛那

①Kanna MASUDA ②Sea monkey ③2004年 ④119分 ⑤An impression, love story ⑥伊藤英明・加藤あい ⑦羽住英一郎 ⑧佐藤秀峰 ⑨仲間の大切さ、命の大切さ、大切な人を信じる気持ち ⑩If I'd like to help the person who loves most, I have to believe you. In whatever kind of situation it's put, you aren't supposed to abandon an important person.

あらすじ：人命救助のため、危険を冒して海の底深く潜る〈潜水士〉。全海上保安官のうち、わずか1%しかできないという海難救助の最前線を目指し、選りすぐられた14名の若き保安官が50日間の厳しい研修に臨む。潜水士は常にバディと呼ばれる相棒とペアで行動し、厳しい訓練を通じ2人に強い絆が生まれた矢先、事件は起きた…。過酷な訓練の中で成長し、友情を培っていく若者たちを描く、青春映画。

I. 海猿との出会い

主人公の愛する女性と私の名前が同じだったためこの作品に興味を持ったのがきっかけであったが、だんだん見るにつれて共感したり感動したりといろいろな気持ちになり、次第にこの作品の世界に入り込んでいた。

II. 命の大切さ

自分の命もかかわる極限の状況においても、主人公はバディである仲間を見捨てず人命救助に励んだ。その姿勢をみて私は自分の命を捨てても大切なものを守ろうとする主人公に感動と衝撃を覚えた。

III. 信じることの大切さ

人を信じることはとても難しいことで、ましてや自分の命がかかっている状況や、暗い海の中一人で孤独と戦いながら人を信じて待つことができるには、お互いの信頼や強い精神力が必要だと思う。

この作品を通して、私も本当に自分の命にかえてでも守り抜きたいものを見つけたと感じた。それは、けして軽い気持ちでできることではないと思う。

『男たちの大和』戦争の過酷さ、平和の尊さ

井戸本 陽

①Akira IDOMOTO ②Men's YAMATO ③2005年 ④145分 ⑤War、Action ⑥反町隆史 ⑦佐藤純彌 ⑧辺見じゅん・決定版 男たちの大和 ⑨終戦60周年記念、菊水作戦、戦艦大和 ⑩ I saw this movie, and learnt that present peace was very honorable.

あらすじ：2005年4月、鹿児島島の枕崎漁港に一人の女性が訪れた。その女性＝内田真貴子は、大和が沈没した箇所へ連れて行って欲しいと頼み回るが、漁師達は相手にしてくれない。そんな漁師の中に、水上特攻時に大和の乗組員として乗艦していた神尾克己がいた。一度は真貴子の頼みを断るが、彼女が自分の恩人であった内田兵曹の養女である事を聞かされる。その瞬間、60年間ひっそりと暮らしていた神尾に若き頃の思い出が浮かび上がってきた。彼女の頼みを聞き入れる事にした神尾は、たった一人の少年乗組員・前園敦と共に彼女を乗せ、大和の沈没ポイントへと出航した。そして、ずっと閉ざしていた口を開き、過去の事をあまり語らなかった内田兵曹の話を彼女に語り始めるのであった。

I. 戦争と平和

私たちは今、平和な世界を当たり前のように生きてはいないか。当たり前すぎて、平和のありがたみを忘れてはいないだろうか。高校生の時初めてこの映画を見て、そんなことを考えさせられた。戦争の経験もない平和な時代を生きる私たちにこそ、この映画を見る意味があるように思う。戦争があった、犠牲もたくさんあった。その結果として平和がある。そのことを忘れないようにすることが大事なのではないか。

II. 水兵や下士官からの視点

この映画では水兵や下士官の視点から物語が描かれている。特に水兵たちは私たちと年齢も近い。そのため、私たちのような若年層も感情移入がしやすく、より現実を起こったこととして受けとめることができる。若くして戦場に赴くこととなった兵士たちの気持ちを鮮明に感じ取れる映画である。まだ大人とはいえない青年たちが祖国のために必死に戦い、命を落としていく様子は、決して平常心では見られないだろう。

III. 様々な人間ドラマ

単に戦争だ平和だということだけではないのがこの映画の特徴だ。水兵、下士官、そしてその家族、一人ひとりの気持ちや人間関係を丁寧に描きあげている。また、兵士たちが映画的な格好をつけたシーンも皆無だ。傷つく戦友の名を叫び、泣き、上官に反発し、負けると分かっている状況で我を忘れたかのように悪あがきをする兵士たち、そんな美しさもない場面が多々描かれている。しかしそこにこそ兵士たちの人間味を感じ取ることができるのだ。彼らも兵士である前に人間である。そういう英雄的な要素を一切省き、人間としての戦争への気持ちを描いたこの映画だからこそ、共感できることも大きいのである。

『リアル鬼ごっこ』命の大切さ

神崎 文哉

① Fumiya KANZAKI ② Real tag ③ 2007年 ④ 98分 ⑤ Horror action, Survival story ⑥ 石田卓也・谷村美月 ⑦ 柴田一成 ⑧ 山田悠介 ⑨ 究極の鬼ごっこ、捕まれば「死刑執行」、親友や妹との絆 ⑩ It was unbelievable that a word of only one person deprived of a lot of lives in this movie. I knew the depth of bonds with the best friend.

あらすじ：西暦3000年。王様が治めるこの国は人口が約1億人、そして「佐藤」という苗字を持つ人口は500万人を超えていた。ある日、王様は自分の苗字が「佐藤」であることに対して「佐藤と名乗るのは自分だけでいいと！」と怒り、「鬼ごっこのようにゲーム感覚で全国の佐藤を捕まえ、抹殺する」という恐るべき計画を提案する。期間は12月18日から12月24日の1週間。期間中23時から24時までの1時間、全国に国王の兵士100万人を「鬼」として配備し、時間になったら、その鬼は「佐藤探知ゴーグル」なる特殊な機器を用いて付近の「佐藤」姓の人間を探索、発見し次第、追いかける。「佐藤」は、捕まったら最後、秘密の収容所に連れて行かれる。そして、捕まった暁には眠るように殺されてしまうのだ。

I. CMにひかれて

私がこの映画を知ったのは、あるバラエティー番組を見終わったあとのCMからである。私は、ホラーやサバイバル系統の映画が好きだったので、私好みの映画宣伝をしているそのCMが目にとまり、ぜひ鑑賞したいと思うようになった。小説にもなっておりベストセラーとしても有名である。

II. 物語の展開と、登場人物のマッチング

この映画は、一週間の戦いを主としているので、一日ごとに展開が変わるように工夫されている。よって、ハラハラ感が途絶えないことが一番の見所と言っているだろう。それに、親友との絆や、妹との再開を夢見る兄の一生懸命さは人々の感動を呼ぶ。

III. 心に残るシーン 一走り逃げる、命一

一日目は、鬼に見つからず逃げ切れるものの、二日目から佐藤さんの人数が減り、鬼に見つかる確率が増えてくる中鬼に見つかり、逃げる主人公や親友などの必死さがひしひしと伝わってきた。そのなかでもとくに最終日は何人もの鬼に出会いピンチになることも。そんなとき思ったのがもし自分がこのような状況に陥ってしまったらどうしようかということである。それを考えると命は重い。

『ただ、君を愛してる』を見て感じたこと

恵美 知奈

①Haruna EMI②Tada kimiwoaishiteru③2006年 ④123分 ⑤恋愛 ⑥玉木宏
宮崎あおい ⑦新城毅彦 ⑧市川拓司 ⑨純愛 ⑩Love is beautiful.

あらすじ：主人公の女の子はある遺伝的性の病気をもっている。彼女の家族もみんなこの病気で亡くなっていった。その病気の原因は不明であるが、成長すると共に病気も進行していく。だから彼女は自らの成長を止める薬を飲んでいたのであるが、ある日恋に落ちてしまい、あまりにこどもっぽく相手にされないの、薬を飲むのをやめえしもう。

『ただ君を愛してる』を見て感じたこと、それは恋をすることの大事さである。例え恋をすることによって自分の命を落とすことになったとしても、自分の気持ちに正直でいること、想いを伝えることこそがだいじなのである。主人公の女の子は好きになった男の子と一度、たった一度キスをして、男の子の目の前から姿を消す。元々男の子は違う女の子のことが好きで、主人公の女の子はずっとそれにヤキモチを焼いていた。

しかし、その一度キスをする機会を手にして、それを境に彼女は海外へ旅立ってき、彼の知らない内に息を引き取る。自分の命を優先するのが普通に考えて正しいと思う、それが普通である。しかし、普通以上になったとき、それほど人のことを好きになれるということは、本当に立派であり、素晴らしいことである。

振り返ってみて、やはり人のことを好きになるということは、人間が思う感情のなかで最も大事な感情ではないかと思った。人を愛するということは、自分自身に素直になることでもあるんだと感じました。泣きました。

『ただ、君を愛してる』に見る純愛

桑原 悠希栄

①Yukie KUWAHARA ②Tada, kimi wo aishiteru ③2006年 ④116分 ⑤love story ⑥玉木宏・宮崎あおい ⑦新城毅彦 ⑧市川拓司：恋愛写真 もうひとつの物語 ⑨純愛映画、市川拓司の名作、人生ただ一度のキスただ一度の恋 ⑩The ending is sad and emotional, so I can't stop weeping.

あらすじ：誠人は大学の入学式の日車が止まらないことで知られる横断歩道で不思議な少女静流と出会う。静流はその日から誠人を好きになり、彼に近づくために彼の趣味のカメラと一緒にしはじめる。一方、誠人は大学のマドンナみゆきに恋をする。それでも静流は純粋に誠人を愛し、ある事情から二人は誠人の家で奇妙な同棲生活を始める。ある日静流はコンクールに出す写真として誠人とのキスを撮りたいと言う。静流と誠人は二人の秘密の森でキスをする。誠人はそのキスで自分の中で静流の存在が大きくなっていくことに気付く。しかし、その後静流が突然姿を消す。

I. 『ただ、君を愛してる』を見て

私は友達に誘われこの映画を見に行った。テレビでの紹介や宣伝が少なかったのもそんなにいい映画ではないだろうと思っていたがいい意味で予想が裏切られた。森、湖、写真がすごくきれいで物語に合っていて自然に話に引き込まれた。静流と誠人はお互い誰にも相談できない悩みを持っていて特に誠人の思い悩む姿に共感した。主人公が完璧でないがゆえに共感できることも多く一見不自然に感じられそうな静流の純粋さも自然と受け入れられた。

私は普段映画で泣くことはないのに、ラストシーンでは自然に涙が出てきて隣に友達がいるのも忘れて号泣してしまった。

II. ただ好きな人が好きな人を好きになりたかっただけ・・

主人公静流の純粋な愛にハッとさせられた。誠人がみゆきのことが好きだということを知った後、静流はみゆきと仲良くなりみゆきを好きになるという予想外の行動を取った。「ただ好きな人が好きな人を好きになりたかっただけ」誠人にどういうつもりだと聞かれ静流が答えた言葉だ。普通そんな風に考えられないだろう、映画の中だから通用する話だ。そう思いながらもそんな言葉を言ってみたく、そんな風に考えられるようになりたいと思っている自分がいた。

年をとるに連れ純粋な気持ちは薄れていくような気がするが、それでもなくしてはいけない、いつまでももっていたいと思わせてくれる映画だった。現実にこんな純粋に人を愛することができるのかわからないが、駆け引きや計算がなくただ純粋に人を愛するそんな恋を試してみたいと思った。

III. 原作を読んで

映画を見てすぐ原作を読んだ。よく原作と違いガッカリすることがあるがこの映画は原作の魅力をより引き出すものだった。映画では小説ではイメージでしか浮かばない風景、写真が映像で見られて写真のすばらしさがより伝わると思う。森や湖などすごくきれいで頭の中のイメージがそのまま映像化されたようだった。

映画との違いを楽しむために映画と一緒に原作も読んでほしい。

『タイヨウのうた』～生きるということの勇気～

井上 晋平

①Shinpei INOUE ②TAIYOU-NO-UTA ③2006 ④119分 ⑤命、恋愛
⑥YUI・塚本高史 ⑦小泉徳宏 ⑧坂東賢治 ⑨Live,Life,Love ⑩To live is very
difficult. But this movie showed me that life is very wonderful and emotional.

あらすじ：太陽の光にあたると死んでしまうという病気のXP（色素性乾皮症）をかかえる雨音薫は毎日夜になると駅前の広場でストリートライブを行っていた。歌うことにより生きているということを感じていた。そんな昼夜が逆転した生活の彼女の秘密の楽しみは、明け方にサーフィンに向かう孝治を寝る前に窓から眺めることであった。そんな巡り合うことのないはずの二人は出会い、薫は初めて「普通の恋」を体験する。そんな幸せの中薫の命が残り少ないことが判明する。“歌うことは生きている証”である薫に孝治はある約束をするのである…。

1. この映画との出会い

この映画をみたきっかけは私が主演のYUIのファンだったということがある。また、原作を読んで、生きるということの喜びを再び考えさせられたため映画にも興味をもったのである。

2. 「生きる」ということ

ふだん私たちは普通に生きていることが当たり前のように生活をしている。しかし、あることをすることで生きていると心から感じるものが生き続けるために必要な人もいるのである。この映画の主人公である雨音薫もその一人であるだろう。彼女は“歌うことは生きている証”という考えを持っている。歌うことを通じて両親に感謝したり、友達と友情を交わせたり、恋人に気持ちを伝えることができるのである。このように生きているということに意味をしっかりとつけている人の人生はたとえ短くともとても壮大であり大きな感動を与えるだろう。そのようなとても意義のある一生を送りたいと思わせてくれた作品である。

3. 特に見てほしい点

この映画のみどころはまず薫が必死に生きようとしている姿であろう。そして彼女を精いっぱい支えようとする孝治。この二人の健気な姿勢には心打たれるものがある。さらには薫の歌である。彼女の歌である「Good-bye days」は主演のYUIがこの映画のために作詞、作曲したものであるが、映画ととてもマッチしているのである。切ない中にも生きようとする勇気や思いを伝えようとする気持ちを感じさせる歌詞やメロディーは涙を誘うであろう。また、本来シンガーソングライターであるYUIが初めて挑戦する演技も注目すべき点ではないだろうか。

『恋空』から伝わる生きる喜び

森脇 奈菜

①Nana MORIWAKI ②love the sky ③2007年 ④90分 ⑤ラブストーリー ⑥新垣結衣 三浦春馬 ⑦今井夏木 ⑧美嘉：恋空 ⑨生きていることの幸せ ⑩It is a painful scene that I remain in the impression that wishes the happiness of seeing without telling my sickness thinking the fathom sees, and bids farewell to it.

あらすじ：世間を騒がせた“携帯小説”からの超大作。携帯小説ランキングで1位を取り続け、“小説化”し、なお人気を保持し続けた。そして待望の“映画化”が実現した。今までの映画界のストーリーに比べ、より現代の女子高生の恋心を描いた作品である。ごく普通の女子高生「ミカ」は、今まで本気で人を愛したことがない。そんなミカの毎日に、「ヒロ」という今までの人生をかえる男子高校生が現れる。地味なミカと派手なヒロ、見た目も中身も違う2人が現代的な「恋」に落ちる。沢山の壁を乗り越え、ミカは本気でヒロを愛する・・・ところが、突然ヒロに別れを告げられる。ミカはヒロを追いかけるが、実はヒロには別れなければならない理由があった…。

史上初！携帯小説から始まった映画・・・その魅力について♪

私が恋空と出会ったのは、携帯小説のサイトからだった。ストーリーの展開が早く、主人公の恋心にも沢山共感でき、夢中になって読み、涙を流したこともあった。この作品の1番の見どころは、ヒロがミカに突然別れを告げる“理由”である。高校生には何とも悲惨な現実が待っていた・・・というシーン。もし、私がミカの立場であったらどうするのだろうか。。とても考えさせられ、主人公の気持ちがリアルに表現されていて、自分のことのように感じさせられた。

ただ、映画の内容として受け止めるだけでなく、また、ただ単に恋愛がしたい！だけで生きている今の女子高生に、現実はそう甘くないこと。人を愛することは、決して簡単なことじゃない。と、いうことを、実感させられる作品だ。

「恋空」は、ぜひ男性にも見てほしい。女性の視点から描かれているシーンが多く、私は共感したが、男性に理解しがたいかもしれない。けれど、恋愛はお互いが必要として成り立つものだ。ぜひ、この映画を見て女性の気持ちを知ってほしいと思う。

切ない恋物語であるが、“物語”としてだけでなく、主人公に共感し得るものが沢山ある作品だ。

『パコと魔法の絵本』の愛にあふれた世界観

泊 咲織

①Saori TOMARI ②PACO and The Magical Book ③ 2008年 ④ 105分 ⑤ Comedy, touching story ⑥役所広司, アヤカ・ウィルソン ⑦中島哲也 ⑧後藤ひろひと ⑨子どもが大人に、読んであげたい物語 ⑩It was a touching movie. I thought that showing consideration for others is very important.

あらすじ：中島哲也監督が、後藤ひろひとの戯曲「MIDSUMMER CAROL ガマ王子 vs. ザリガニ魔人」を映画化したもの。奇妙な人たちがばかりが集う病院に、記憶が1日しか保てなく、毎日同じ絵本を読む少女パコが現れる。「他人の頭の中に自分が居るのが嫌だ」という、院内一の偏屈ジジイの大貫だったが、ある事件をきっかけに「パコの頭の中に居たい」と思うようになる。

I. 「幸せ」な気持ちにさせてくれる映画

「パコと魔法の絵本」はこの夏公開されたばかりの新しい映画だ。映画の予告を見て、最初は小さい子ども向けの映画のように思っていた。しかし、極彩色の空間という普通の映画とは異なった場面構成と、1日しか記憶のもたない少女の心あたたまるストーリー性に惹かれ、いつのまにか映画館へ足を運んでいた。

II. 3Dアニメーションと生の演技とのカットバック

パコが1日しか記憶が保てないとは知らず、パコを叩いてしまった大貫だったが、次の日も覚えてないパコは大貫に向かってこう言う。

「おじさん…昨日もパコのほっぺにさわったよね？」

こうして大貫は思わぬ形でパコの心の中に居られることになったが、そんなパコ姿に心打たれた大貫は毎日、毎日、物語の内容を忘れてしまうパコのために絵本を読んであげるようになる。

映画のなかでは、そんな大貫と、絵本の中の主人公「ガマ王子」と重ね合わせて3Dで登場するシーンがいくつかある。大貫の心がパコによってほどかれていくと同時に、絵本の内容も読み進められていき、意地悪であった「ガマ王子」も大切なものに気付いていく。こうした3Dアニメーションと生の演技とのカットバックは、物語の最後でも使用され、大きな迫力を加えていて、この映画の見所となっている。

III. 感動のラストシーン、そして…

ラストシーンでは、院内の大人たちが、大貫を筆頭にして「1日しか記憶の保てないパコのために何かできないか？」と考え、パコが毎日読んでいる絵本を劇にして見せてあげるようということになる。そうして、大人たち1人1人がパコのために必死になって演技を繰り返して行くのである。ここでも、3Dと生の演技のカットバックが多様されており、独自の世界観が描かれている。そうした大人たちの姿は、おもしろさを含めながらも、パコのおかげで気づくことのできた「愛」で満ち溢れているのである。

そして、パコは幸せそうに永遠の眠りにつく。その幸せそうな笑顔こそ、今までパコが周りの人に与えてきた「愛」の証明なのだ。

『バッテリー』の想い

河原 仁志

①Kawahara hitoshi ②Batteri ③2007年3月公開 ④118分 ⑤青春 ⑥林遣都
⑦滝田洋二郎 ⑧あさのあつこ ⑨友情 ⑩This movie is wonderful.

あらすじ：自分のことしか信じられない天才ピッチャーである主人公が、自分の投げる球をとることのできるキャッチャーにめぐりあい、お互いに少しずつ信頼関係を築いていく。時にお互いを信じられなくなることもあるが、それを二人は乗り越えていく話である。

I.

『バッテリー』を見ました。私は以前に『バッテリー』の小説を読み様々な熱い想いを感じ是非とも映画でも見たいと思っていた作品である。作品の中で確かに子供のくせに大人びすぎと思う場面もありましたが、それ以上に野球を通してお互いに絆を深めあっていく二人の話に私は深く感動しました。この作品を見るたび、熱い想いがこみ上げてくる。

II.

自分の想いを伝えること信頼することの大切さを知りました。主人公がマウンドに立ち、キャッチャーに向かって投げていく。ただの一度、強打者を相手にして、キャッチャーを信頼することができずに投げた一投がホームランにされてしまう。試合は負けてしまい、キャッチャーは試合の後主人公を呼び出し、殴りつける。その時「あの一球でワシの野球を馬鹿にしたんじゃ」と言う。たった一球にかける想い、たかが一球ではあるが、その一球を投げるためには自分がいて、また、相手もいる。ただ相手がいるだけではいけない、そこに信頼関係というものが必要になってくる。この作品を通して二人は野球を通してその信頼関係を築き上げていく。このことこそ、この作品の魅力ではないかと思う。

III.

この作品を振り返って言えることは、信頼関係を築いていくことの難しさである。難しいことではあるが、もっとも大事なことである。その大事さというものを改めて思い出させてくれたのがこの作品である。

『そのときは彼によろしく』にみる人と人との強い絆

村田 美帆

①Miho MURATA ②Please give my best regards to him at that time ③2007年 ④114分
⑤love story ⑥長澤まさみ 山田孝之 ⑦平川雄一郎 ⑧市川拓司：そのときは彼によろしく
⑨感動、ファンタジー、奇蹟 ⑩I found a strong bonds with friends in this movie. However
far we are separated from the others, we are not alone. We live in the world where we can
find a miracle.

あらすじ：『いま、会いにゆきます』でおなじみの市川拓司さん原作の作品。幼なじみであ
った3人の男女。小さな湖畔で遊び、将来の夢を語り合った小学生時代。しかしそれぞれの
事情により3人は離れ離れになってしまう。しかし、13年後、3人は運命的な再会を果た
します。再び動き出した3人の物語ですが、ある運命が彼らを待ち受けています・・・

I. 私と『そのときは彼によろしく』との出会い

私は市川拓司さんの描く独特の世界観がとても好きでした。今回の作品も、まず原作
が市川拓司さんということで非常に興味を持った。また、友達からも薦められていたた
め早速見てみることにしました。見始めると、市川拓司さんの世界にどんどん入ってい
き、一気に映画の世界に入ってしまった。

II. 大切な人を想う気持ち

人との出会いは『一期一会』と言われるようにひとつひとつの出会いが本当に奇跡の
ようなものです。きっと誰も忘れられない人、会いたくても会えない人がいると思
います。でも、この作品からはそんな自分の記憶の中にある大切な人を想うことで『奇蹟』
は起こるのだという希望を感じます。人と人とは本当に何か見えない力でひかれあっ
ている・・・。

III. 感動のラストシーン

最後は涙がとまりませんでした。そして、この映画を見て感じたことは自分が本当に
心から想う人は誰だろうということでした。離れ離れになったとしても、会う手がかり
さえないとしてもそれでもなお会いたいと思えるような人をこれから見つけていけた
らと思いました。もしかしたら、今まで出会った人の中にそう思える人がいるかもしれ
ません・・・。そして、もしそんな人が見つかったら、自分の気持ちを素直に伝えたい
と思います。伝えなければわからないことはたくさんあります。もし、みなさんの心
の中に大切な人がいるのだとしたら、ぜひその想いを相手に伝えて下さい。心温まる映画
です。

あとがき

今年もなんとか完成の運びとなった。もう慣れっこになってしまったが、その年々には予期せぬ展開が次々と待っているものである。振り返って見れば「本当によくできあがったものだ」と思わずにはいられないような、綱渡りのな出来事の連続で、また一年が終わった。

2003年に『アメリカ～エンターテインメントの世界～』で始まった米文学研究室の出版は、毎年新たなテーマを模索しながら、これまでに『日本で見つけたアメリカ～戦前日米交流史～』(2004)、『米文学史のなかのアメリカ文化研究』(2005)、『ジャパニーズ・ポップ・カルチャー2006～日本の若者・大衆文化のいま～』(2006)、『実学としてのアメリカ文学研究 - 歴史・人物・作品・映画から学んだこと - 』(2007)と続いていた。そして6年目の今年もまたここに新刊が完成し、この個人研究費による論集出版シリーズは途切れることなく、次年度へと継続されることとなった。入力・編集作業において大いに力を発揮してくれた学生諸君に対しては、特に感謝したい。

今年は出版以外の予算の執行もかさみ、とうとう映画論集でありながら、カラーどころかモノクロの写真もないような安価な体裁となってしまった。年度内に出版を完成させているために、当該年度の出版規模が読めず、年度初めの「学長裁量経費」への申請を控えていたが、来年度はパソコン、その他の編集機器を更新、充実させる必要が生じてきたために、理想とする論集の体裁を目指して援助を仰ごうと思う。

執筆者の範囲もほぼ全学的なものに膨らんできた。ものを書き残していく喜びを一人でも多くの学生に味わってもらいたい。この論集も可能な範囲で、全国の大学等の図書館へ寄贈する予定である。

部数が足りず、せつかく書いてくれた執筆者たちに記念の論集を配布することもできなかった。今年の本学図書館に少しでも多く寄贈して、執筆者たちに見てもらいたいと思う。

橋本 賢二

平成 21 年 2 月発行(February, 2009)

アメリカ映画研究を始めるまえに

Preparation for Studying American Movies

発行者 大阪教育大学 米文学研究室
〒582-8582 大阪府柏原市旭ヶ丘 4-698-1

OSAKA KYOIKU UNIVERSITY
(Faculty of American Literature)
4-698-1 Asahigaoka, Kashiwara,
Osaka, 582-8582 JAPAN.

編 著 橋 本 賢 二
Editor & Author : Kenji Hashimoto

印刷所 株式会社アイジイ
〒531-0072 大阪市北区豊崎7-7-7
(06)6371-0321
